

# u-DIEX HULFT インターフェース 利用マニュアル

4. 2版

2024/3/18

株式会社トヨタシステムズ

**変更履歴**

2004/03/16	1.0 版	新規作成
2004/03/26	1.1 版	変更
2004/04/20	1.2 版	変更
2004/04/22	1.3 版	変更
2004/06/08	1.4 版	変更
2004/06/28	1.5 版	変更
2004/08/03	1.6 版	変更
2004/08/11	1.7 版	変更
2004/08/16	1.8 版	変更
2004/09/13	2.0 版	変更
2004/12/22	2.1 版	追加 ・新機能紹介(送信時のファイル形式の追加)
2005/01/17	2.2 版	追加 ・未受信リスト機能追加 変更 ・6.1.1(3)送信結果確認, 6.1.1(6)受信結果確認(「異常終了時のデータの扱い」の訂正)
2005/02/18	2.3 版	追加 ・u-DIEX(情報公開)サービス ファイル単位/フォルダ単位 授受機能説明追加
2005/05/13	2.4 版	追加 ・ALL 受信機能の追加 ・自由形式(受信情報レコード)での受信機能追加 変更 ・送信情報(取引先情報) 自由形式選択時の登録方法変更 ・自由形式(送信情報レコード)での文字コード選択、レコード長指定の対応 ・本書内容の構成変更
2005/08/29	2.5 版	追加 ・u-DIEX(情報公開)サービス フォルダ単位で送信時での連番付加 ・自由形式(HULFT 標準) ・0 バイトデータ受信機能 ・禁則文字一覧 変更 ・受信要求ファイルレイアウト
2005/11/28	2.6 版	追加 ・個別受信時のシーケンス制御追加 ・文字入力規則一覧追加
2007/5/13	2.7 版	追加 ・機能追加(定義情報の即時/日時反映機能追加)に伴う章追加 ・機能追加(定義情報のファイル出力機能追加)に伴う章追加 変更 ・誤記等の訂正
2007/05/28	2.8 版	変更 ・What'sNew 表示不具合による情報公開サービス画面入力説明の改善
2009/09/14	2.9 版	変更 ・u-DIEX(CAD)サービス廃止に伴い、5.サービス提供範囲の図と文章を変更 (CAD の記載を削除)

2011/12/12	3.0 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・支援システムの画面を更新</li><li>・誤記等の訂正</li></ul>
2012/10/15	3.1 版	追加 <ul style="list-style-type: none"><li>・TNS 標準形式(送信情報ファイル)、TNS 拡張形式(送信情報ファイル)説明を追加</li><li>・定義ファイルの説明を追加</li><li>・複数ファイル一括送受信時の最大数を追加</li></ul> 変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・誤記等の訂正</li></ul>
2013/3/4	3.2 版	追加 <ul style="list-style-type: none"><li>・TNS 標準形式(受信情報ファイル)、TNS 拡張形式(受信情報ファイル)説明を追加</li></ul> 変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・自由形式を自由形式(送信情報ファイル)/自由形式(受信情報ファイル)に変更</li><li>・誤記の訂正</li></ul>
2014/6/20	3.3 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・推奨環境の記載を変更</li></ul>
2015/11/6	3.4 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・推奨環境に IE11 を追記</li></ul>
2018/4/9	3.5 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・推奨環境の HULFT サポート対象を 6 以降に変更</li><li>・一部画像の修正</li></ul>
2019/1/1	4.0 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・会社名変更</li></ul>
2024/1/15	4.1 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・推奨環境の記載を Microsoft Edge に変更</li><li>・u-DIEX HULFT インターフェース支援システム画面説明にテキスト転送項目、暗号キーを追加</li><li>・補足にテキスト転送を使用する際の注意事項を追加</li><li>・補足に外字テーブル、EBCDIC ユーザテーブルを記載</li><li>・文字入力規則一覧に暗号キーを追加</li><li>・画像を修正</li></ul>
2024/03/18	4.2 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・検索項目、登録項目にファイル ID 追加</li><li>・ファイル ID の説明追加、見直し</li><li>・画像を修正</li></ul>

## 目次

1. システム概要.....	1
2. システム構成.....	1
3. 推奨環境.....	2
4. ネットワーク接続環境.....	3
5. サービス提供範囲.....	4
6. 機能概要.....	5
6.1. 基本機能.....	5
6.1.1. ファイル送受信機能（u-DIEX(汎用)サービス）.....	5
6.1.2. ファイル送受信機能（u-DIEX(情報公開)サービス）.....	23
6.2. 送受信結果確認.....	37
6.2.1. 送信結果確認.....	37
6.2.2. 受信結果確認.....	37
7. 利用手順.....	38
7.1. 本システム利用に必要な登録.....	38
7.1.1. お客様側 HULFT の設定.....	38
7.1.2. u-DIEX センタへの情報登録.....	42
7.2. 運用管理機能.....	47
7.2.1. 送受信情報管理機能.....	47
7.2.2. 送達確認機能.....	47
7.2.3. 受信状況確認機能.....	47
7.2.4. 再受信機能(u-DIEX(汎用)サービスのみ).....	47
7.2.5. 利用履歴確認機能.....	47
7.2.6. 定義反映機能.....	47
7.2.7. 定義ファイル出力機能.....	47
7.3. u-DIEX HULFT インターフェース支援システム画面説明.....	48
7.3.1. 共通画面説明について.....	48
7.3.2. u-DIEX(汎用)サービス利用での画面説明.....	52
7.3.3. u-DIEX(情報公開)サービス利用での画面説明.....	68
7.3.4. サービス共通機能の画面説明.....	80
7.3.5. ファイル送受信情報反映機能の画面説明（定義反映・日時指定変更）.....	81
7.3.6. ファイル送受信情報出力機能の画面説明.....	84
7.4. 送信手順.....	94
7.4.1. 送信ファイルの準備.....	94
7.4.2. 結合ユーティリティ.....	98
7.4.3. 配信ユーティリティ.....	99
7.5. 受信手順.....	101
7.5.1. 受信ファイルの取り込み.....	101
7.5.2. 分解ユーティリティ.....	108
7.6. レイアウト.....	109
7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト.....	109
7.6.2. 受信情報ファイルレイアウト.....	111
7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト.....	112
7.6.4. 送信情報レコードレイアウト.....	114
7.6.5. 受信情報レコードレイアウト.....	117
7.6.6. 未受信リストファイルレイアウト.....	119

---

8. 補足.....	120
8.1. 受信結果詳細.....	120
8.1.1. 受信結果ケース一覧.....	120
8.1.2. 受信結果イメージ.....	122
8.1.3. テキスト転送を使用する際の注意点.....	130
8.1.4. 外字テーブル.....	132
8.1.5. u-DIEX 固有の EBCDIC セット.....	142
8.2. 文字入力規則一覧.....	143
8.3. 用語説明.....	144

---

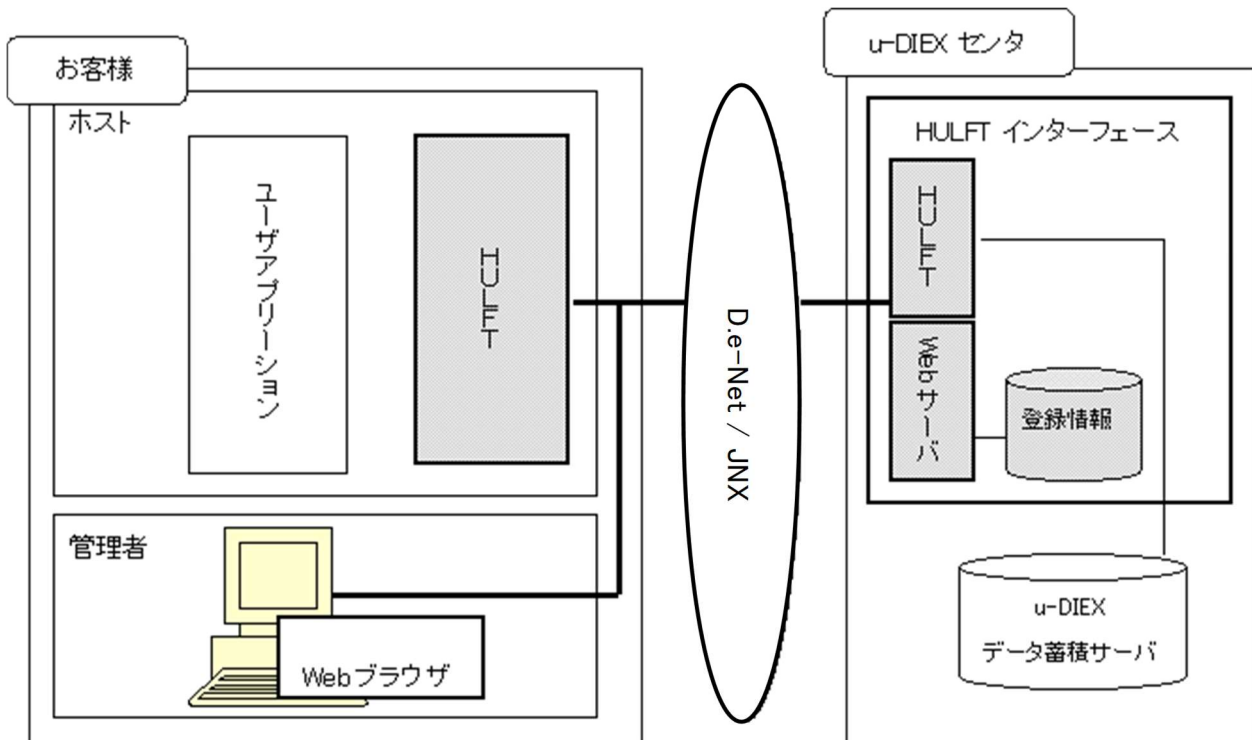
## 1. システム概要

u-DIEX HULFT インターフェースは、市販ファイル転送パッケージである HULFT<sup>※1</sup> を通信インターフェースとし、u-DIEX (汎用)、u-DIEX (情報公開) サービスへの接続機能を提供します。

また、Web ブラウザからの送受信ファイルの状態の確認や再受信、送受信ファイル情報の登録機能を提供します。

### ○特長

通信プログラムと同じ位置づけで、お客様のマシンへ HULFT を導入していただくことにより本来の HULFT の利用手順でデータ授受を行うことができます。



## 2. システム構成

### ○機能構成

#### (1) ファイル転送機能

HULFT 提供の機能を利用してファイルの送受信を行います。

#### (2) 運用管理機能

Web ブラウザを利用して送受信ファイルの状態の確認や再受信、送受信ファイル情報の登録等運用管理する機能を提供します。

<sup>※1</sup> (株)セゾン情報システムズ社製のファイル転送パッケージです。

### 3. 推奨環境

#### ■ホスト

OS	ソフトウェア
HULFT6 以降をサポートしている OS	HULFT6 以降

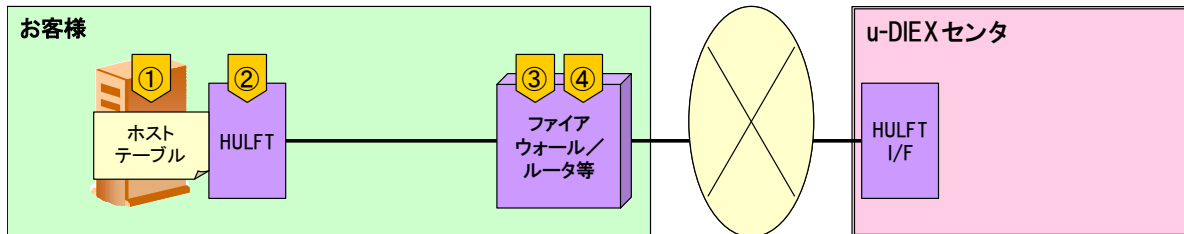
#### ■管理 PC

OS	ブラウザ
Windows10(64bit)	Microsoft Edge ※ chromium 版

## 4. ネットワーク接続環境

本システムでは u-DIEX センタ上のサーバと通信を行います。以下にご利用時のネットワーク設定の注意点を説明します。

### ■HULFT を導入されているホストに関連する設定



#### ①HOSTS ファイルの編集

ご利用のネットワークに合わせて HOSTS ファイルの編集が必要となります。

その際、u-DIEX センタのホスト名の表記は FQDN でなく、ホスト名 (p-exftp) のみの表記としていただく必要があります。

##### 例)ATI をご利用のお客様の設定

```

.....
210.175.128.178  p-exftp
.....

```

##### 例)JNX をご利用のお客様の設定

```

.....
210.175.130.251  p-exftp
.....

```

#### ②u-DIEX センタの情報

u-DIEX センタ	ATI <sup>※2</sup> ご利用時	JNX ご利用時
FQDN	p-exftp.u-diex.jp	p-exftp.u-diex.jp
IP アドレス	210.175.128.178	210.175.130.251
集信ポート NO	40401	40401

#### ③フィルタリング機能利用時

ファイアウォールまたはルータ等の接続機器にてフィルタリング機能を利用している場合には、事前に通過設定が必要となります。

HULFT 導入ホスト(お客様)		通信開始 方向	u-DIEX センタ		
IP アドレス	ポート No		FQDN	ポート No	プロトコル
XXX.XXX.XXX.XXX	ANY	→	p-exftp.u-diex.jp	40401	TCP
XXX.XXX.XXX.XXX	-	→	p-exftp.u-diex.jp	-	ICMP
XXX.XXX.XXX.XXX	30000(デフォルト) (※)	←	p-exftp.u-diex.jp	ANY	TCP
XXX.XXX.XXX.XXX	-	←	p-exftp.u-diex.jp	-	ICMP

※変更する場合、お客様側 HULFT の設定および u-DIEX センタ側設定を変更する必要があります。

#### ④NAT 機能を利用する際は、動的 NAT はご利用いただけません。静的 NAT をご利用ください。

##### ※注意点

- ・JNX 経由で u-DIEX サービスをご利用いただく場合、事前に「u-DIEX センタ」との VPN 設定登録が完了している必要があります。既に JNX 経由 (TS De-NetCSP サービス (専用線、ダイヤルアップ) または他社 JNX サービスに DIEX (汎用) サービスをご利用されている場合は、新たな VPN の設定・変更は必要ありません。

##### ・VPN 設定申請が必要な場合

新規・またはイントラから変更され、JNX 経由にて u-DIEX (汎用) サービスを利用する場合には別途「VPN 設定申請」が必要となります。VPN 設定先として u-DIEX センタ「CSP001-FW-NAKA01」を指定して申請してください。

※2 オールトヨタイントラネット



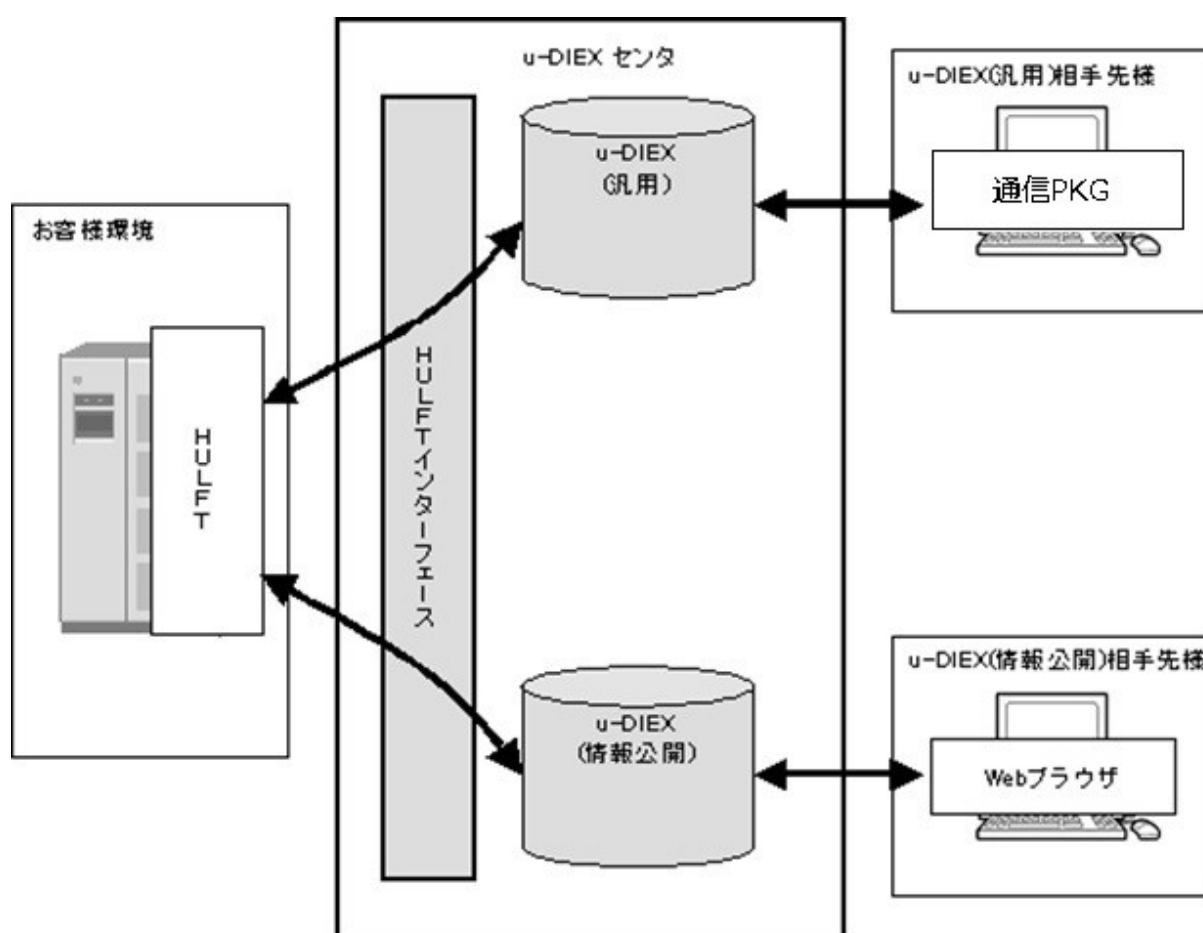
## ■管理 PC に関連する設定

ファイアウォールまたはルータ等の接続機器にてフィルタリング機能を利用している場合には、事前に通過設定が必要となります

支援システム利用端末(お客様)		通信開始 方向	u-DIEX センタ		
IP アドレス	ポート No		FQDN	ポート No	プロトコル
XXX.XXX.XXX.XXX	ANY	→	p-exftp.u-diex.jp	443	TCP(HTTPS)

## 5. サービス提供範囲

本システムは u-DIEX(汎用)サービス、u-DIEX(情報公開)サービスの接続機能を提供します。



## 6. 機能概要

本システムで提供される機能の概要を説明します。

### 6.1. 基本機能

#### 6.1.1. ファイル送受信機能 (u-DIEX(汎用)サービス)

HULFT の提供機能を利用してファイルを送受信する機能です。

u-DIEX(汎用)サービスでは、ファイルを「メッセージ識別子(MSG 識別子)」で識別します。

※HULFT の制約として、1回あたりの転送ファイルサイズ制限は約 2GB です。  
2GB より大きいファイルは送らないようにお願い致します。

#### (1) 送信方法

本システムでサポートする送信ファイル形式は以下の3種類です。

(u-DIEX(汎用)サービスでサポートしているファイル形式に対応しています。)

ファイル形式	送信(宛先)情報のつけ方	説明
TNS 標準形式	(TNS 準拠)	TNS 準拠のフォーマット。 1レコード 250 バイト固定長。 宛先取引先コード、発信元取引先コードは各 5 桁。 ファイルコードは 3 桁。 通常、TNS 標準形式といえばこの形式を指す。
	送信情報ファイル	データの規則は TNS 準拠のフォーマットに順ずる。 宛先、発信元指定を TNS レコード内でなく送信情報ファイルで行う形式
TNS 拡張形式	(TNS 準拠)	新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマット。 1レコード 1000 バイト。 宛先取引先コード+宛先サブアドレス、発信元取引先コード+発信元サブアドレスで各 8 桁。 ファイルコードは 3 桁+ファイル詳細コード 5 桁。 通常、TNS 拡張形式といえばこの形式を指す。
	送信情報ファイル	データの規則は新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマットに順ずる。 宛先、発信元指定を TNS レコード内でなく、送信情報ファイルで行う形式
自由形式	送信情報ファイル	データに規則はなく、バイナリデータとして取り扱う。文字コードは任意。 宛先、発信元指定を送信情報ファイルで行う形式。
	送信情報レコード	データに送信情報レコードを付加した形式。 データに規則はなく、文字コードは任意。 送信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII から選択。 EBCDIC の場合の Max レコード長が 999,999 バイト。
	HULFT 標準	ユーザデータのみを送信する形式。 u-DIEX センタに送信元・相手先情報の事前登録が必要で、送信元・相手先で1つに限定される。1 ファイル個別送信のみ可能。 データに規則はなく、文字コードは任意。

本システムでサポートする送信方法は以下の5種類です。

- a) TNS 形式での送信
- b) TNS 形式(送信情報ファイル)での送信
- c) 自由形式(送信情報ファイル)での送信
- d) 自由形式(送信情報レコード)での送信
- e) 自由形式(HULFT 標準)での送信

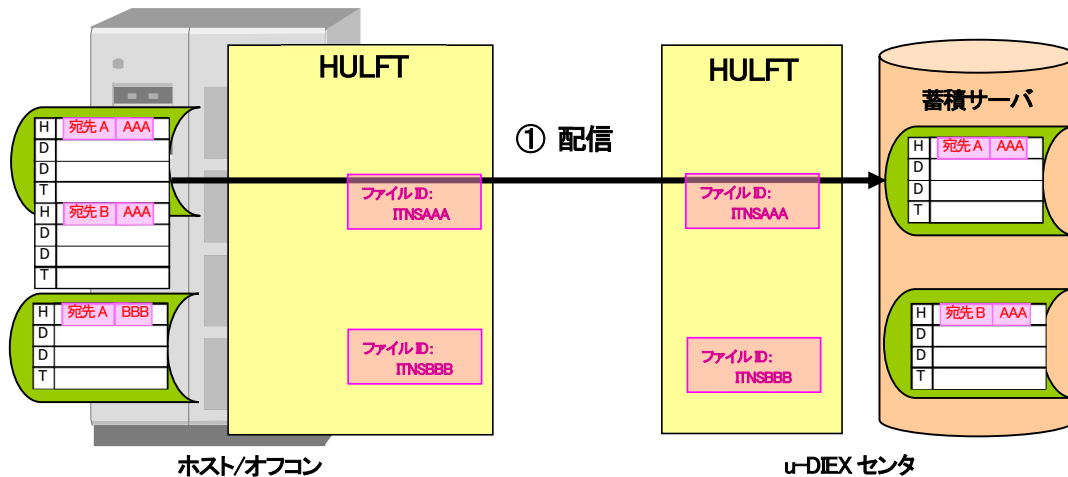
## a) TNS 形式での送信

## ■対象ファイル形式

- ・TNS 標準形式
- ・TNS 拡張形式

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、送信するファイルを u-DIEX センタへ転送します。配信の単位はメッセージ識別子単位となります。



※一括(1ファイル中に異なる宛先のデータを複数件含む)送信を行うことができます。

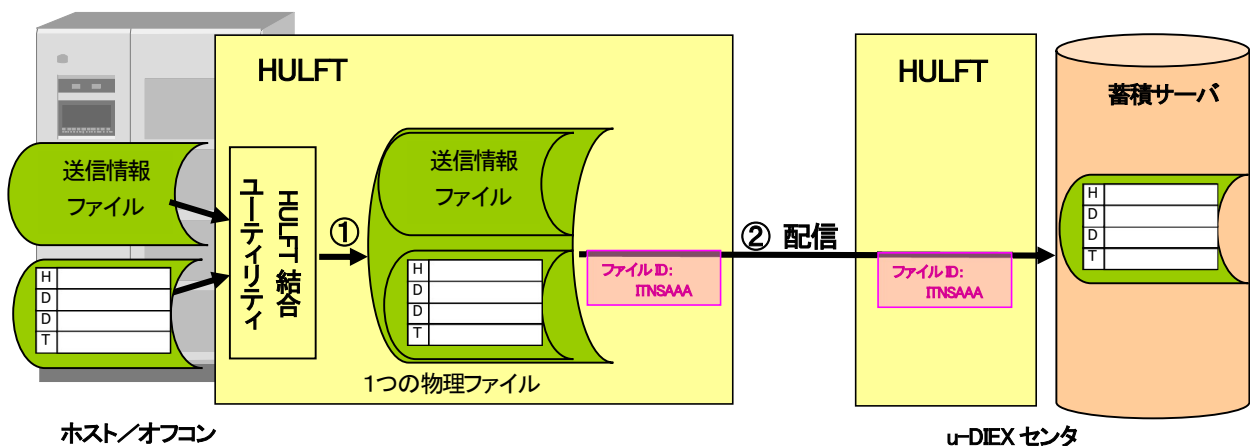
## b) TNS 形式(送信情報ファイル)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・TNS 標準形式(送信情報ファイル)
- ・TNS 拡張形式(送信情報ファイル)

## ■概要

- ① HULFT の結合ユーティリティを利用し、送信ファイルと送信情報ファイルを 1 つの物理ファイルに結合します。
- ② ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、1つの物理ファイルを u-DIEX センタへ転送します。



※送信情報ファイルの詳細については、「[7.6.1 送信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

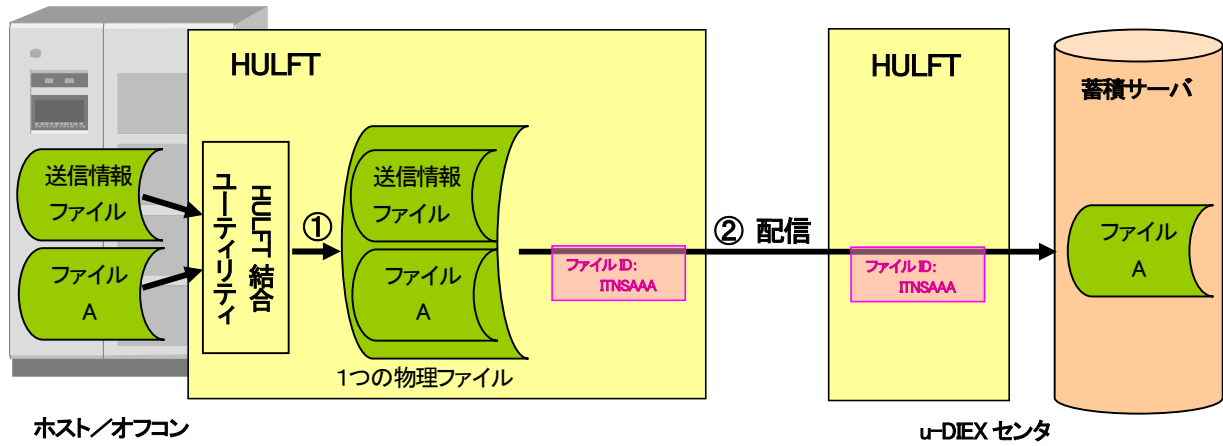
## c) 自由形式(送信情報ファイル)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(送信情報ファイル)

## ■概要

- ① HULFT の結合ユーティリティを利用し、送信ファイルと送信情報ファイルを 1 つの物理ファイルに結合します。
- ② ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、1つの物理ファイルを u-DIEX センタへ転送します。



※送信情報ファイルの詳細については、「[7.6.1 送信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

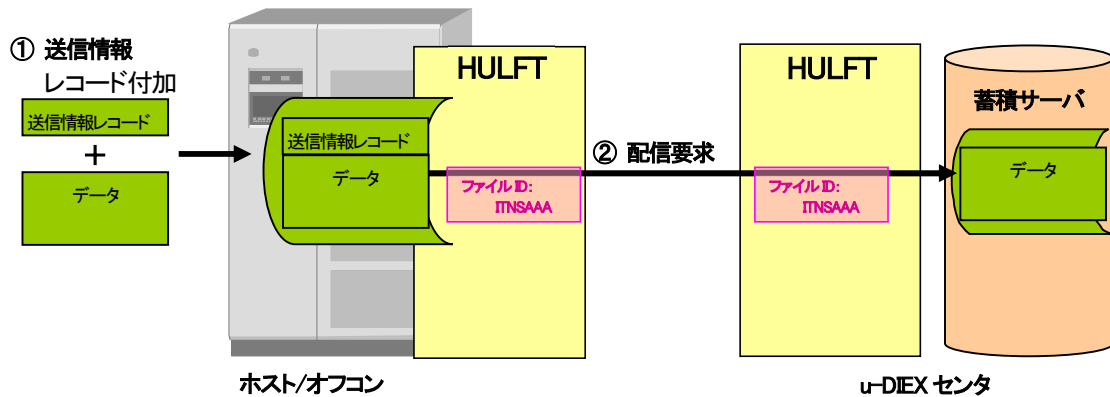
## d) 自由形式(送信情報レコード)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(送信情報レコード)

## ■概要

- ① データの先頭に送信情報レコードを付加します。
- ② ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、送信するファイルを u-DIEX センタへ転送します。



※送信情報レコードの詳細については、「[7.6.4 送信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。

## e) 自由形式(HULFT 標準)での送信

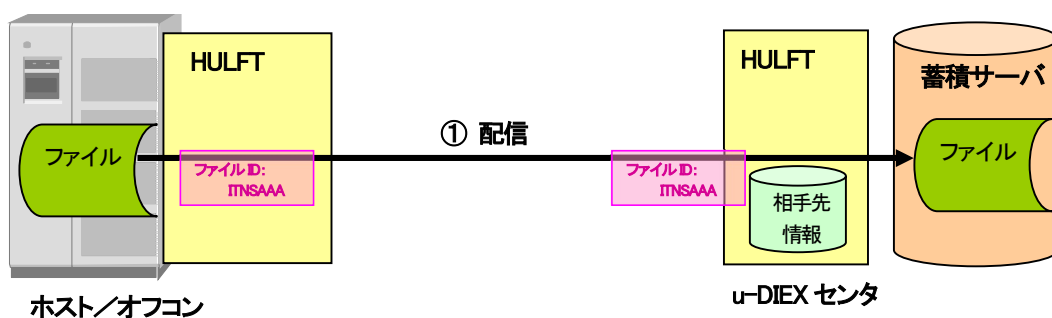
## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(HULFT 標準)

## ■概要

- ① 事前に送信情報に相手先情報、送信元情報を登録しておきます。
- ② 自由形式であっても、作成したデータに送信情報ファイル・送信情報レコードをつけずにそのまま u-DIEX センタへ転送します。

※事前登録した発信元、相手先に限定されます。ファイルは個別送信のみに対応しています。



## (2) 送信時の転送単位

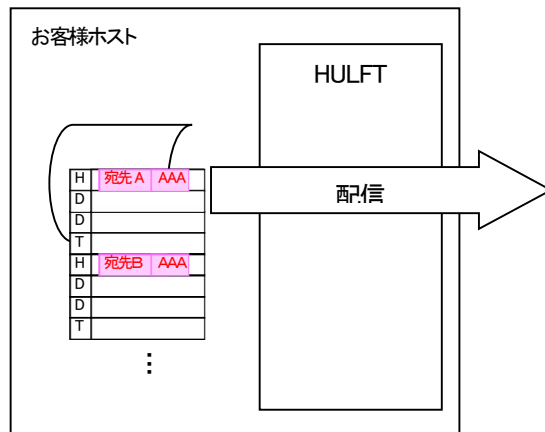
## a) TNS形式での送信

## ■対象ファイル形式

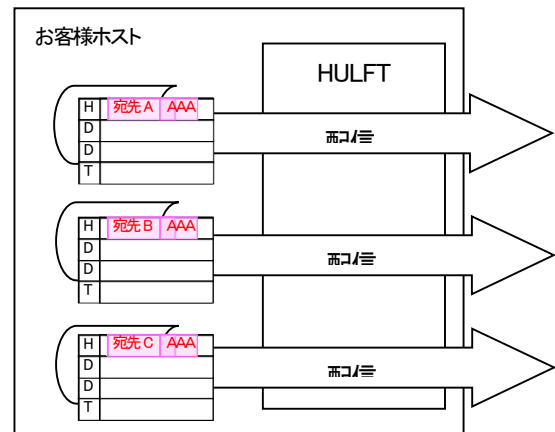
- ・TNS 標準形式
- ・TNS 拡張形式

送信の際の転送単位として以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	複数宛先へ同一种別のデータを1つのファイルで配信します。 (下図 A 参照)
個別	宛先毎に1つのデータファイルを配信します。(下図 B 参照)



図A 転送単位:一括



図B 転送単位:個別

## b) TNS 形式(送信情報ファイル)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・TNS 標準形式(送信情報ファイル)
- ・TNS 拡張形式(送信情報ファイル)

送信の際の転送単位として以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	複数宛先へ同一种別のデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 C 参照) ※結合可能なファイル数は最大 9999 です。 9999 を超えて指定しますと、エラーとなり送信できません。
個別	宛先毎に1つのデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 D 参照)

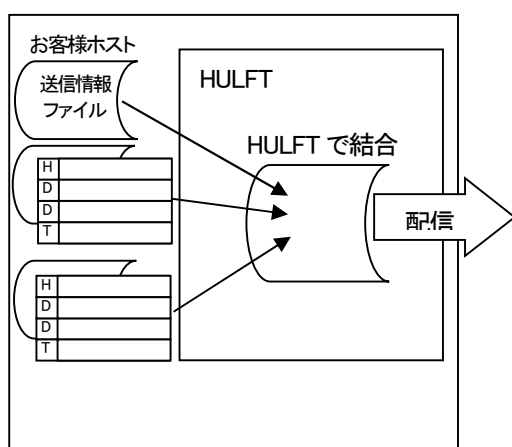


図.C 転送単位:一括

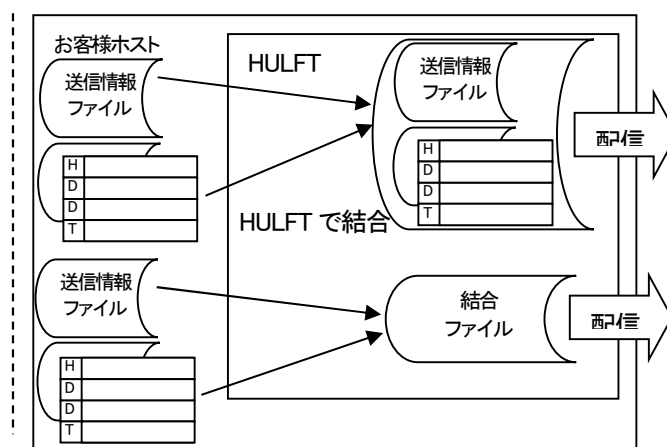


図.D 転送単位:個別

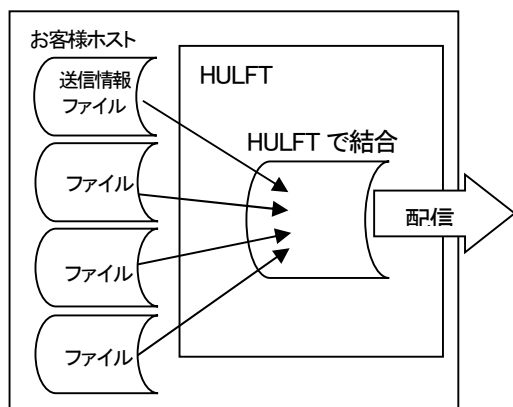
## c) 自由形式(送信情報ファイル)での送信

## ■ 対象ファイル形式

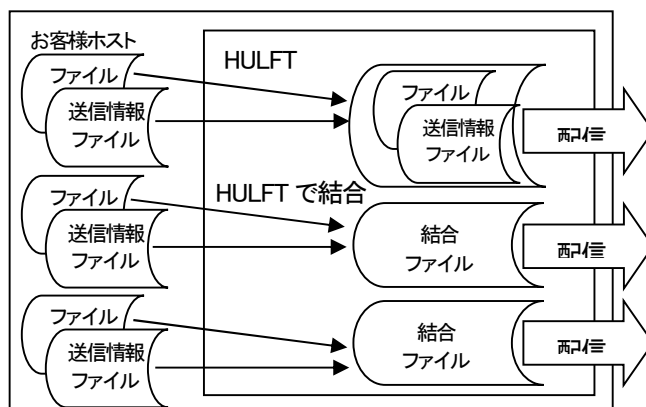
- ・自由形式(送信情報ファイル)

送信の際の転送単位として以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	複数宛先へ同一種別のデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 E 参照) ※結合可能なファイル数は最大 9999 です。 9999 を超えて指定しますと、エラーとなり送信できません。
個別	宛先毎に1つのデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 F 参照)



図E 転送単位:一括



図F 転送単位:個別



## d) 自由形式(送信情報レコード)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(送信情報レコード)

送信の際の転送単位として以下の方法があります。

転送単位	説明
個別	送信情報レコードを挿入した1つのデータファイルを宛先毎に配信します。 (下図 G 参照)

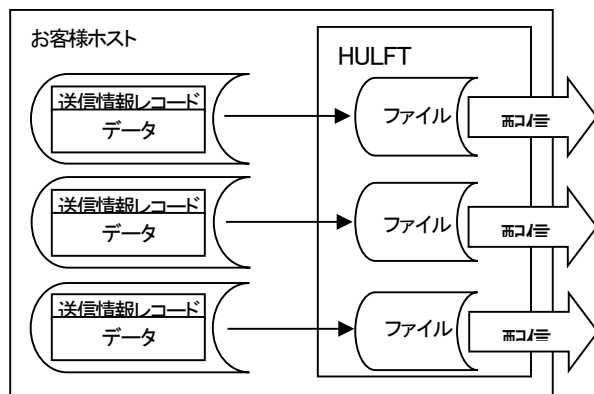


図 G 転送単位:個別

## e) 自由形式(HULFT 標準)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(HULFT 標準)

送信の際の転送単位として以下の方法があります。

転送単位	説明
個別	センタに事前登録することにより、1つのデータファイルを1つの宛先に配信します。(下図 H 参照)

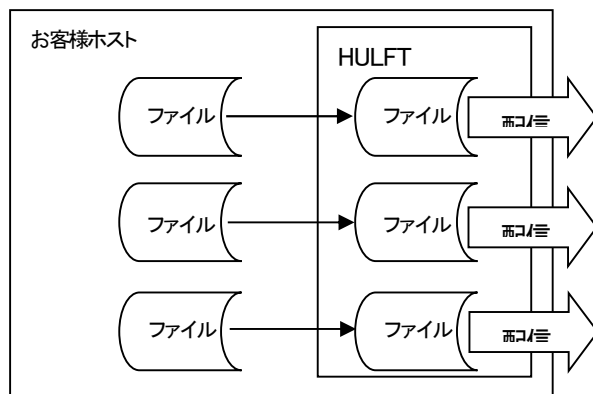


図 H 転送単位:個別

## (3) 受信方法

受信は、受信要求ファイルに受信したいデータの「MSG 識別子」を指定してセンタへ配信します。  
お客様宛てに届いている未受信データを全て受信したい場合には「ALL」を指定してセンタへ配信します。

本システムでサポートする受信ファイル形式は以下の4種類です。

(u-DIEX(汎用)サービスでサポートしているファイル形式に対応しています。)

ファイル形式	受信(宛先)情報のつけ方	説明
TNS 標準形式	(TNS 準拠)	TNS 準拠のフォーマット。 1 レコード 250 バイト固定長。 宛先取引先コード、発信元取引先コードは各 5 桁。 ファイルコードは 3 桁。
	受信情報ファイル	データの規則は TNS 準拠のフォーマットに準ずる。 発信元・相手先情報を記述したファイルと HULFT 結合される。
TNS 拡張形式	(TNS 準拠)	新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマット。 1 レコード 1000 バイト。 宛先取引先コード+宛先サブアドレス、発信元取引先コード+発信元サブアドレスで各 8 桁。 ファイルコードは 3 桁+ファイル詳細コード 5 桁。
	受信情報ファイル	データの規則は新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマットに準ずる。 発信元・相手先情報を記述したファイルと HULFT 結合される。
自由形式	受信情報ファイル	データに規則はなく、バイナリデータとして取り扱う。文字コードは任意。 発信元・相手先情報を記述したファイルと HULFT 結合される。
	受信情報レコード	データに受信情報レコードを付加した形式。 データに規則はなく、文字コードは任意。 受信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII から選択。 EBCDIC の場合の Max レコード長が 999,999 バイト。
	HULFT 標準	発信元・相手先情報を事前に HULFT I/F に登録が必要。 ユーザデータのみを受信する形式。 データに規則はなく、文字コードは任意。
固定長形式	区切りレコード	同一種別のデータを一括で HULFT ユーティリティによる分解操作なしに受信することが可能です。 事前に HULFT I/F にレコード長の登録が必要。

本システムでサポートする受信方法は以下の5種類です。

- a) TNS 形式での受信
- b) TNS 形式(受信情報ファイル)での受信
- c) 自由形式(受信情報ファイル)での受信
- d) 自由形式(受信情報レコード)での受信
- e) 自由形式(HULFT 標準)での受信
- f) 固定長形式での受信(メインフレーム・AS400 利用の場合)

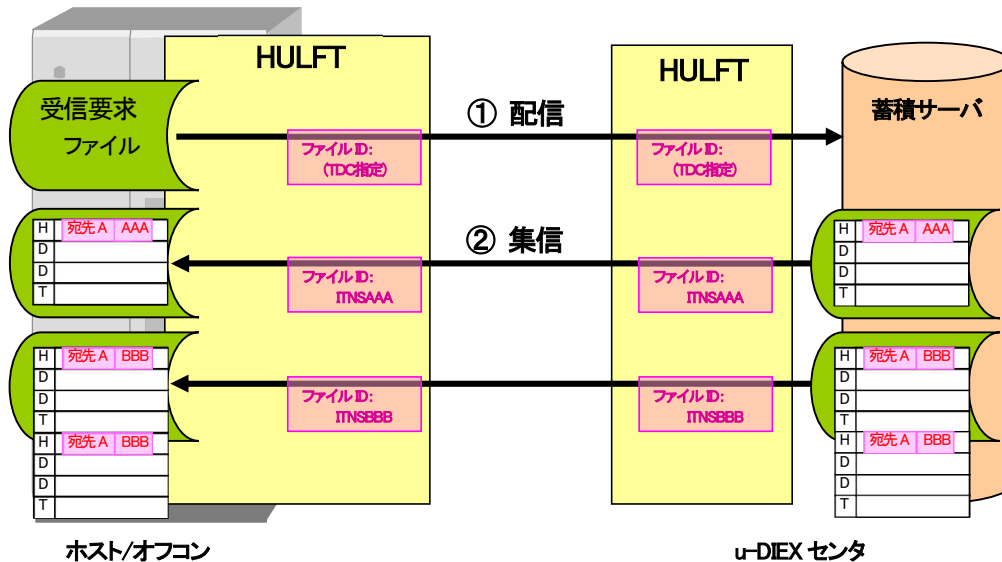
## a) TNS 形式での受信

## ■対象ファイル形式

- ・TNS 標準形式
- ・TNS 拡張形式

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。受信要求ファイルには、受信したいデータのメッセージ識別子、または未受信データ全てを要求する“ALL”を記述します。受信要求ファイルの配信には、弊社指定のファイル ID を使用します。（事前にお客様側 HULFT への設定が必要です。）
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。



※一括(1ファイル中に異なる発信元のデータを複数件含む)受信を行うことができます。  
 ※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

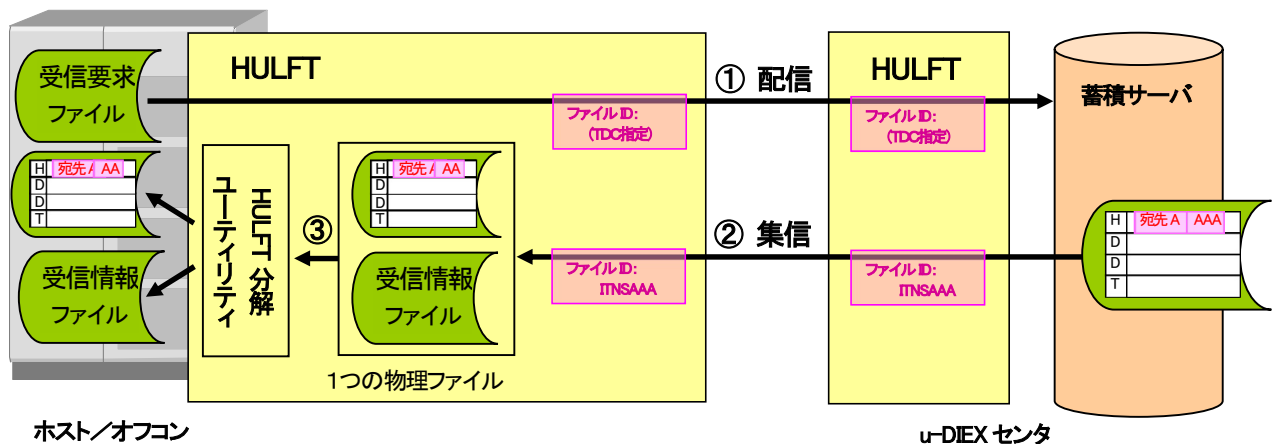
## b) TNS 形式(受信情報ファイル)での受信

## ■対象ファイル形式

- ・TNS 標準形式(受信情報ファイル)
- ・TNS 拡張形式(受信情報ファイル)

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。
- ③ 受信したファイルを HULFT の分割機能を利用し、データファイルと受信情報ファイルに分解します。



※受信情報ファイルの詳細については、「[7.6.2 受信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

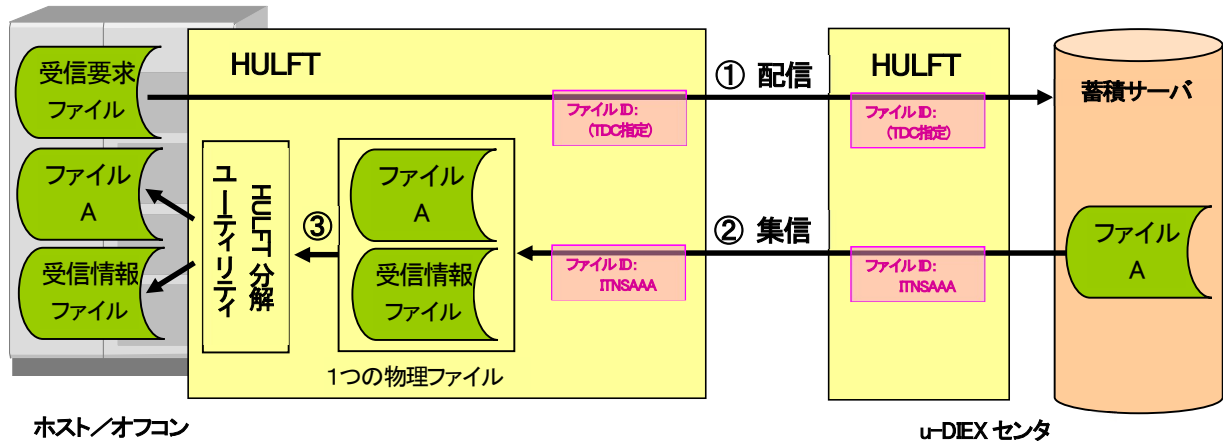
## c) 自由形式(受信情報ファイル)での受信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(受信情報ファイル)

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。
- ③ 受信したファイルを HULFT の分割機能を利用し、データファイルと受信情報ファイルに分解します。



※受信情報ファイルの詳細については、「[7.6.2 受信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

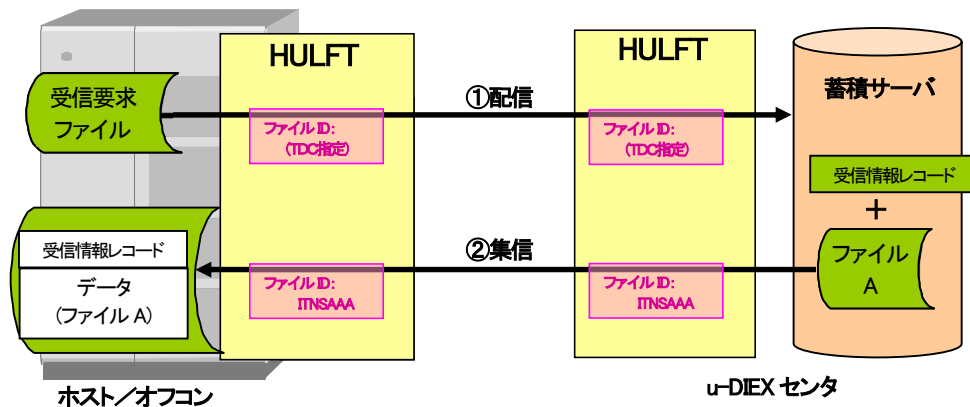
## d) 自由形式(受信情報レコード)での受信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(受信情報レコード)

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。



※自由形式の同一種別ファイルを HULFT での分解なしに受信していただくことができます。

※受信情報レコードの詳細については、「[7.6.5 受信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。

## e) 自由形式(HULFT 標準)での受信

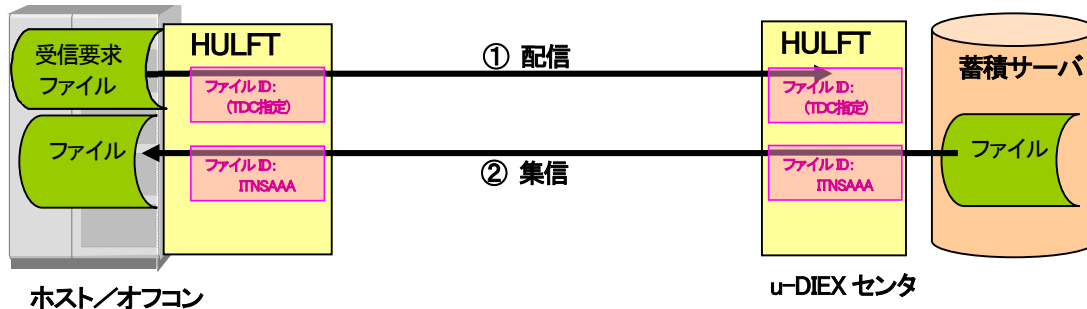
## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(HULFT 標準)

## ■概要

- ① 事前に受信情報に自由形式(HULFT 標準)を登録しておきます。
- ② 受信要求をすることで、自由形式であっても、作成したデータに受信情報ファイル・受信情報レコードをつけずにそのままのデータを受信します。

※事前登録した発信元、相手先に限定されます。



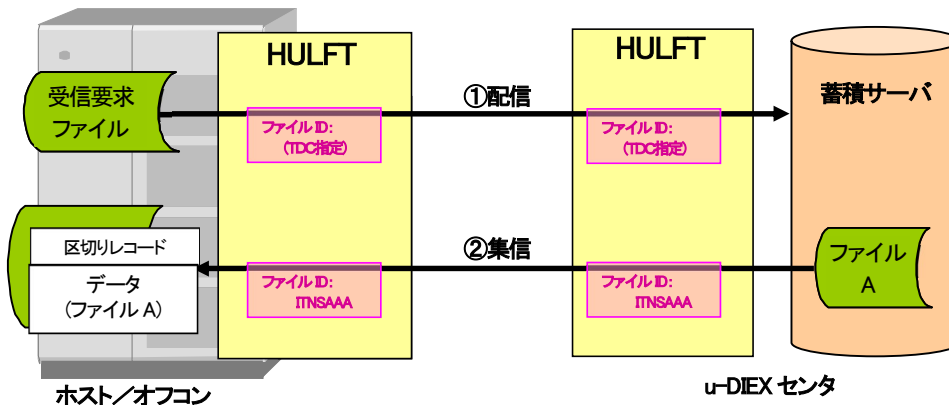
## f) 固定長形式での受信(メインフレーム・AS400 利用の場合)

## ■対象ファイル形式

- ・固定長形式

## ■概要

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。



※自由形式の同一種別ファイルを HULFT での分解なしに受信していただくことができます。

この場合、事前にご登録いただいたレコードサイズごとに区切りレコードを挿入します。

※区切りレコードの詳細については、[「7.5.1. 受信ファイルの取り込み」](#)を参照して下さい。

## (4) 受信後のファイル名

受信後のファイル名は、お客様の HULFT の集信管理情報にて設定します。

自由形式で受信したファイルを HULFT 分解ユーティリティにて分解した後のファイル名は、

「ファイル ID + “.” + 連番(3 桁)」となり、連番は 001 から付けられます。

## (5) 受信時の転送単位

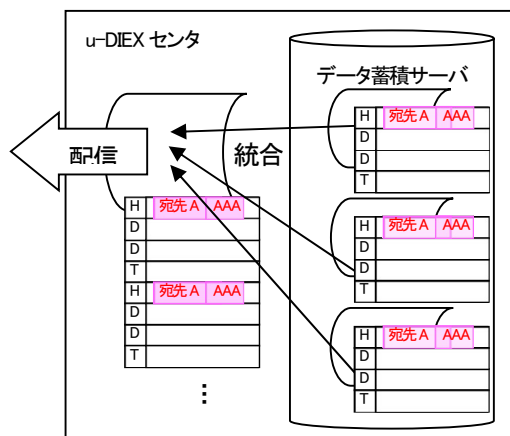
## a) TNS 形式での受信

## ■対象ファイル形式

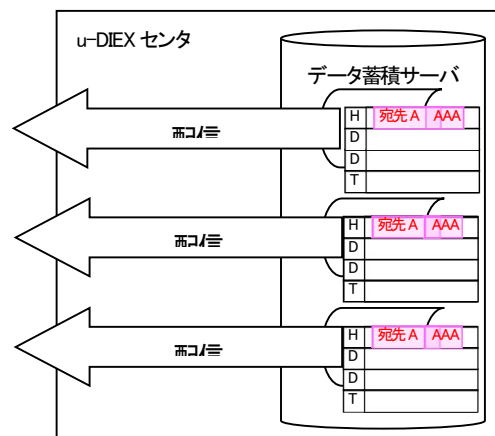
- ・TNS 標準形式
- ・TNS 拡張形式

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数ファイルを1つのファイルに統合し配信されます。 (下図A 参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数ファイルはそれぞれ1ファイルずつ複数回配信されます。 (下図B 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図A 転送単位:一括



図B 転送単位:個別

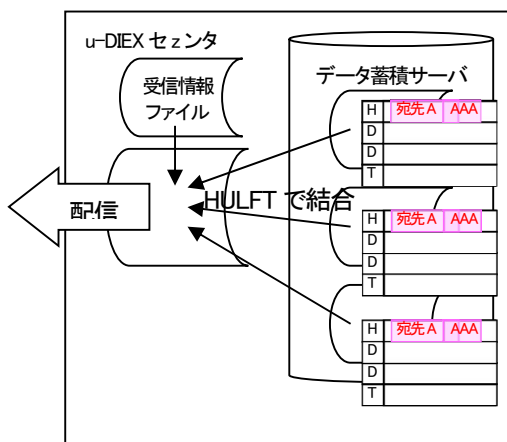
## b) TNS 形式(受信情報ファイル)での受信

## ■対象ファイル形式

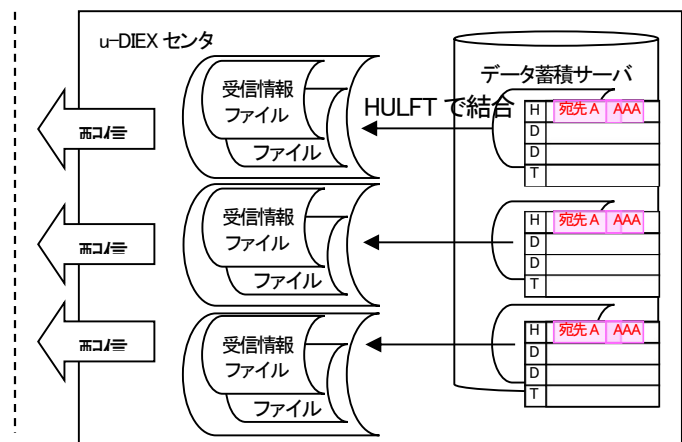
- ・TNS 標準形式(受信情報ファイル)
- ・TNS 拡張形式(受信情報ファイル)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数データファイルと受信情報ファイルを1つのファイルに結合し配信されます。(下図 C 参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルと受信情報ファイルを結合し、複数回配信されます。(下図 D 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図C 転送単位:一括



図D 転送単位:個別

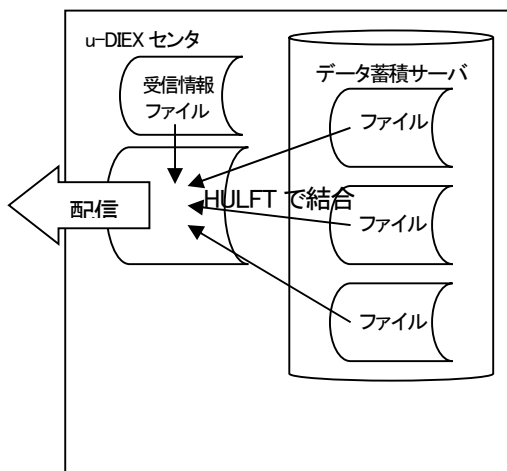
## c) 自由形式(受信情報ファイル)での受信

## ■対象ファイル形式

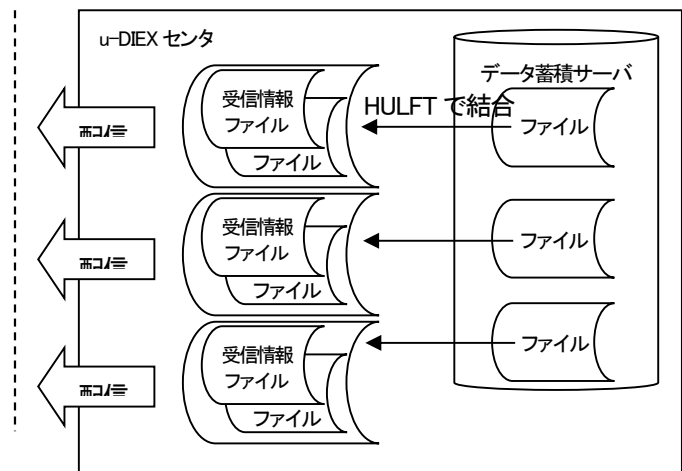
- ・自由形式(受信情報ファイル)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数データファイルと受信情報ファイルを1つのファイルに結合し配信されます。(下図 C 参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルと受信情報ファイルを結合し、複数回配信されます。(下図 D 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図C 転送単位:一括



図D 転送単位:個別



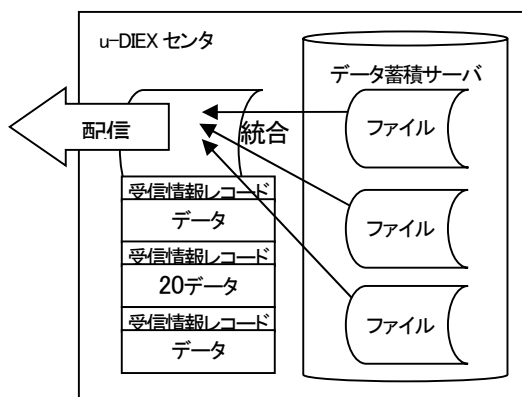
## d) 自由形式(受信情報レコード)

## ■対象ファイル形式

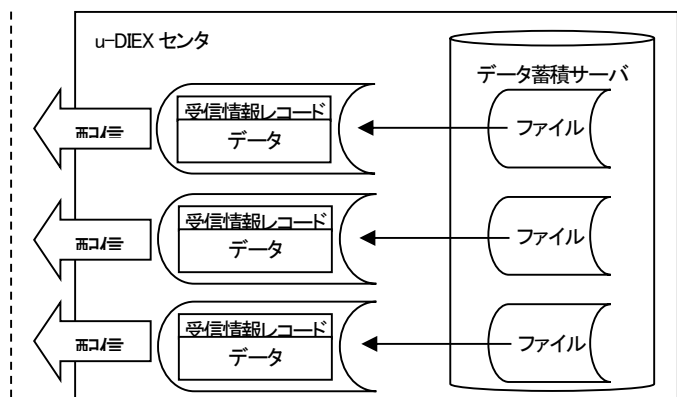
- ・自由形式(受信情報レコード)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の複数データファイルをデータ種別毎に、受信情報レコードを挿入し、1つのファイルに統合して配信されます。(下図E 参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルごとに受信情報レコードを挿入して、複数回配信されます。(下図F参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図E 転送単位:一括



図F 転送単位:個別

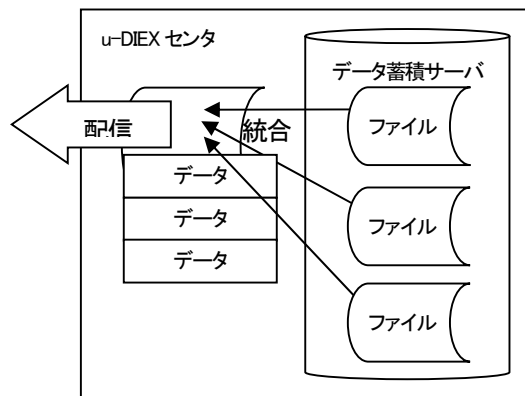
## e) 自由形式(HULFT 標準)

## ■対象ファイル形式

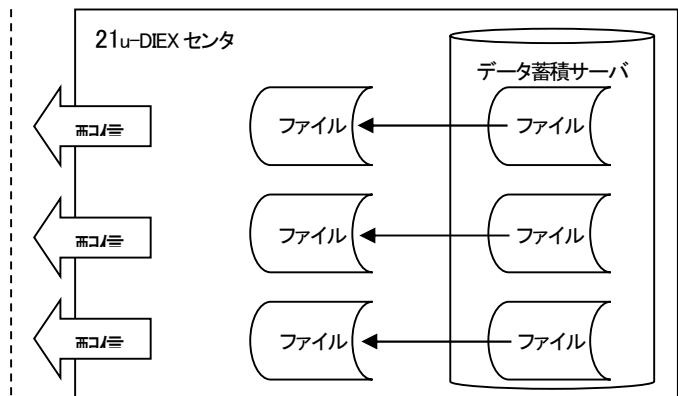
- ・自由形式(HULFT 標準)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数データファイルが存在した場合、 ファイルを物理的に1つに統合します。(下図G 参照) ※お客様にてファイルの区切れがわかるデータである必要があります。 ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルごとに 複数回配信されます。(下図H 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



21 図G 転送単位:一括



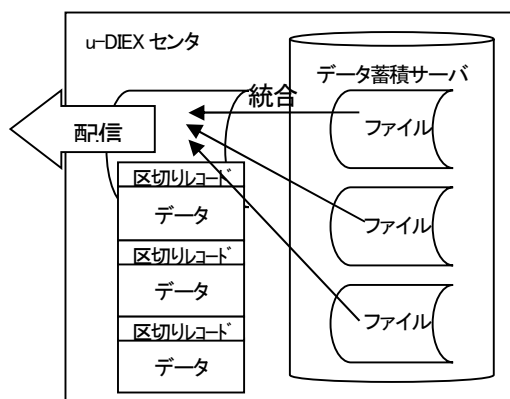
図H 転送単位:個別

## f) 固定長形式での受信(メインフレーム・AS400 利用のみ)

- 対象ファイル形式
- ・固定長形式

受信の際の転送単位として、以下の方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の複数データファイルをデータ種別に関係なく、区切りレコードを挿入し、1つのファイルに統合して配信されます。(下図I 参照) レコード長は受信情報で指定したレコード長で固定となります。 ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。



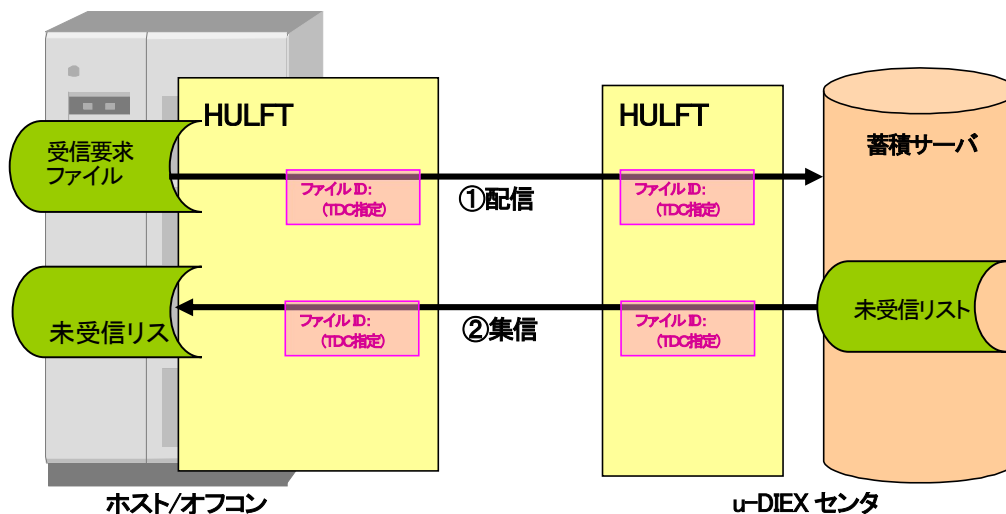
22図I 転送単位:一括

## (6) 未受信リスト取得機能

## ■概要

u-DIEX センタに蓄積されているファイルの未受信リストを取得する機能です。

- ① 通常の受信手順と同様に、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。  
受信要求ファイルのメッセージ識別子を記述する項目に、未受信リスト取得用の特別なメッセージ識別子を記述します。
- ② u-DIEX センタは、未受信リストを生成し、お客様宛に配信します。



※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

※未受信リストの詳細については、「[7.6.6. 未受信リストファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

### 6.1.2 ファイル送受信機能（u-DIEX(情報公開)サービス）

HULFT の提供機能を利用してファイルを送受信する機能です。

u-DIEX(情報公開)サービスの場合、授受単位を「ファイル単位」、または「フォルダ単位」から選択可能です。どちらを使用するかを事前に申請登録していただく必要があります。

※授受単位「ファイル単位」「フォルダ単位」の併用はできません。

u-DIEX(情報公開)サービスでは、ファイルを「データ種別」で識別します。

授受単位による違い

授受単位	説明
ファイル単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルごとにデータ種別を区別します。(格納フォルダは関係しません)</li> <li>・センタ上のファイル名の先頭に「データ種別」が付きます。(例:(UDIXAAAA)発注書データ.txt)</li> <li>・ユーザごとにフォルダを分けるような場合に選択します。</li> </ul> <p>※受信の基点となる授受サービスフォルダ以外からは受信ができません。 (授受サービスフォルダは HULFT I/F 利用申込時に指定します)</p>
フォルダ単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格納フォルダごとにデータ種別を区別します。 (同一フォルダ内のファイルは、全て同じデータ種別として扱います)</li> <li>・ファイルごとにフォルダを分けるような場合に選択します。</li> </ul>

詳細は(1)送信方法、(4)受信方法をご参照ください。

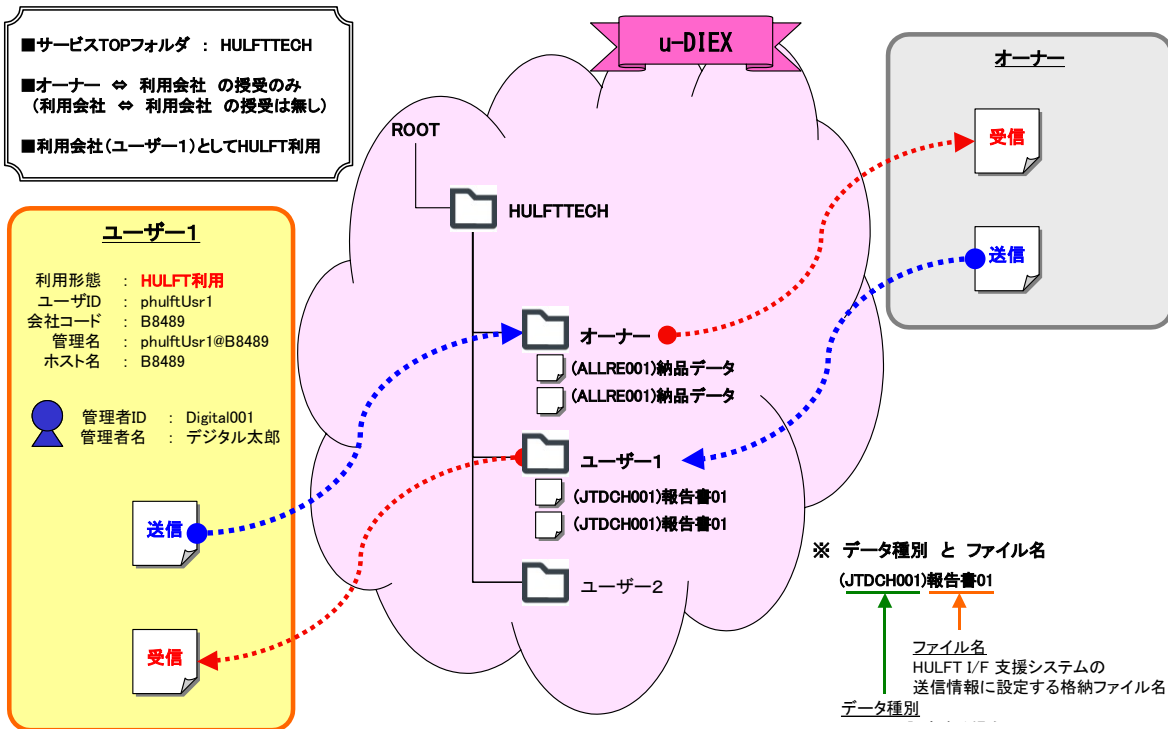
※HULFT では、パッケージ<sup>※1</sup>の受信は出来ません。

※HULFT の制約として、1回あたりの転送ファイルサイズ制限は約 2GB です。  
2GB より大きいファイルは送らないようにお願い致します。

※1 複数のファイル/フォルダをパッケージングしたもの。Web-EDI にてご利用いただけます。

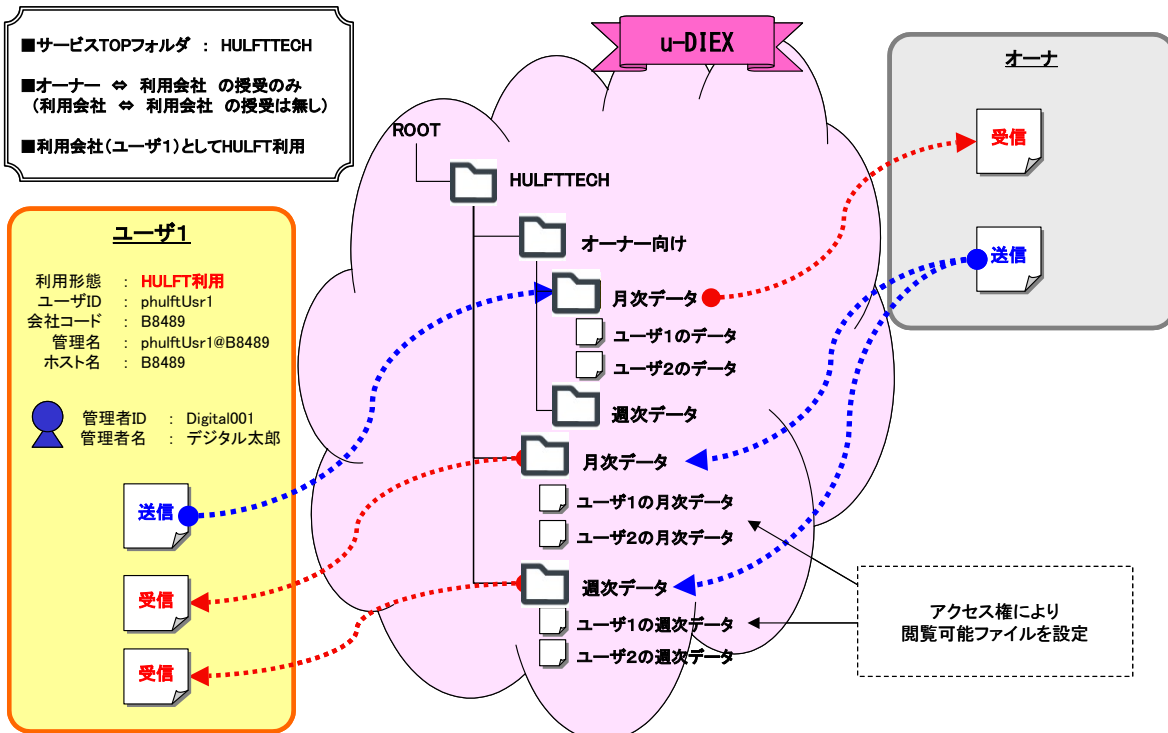
## u-DIEX(情報公開)サービス - フォルダ構成・データ授受 イメージ -

## ファイル単位授受



## u-DIEX(情報公開)サービス - フォルダ構成・データ授受 イメージ -

## フォルダ単位授受



## (1) 送信方法

送信は、ファイル ID 毎に格納先パスを設定することが出来ます。  
本システムでサポートする送信ファイル形式は以下の3種類です。

ファイル形式	送信(宛先)情報のつけ方	説明
自由形式	送信情報ファイル	データに規則はなく、バイナリデータとして取り扱う。文字コードは任意。 宛先、発信元指定を送信情報ファイルで行う形式。
	送信情報レコード	データに送信情報レコードを付加した形式。 データに規則はなく、文字コードは任意。 送信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII から選択。 EBCDIC の場合の Max レコード長が 999,999 バイト。
	HULFT 標準	ユーザデータのみを送信する形式。 u-DIEX センタに送信元情報の事前登録が必要で、相手先が1つに限定される。1 ファイル個別送信のみ可能。 データに規則はなく、文字コードは任意。

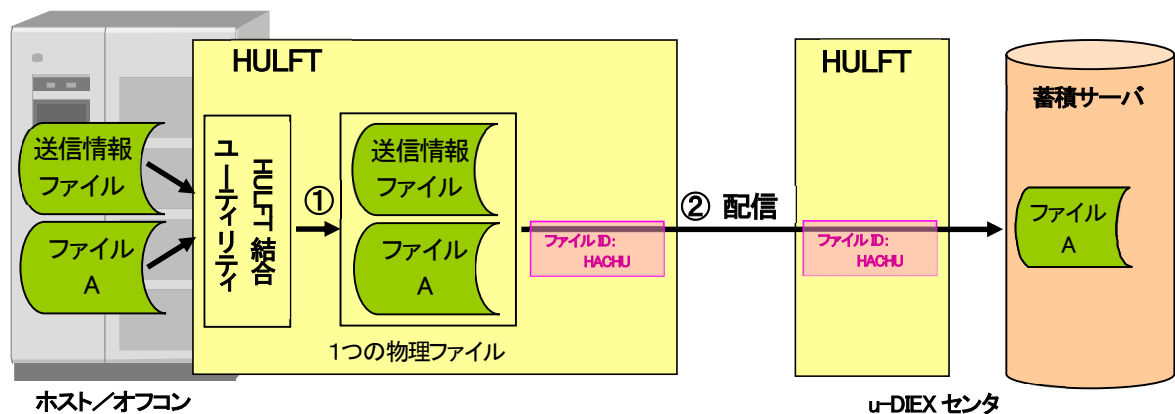
本システムでサポートする送信方法は以下の3種類です。

以下の 3 種類の送信方法について説明します。

- 自由形式(送信情報ファイル)での送信
- 自由形式(送信情報レコード)での送信
- 自由形式(HULFT 標準)での送信

## a) 自由形式(送信情報ファイル)での送信

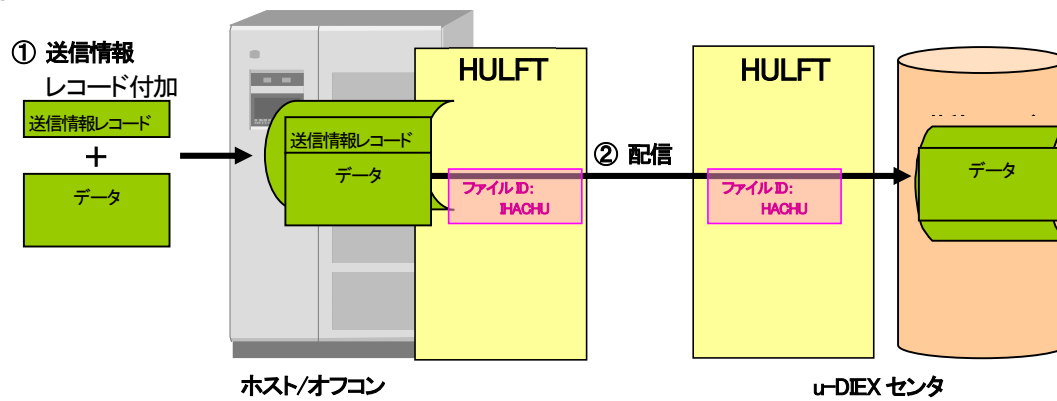
- データは送信情報ファイルと HULFT の結合ユーティリティを利用し結合します。
- ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、送信するファイルを u-DIEX センタへ転送します。



※送信情報ファイルの詳細については、「[7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

## b) 自由形式(送信情報レコード)での送信

- ① データの先頭に送信情報レコードを付加します。
- ② ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、送信するファイルを u-DIEX センタへ転送します。



※送信情報レコードの詳細については、「[7.6.4. 送信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。

## c) 自由形式(HULFT 標準)での送信

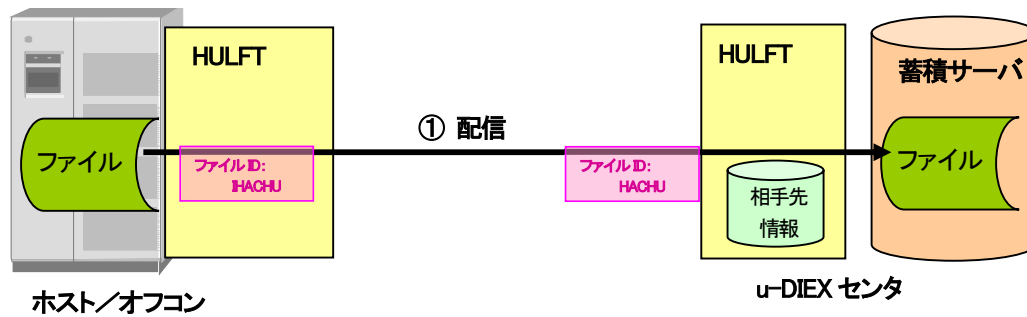
## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(HULFT 標準)

## ■概要

- ① 事前に送信情報に相手先情報、送信元情報を登録しておきます。
- ② 自由形式であっても、作成したデータに送信情報ファイル・送信情報レコードをつけずにそのまま u-DIEX センタへ転送します。

※事前登録した発信元、相手先に限定されます。ファイルは個別送信のみに対応しています。





## (2) 送信時の u-DIEX センタ上のファイル名

## a) 授受単位:ファイル単位

ファイル形式	格納ファイル名の指定	
	指定あり	指定なし(空欄)
自由形式(送信情報ファイル)	(データ種別) + 格納ファイル名 [拡張子] 例) (UDIXAAAA)発注書データ 1.txt	指定不可 ※格納ファイル名は必須入力
自由形式(送信情報レコード)	(データ種別) + 格納ファイル名 [拡張子] 例) (UDIXAAAA)発注書データ.txt	
自由形式(HULFT 標準)	(データ種別) + 格納ファイル名 [拡張子] 例) (UDIXAAAA)発注書データ.txt	

## b) 授受単位:フォルダ単位

ファイル形式	格納ファイル名の指定	
	指定あり	指定なし(空欄)
自由形式(送信情報ファイル)	格納ファイル名 + 連番 [拡張子] ※連番は 1 送信単位で付与 例) 発注書データ 1.txt	結合ファイル内の各ファイル名
自由形式(送信情報レコード)	格納ファイル名 [拡張子] 例) 発注書データ.txt	yyyyymmddhhmmssNNNNN + データ種別 + .XXXX ※XXXX は世代管理の連番 例) 20110120109101500001UDIXAAAA.0001
自由形式(HULFT 標準)	格納ファイル名 + “1” + [拡張子] 例) 発注書データ 1.txt	データ種別 + .XXXX ※XXXX は世代管理の連番 例) UDIXAAAA.0001

## (3) 送信時の注意事項

ファイル単位授受の場合、データ種別毎に、HULFT I/F 支援システムの送信情報に格納ファイル名の登録が必要です。

## (4) 送信時の転送単位

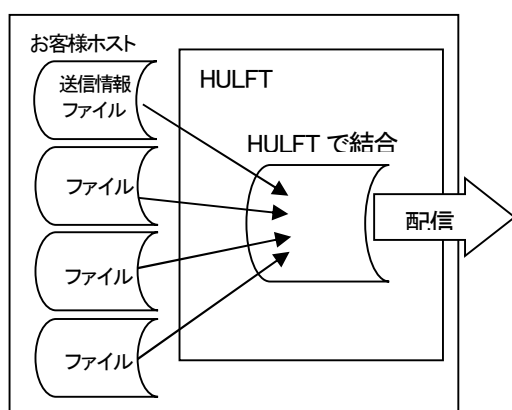
## a) 自由形式(送信情報ファイル)での送信

## ■対象ファイル形式

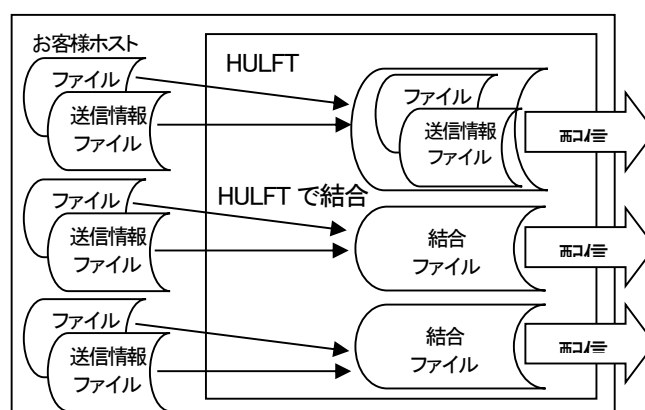
- ・自由形式(送信情報ファイル)

送信の際の転送単位として以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	複数宛先へ同一种別のデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 A 参照) ※結合可能なファイル数は最大 9999 です。 9999 を超えて指定しますと、エラーとなり送信できません。
個別	宛先毎に1つのデータファイルと送信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信します。(下図 B 参照)



図A 転送単位:一括



図B 転送単位:個別

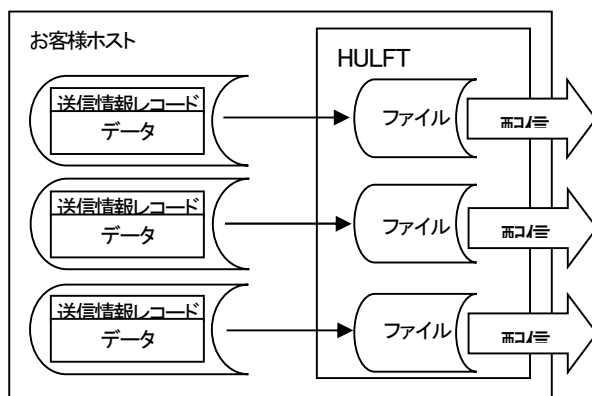
## b) 自由形式(送信情報レコード)での送信

## ■対象ファイル形式

- ・自由形式(送信情報レコード)

送信の際の転送単位として以下の方法があります。

転送単位	説明
個別	送信情報レコードを挿入した1つのデータファイルを宛先毎に配信します。(下図 C 参照)



図C 転送単位:個別

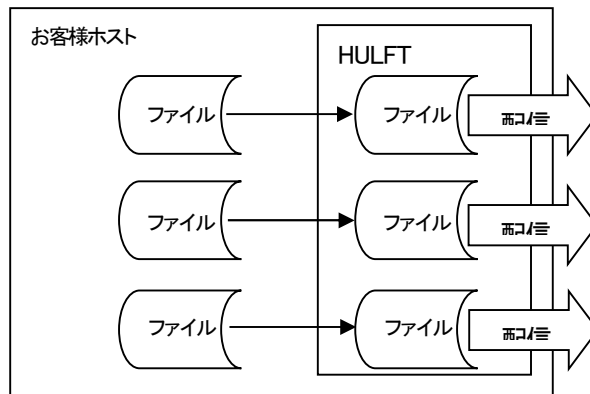
## c) 自由形式(HULFT 標準)での送信

## ■ 対象ファイル形式

- ・自由形式(HULFT 標準)

送信の際の転送単位として以下の方法があります。

転送単位	説明
個別	センタに事前登録することにより、1つのデータファイルを1つの宛先に配信します。(下図D 参照)



図D 転送単位:個別

## (5) 受信方法

受信単位は以下の2種類の単位があります。

## a) ファイル単位での受信

(受信するフォルダは、ホスト名毎に1つ設定することが出来ます。)

## b) フォルダ単位での受信

**※ファイル単位、フォルダ単位のどちらで受信を行うか、1つ選んでいただく必要があります。併用はできません。**

本システムでサポートする受信形式は以下の3種類です。

(U-DIEX(情報公開)サービスでサポートしているファイル形式に対応しています。)

ファイル形式	受信(宛先)情報のつけ方	説明
自由形式	受信情報ファイル	データに規則はなく、バイナリデータとして取り扱う。文字コードは任意。発信元・相手先情報を記述したファイルと HULFT 結合される。
	受信情報レコード	データに受信情報レコードが付加された形式で受信する。データに規則はなく、文字コードは任意。受信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII から選択。
	HULFT 標準	ユーザデータのみを受信する形式。転送方法は個別一括から選択できるが、一括の場合は物理的に結合されるので、ユーザにてファイルの区切れが分かるデータである必要がある。データに規則はなく、文字コードは任意。

本システムでサポートする受信方法は以下の3種類です。

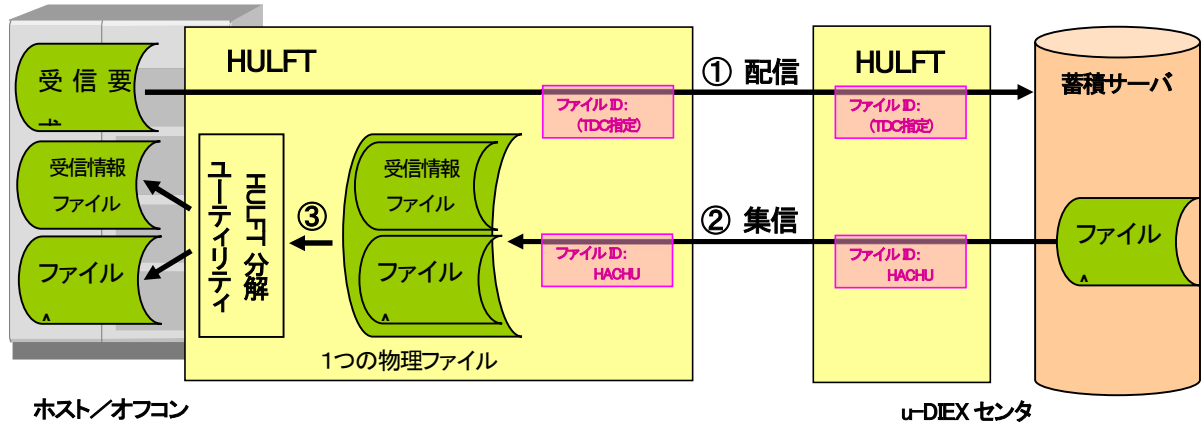
以下の3種類の受信方法について説明します。

- 自由形式(受信情報ファイル)での受信
- 自由形式(受信情報レコード)での受信
- 自由形式(HULFT 標準)での受信

## a) 自由形式(受信情報ファイル)での受信

受信は、受信要求ファイルに受信したいデータ種別またはファイル ID を指定してセンタへ配信します。  
 お客様宛てに届いている未受信データを全て受信したい場合には「ALL」を指定してセンタへ配信します。  
 また、申請時に基点となる u-DIEX(情報公開)のサービスフォルダを登録しておく必要があり、その場所から受信を行います。

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。
- ③ 受信したファイルを HULFT の分割機能を利用し、データファイルと受信情報ファイルに分解します。

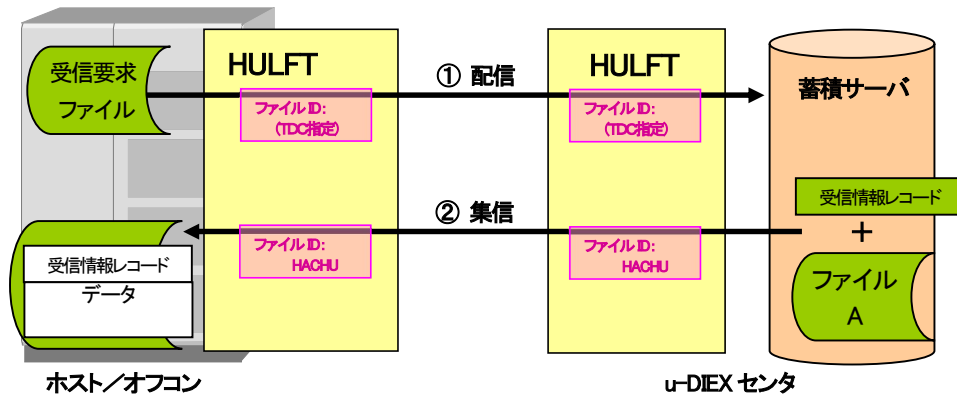


※受信情報ファイルの詳細については、「[7.6.2. 受信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。  
 ※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

## b) 自由形式(受信情報レコード)での受信

受信は、受信要求ファイルに受信したいデータ種別またはファイル ID を指定してセンタへ配信します。  
 お客様宛てに届いている未受信データを全て受信したい場合には「ALL」を指定してセンタへ配信します。  
 また、申請時に基点となる u-DIEX(情報公開)のサービスフォルダを登録しておく必要があり、その場所から受信を行います。

- ① ホスト/オフコンから HULFT による配信処理を実行し、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。
- ② u-DIEX センタは、受信要求ファイルの情報を元に該当するデータをお客様宛に配信します。



※自由形式の同一種別ファイルを HULFT での分解なしに受信していただくことができます。  
 ※受信情報レコードの詳細については、「[7.6.5. 受信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。  
 ※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

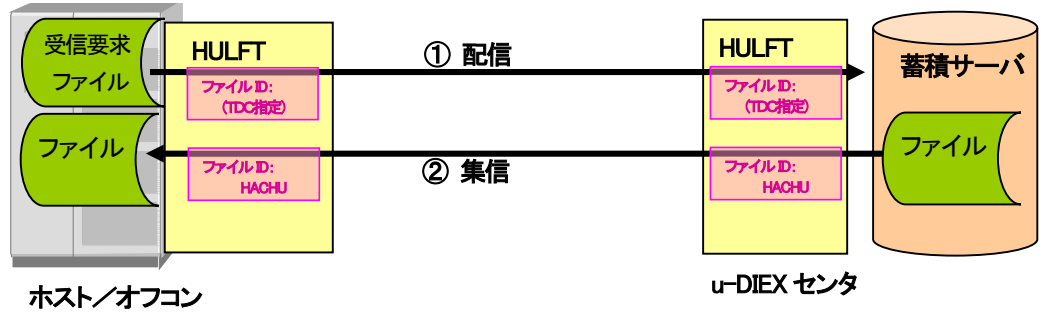
c)自由形式(HULFT 標準)での受信

受信情報ファイルや、受信情報レコードを受信データに含まずに、実データのみを受信することができます。メッセージ識別子／データ種別単位またはファイル ID で指定が可能です。

受信の場合、HULFT ユーティリティによる分解、受信情報ファイル・受信情報レコードの除去といった後処理が不要となります。

- ① 事前に受信情報に自由形式(HULFT 標準)をメッセージ識別子単位で登録しておきます。
- ② 受信要求をすることで、自由形式であっても、作成したデータに受信情報ファイル・受信情報レコードをつけずにそのままのデータを受信します。

※事前登録した発信元、相手先に限定されます。



※自由形式の同一種別ファイルを HULFT での分解なしに受信していただくことができます。  
※受信要求ファイルの詳細については、[「7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト」](#)を参照して下さい。

(6) 受信後のファイル名

受信後のファイル名は、お客様の HULFT の集信管理情報にて設定します。  
自由形式で受信したファイルを HULFT 分解ユーティリティにて分解した後のファイル名は、「ファイル ID + “.” + 連番(3 桁)」となり、連番は 001 から付けられます。

(7) 受信時の注意事項

授受単位により、受信時には以下の注意事項があります。

授受単位	注意事項
ファイル単位	・センタ上のファイル名の先頭に“(データ種別)”がついていない場合は、受信出来ません。 例) データ種別=AAA の場合 → (AAA)FILENAME 授受双方でファイル名について、事前に取り決めが必要となります。
フォルダ単位	・フォルダ単位授受を行う場合のフォルダ構成は、データ種別毎にフォルダを作成し、データ種別とフォルダ名を紐付けて運用して頂く事を推奨いたします。 ・同一のフォルダを複数のデータ種別に割り当てることは出来ません。

(8) データ種別のつけ方について

授受単位により、データ種別のつけ方に以下の制約事項があります。

授受単位	制約事項
ファイル単位	・データ種別は、『ファイル名、格納先パス、アクセス権(宛先)』に1:1で紐付きます。 これらを変えて授受を行う場合は、データ種別を変えて登録する必要があります。
フォルダ単位	・データ種別は、フォルダに紐付きます。 受信するフォルダを追加する場合は、データ種別を追加する必要があります。

## (9) 受信時の転送単位

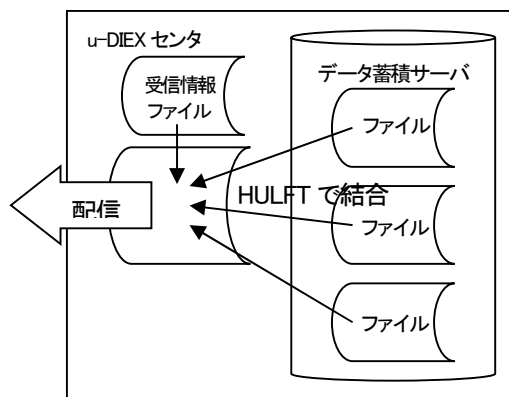
## a) 自由形式(受信情報ファイル)での受信

## ■対象ファイル形式

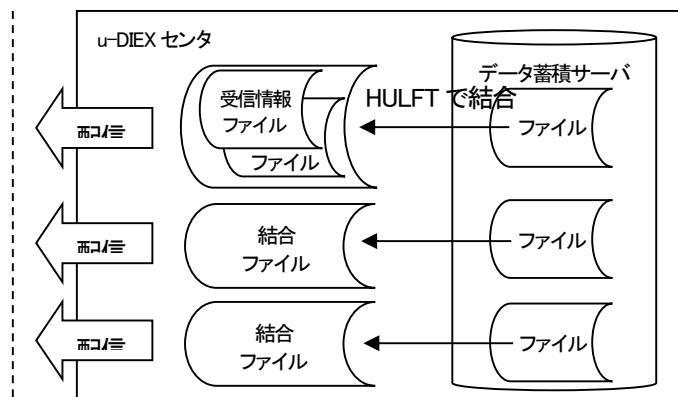
- ・自由形式(受信情報ファイル)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数データファイルと受信情報ファイルを1つのファイルに結合して配信されます。(下図 A 参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルと受信情報ファイルを結合し、複数回配信されます。(下図 B 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。(詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図A 転送単位:一括



図B 転送単位:個別

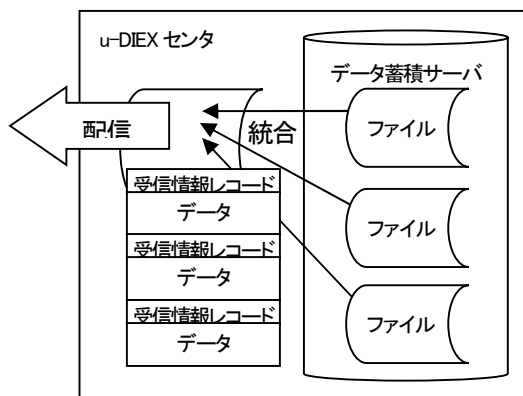
## b) 自由形式(受信情報レコード)

## ■対象ファイル形式

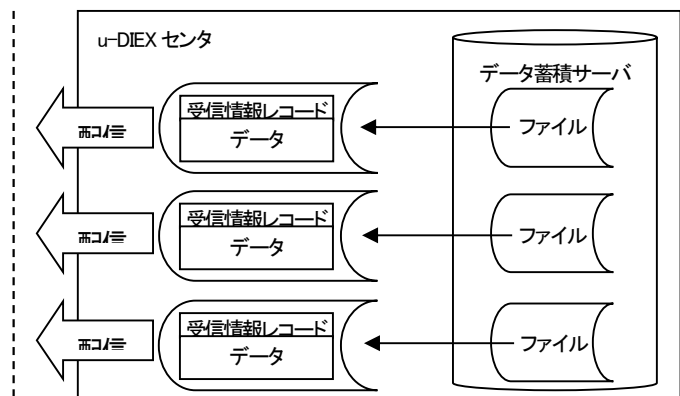
- ・自由形式(受信情報レコード)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の複数データファイルをデータ種別毎に、受信情報レコードを挿入し、1つのファイルに統合して配信されます。(下図C参照) ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルごとに受信情報レコードを挿入して、複数回配信されます。(下図D参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。(詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図C 転送単位:一括



図D 転送単位:個別

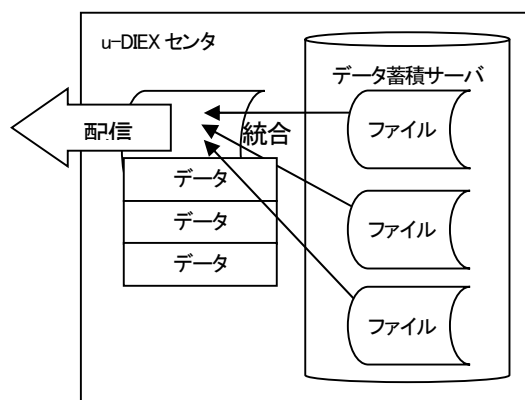
## c) 自由形式(HULFT 標準)

## ■対象ファイル形式

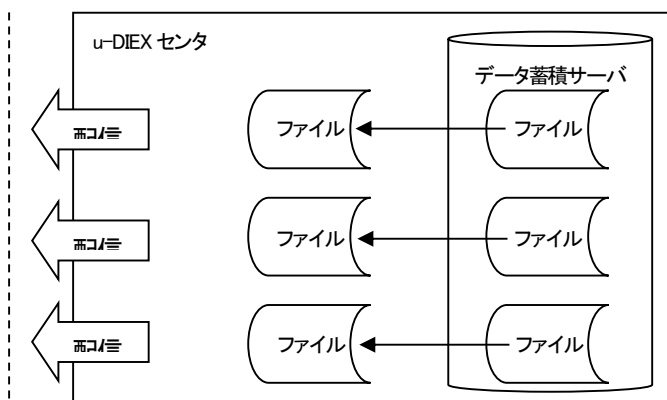
- ・自由形式(HULFT 標準)

受信の際の転送単位として、以下の2つの方法があります。

転送単位	説明
一括	未受信の同一種別の複数データファイルが存在した場合、ファイルを物理的に1つに統合して配信されます。(下図E 参照) ※お客様にてファイルの区切れがわかるデータである必要があります。 ※結合可能なファイル数は最大 999 です。 999 を超える受信ファイルがある場合、999 まで受信可能です。
個別	未受信の同一種別の複数データファイルはそれぞれ1データファイルごとに複数回配信されます。(下図F 参照) ただしエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。(詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)



図E 転送単位:一括



図F 転送単位:個別

## (10) HULFT での u-DIEX(情報公開)サービスご利用についての注意点

- ① 宛先として会社または1ユーザを指定することができますが、組織および複数ユーザは対象としておりません。
- ② 送信対象フォルダは1つのデータ種別に対して1フォルダのみ設定いただけます。
- ③ 授受以外の機能については、Web-EDI をご利用いただく必要があります。

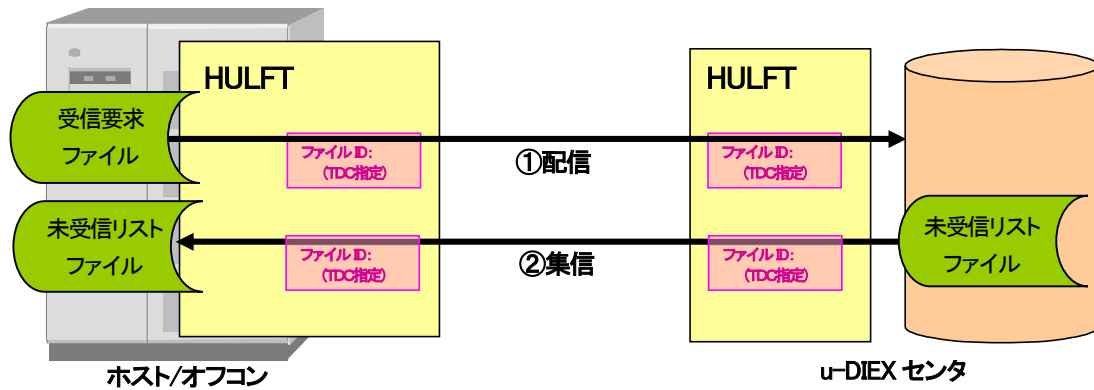


## (11) 未受信リスト取得機能

## ■概要

u-DIEX センタに蓄積されているファイルの未受信リストを取得する機能です。

- ① 通常の受信手順と同様に、受信要求ファイルを u-DIEX センタへ転送します。  
受信要求ファイルのデータ種別を記述する項目に、未受信リスト取得用の特別なデータ種別を記述します。
- ② u-DIEX センタは、未受信リストを生成し、お客様宛に配信します。



※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

※未受信リストの詳細については、「[7.6.6. 未受信リストファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

## 6.2. 送受信結果確認

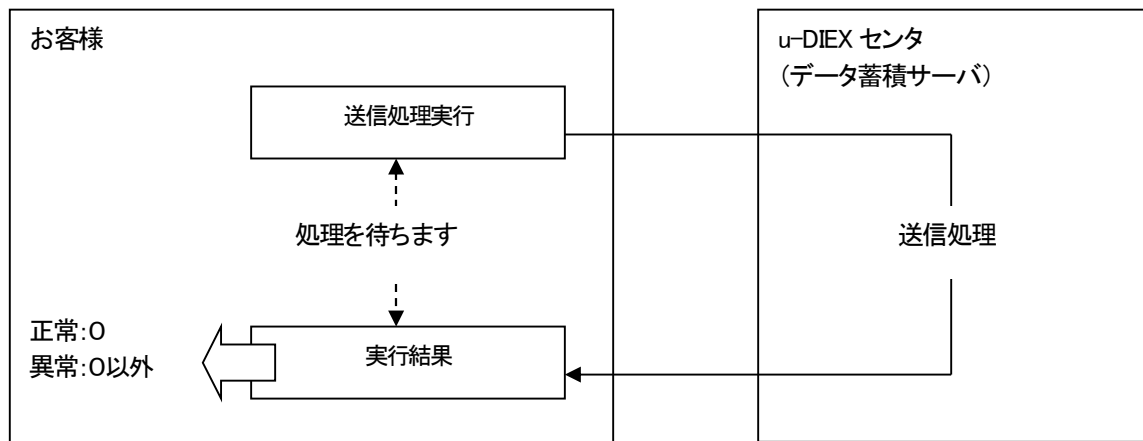
### 6.2.1. 送信結果確認

送信の結果、u-DIEX センタでのファイル蓄積の結果を確認する必要がある場合、配信ユーティリティ実行時に「同期転送」を指定します。

送信されたファイルが正常にデータ蓄積サーバに蓄積された場合、配信ユーティリティの実行結果(戻り値)として「0」が返されます。

異常が発生した場合、配信ユーティリティの実行結果は「0以外」が返されます。

異常が発生した場合は、送信されたファイルは u-DIEX センタに蓄積されません。複数のデータを結合し送信した場合は、全てのデータが蓄積されません。



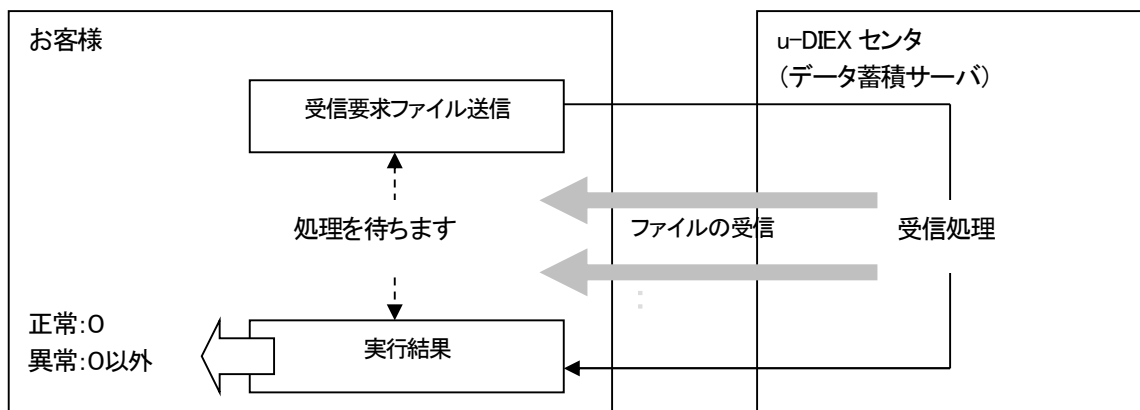
処理	正常終了	異常終了	異常終了時のデータの扱い
送信	0	0 以外	送信したデータ全てが異常

### 6.2.2. 受信結果確認

受信要求を行ったファイルの受信の正常終了を確認する場合、受信要求ファイル送信時の配信ユーティリティで「同期転送」を指定します。

u-DIEX センタに蓄積されたファイルを正常に受信できた場合、または未受信ファイルがなかった場合、配信ユーティリティの実行結果には「0」が返されます。

異常が発生した場合、配信ユーティリティの実行結果は「0以外」が返されます。



※**受信結果**の詳細については、[「8.1. 受信結果詳細」](#)を参照して下さい。

処理	正常終了	異常終了	異常終了時のデータの扱い
受信	0	0 以外	データは未受信

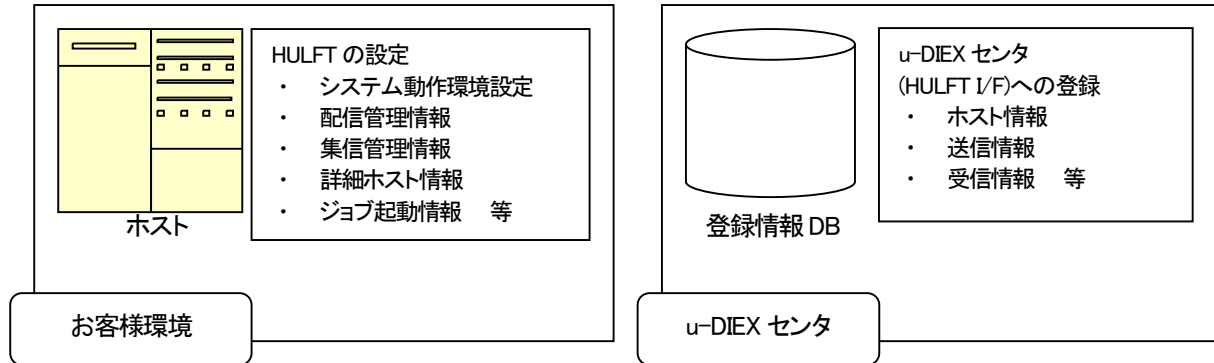
## 7. 利用手順

本システムを利用するにあたり、利用方法の概要を説明します。

### 7.1. 本システム利用に必要な登録

本システムを利用するために必要な登録について説明します。

ファイルを送受信するためには事前に以下の設定が必要となります。



#### 7.1.1. お客様側 HULFT の設定

お客様側のホストに搭載されている HULFT の設定を行います。

各設定の詳細については HULFT のマニュアルをご参照ください。

※以下の設定値は変更されることがありますので、ご注意ください。

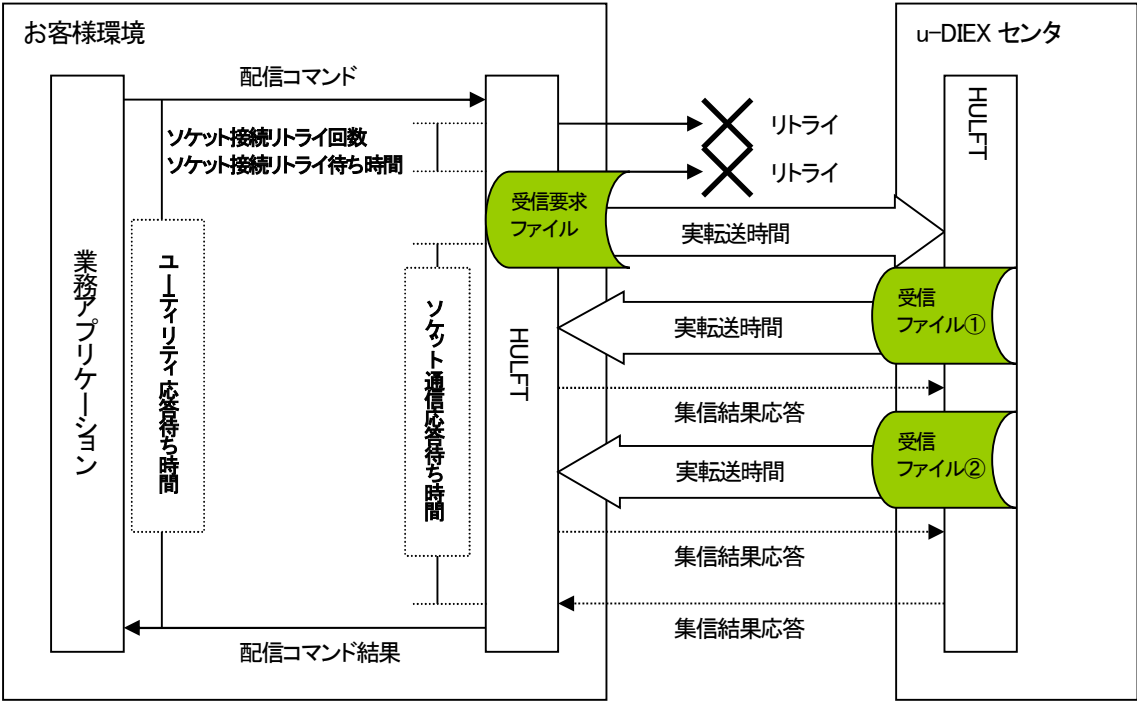
#### ○システム動作環境設定

HULFT が動作するときの環境設定を行います。

設定項目	説明	設定値
集信ポート No.	u-DIEX センタからの送信データを待ち受けるポート番号	デフォルト:30000 ※変更する場合、u-DIEX センタへの登録が必要です
要求受付ポート No.	要求受付デーモンが u-DIEX センタからの待機を行うポート番号	デフォルト:31000 ※u-DIEX センタでは使用しません
ソケット接続リトライ回数	ソケット接続失敗時のリトライ回数 (初期値:5 回)	お客様側通信環境に合わせて設定 u-DIEX センタとの通信中にタイムアウトしないように設定
ソケット接続リトライ待ち時間	ソケット接続失敗時のリトライ待ち時間 (初期値:20 秒)	
ソケット通信応答待ち時間	ソケットによる通信中の応答待ち時間 (初期値:3600 秒)	
ユーティリティ応答待ち時間	ユーティリティの応答待ち時間 (初期値:60 秒)	
配信プロセスの多重度	同時に起動される配信プロセスの最大値 (初期値:10)	1(固定)
集信プロセスの多重度	同時に起動される集信プロセスの最大値 (初期値:0 無制限)	お客様側通信環境に合わせて設定

※その他の設定値は任意

各待ち時間につきましては以下をご参考に設定をお願いいたします。



No	設定項目	含まれる時間	備考
1	ソケット接続リトライ回数	ソケット接続失敗時のリトライ回数 (初期値:5 回)	—
2	ソケット接続リトライ待ち時間	ソケット接続失敗時のリトライ待ち時間 (初期値:20 秒)	—
3	ソケット通信応答待ち時間	・配信データまたは集信データの最大転送時間 ・u-DIEX センタ処理時間	—
4	ユーティリティ応答待ち時間	・(ソケット接続リトライ回数) × (ソケット接続リトライ待ち時間) ・ソケット通信応答待ち時間	—

## ○詳細ホスト情報

集配信する相手先のホスト情報を登録します。

設定項目	説明	設定値
ホスト名	u-DIEX センタのホスト名	p-exftp ※小文字で設定 (メインフレームでは大文字)
ホスト種	u-DIEX センタのホスト種	U : UNIX
漢字コード種	u-DIEX センタの漢字コード種	E : EUC
JIS 年度	上記漢字コードの JIS 年度	1 : JIS83
集信ポート No.	集信デーモンが使用するポート番号	40401
要求受付ポート No.	要求監視デーモンが使用するポート番号	31000 (初期値) ※u-DIEX センタでは使用しません
接続形態	u-DIEX センタの接続形態	L : LAN 接続

## ○配信管理情報

配信するファイルに関する情報を登録します。

MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)毎に設定し、必ず、1MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)に対し、1ファイル ID となるよう管理していただく必要があります。

※ただし、受信要求ファイル(ファイル ID は TS 指定)の登録が必須です。

※受信要求ファイルの設定では、転送タイプは「T: テキスト」、コード変換は「配信側」で設定して下さい。(受信要求ファイルの文字コードを ASCII で作成してあれば BINARY 転送も可)

※受信要求ファイル以外で転送タイプ「T: テキスト」(テキスト転送)を使用する場合には、受信側のお客様も HULFT インターフェースを利用し、テキスト転送で受信する必要があります。

詳細は「8.1.3.テキスト転送を使用する際の注意点」を参照してください。

設定項目	説明	設定値
ファイル ID	配信するファイルを認識するための ID	ファイル ID
転送タイプ	配信するファイルのデータタイプ	B : バイナリ T : テキスト
転送グループ ID	配信するファイルの配信先が登録されている ID	任意(8文字以内の英数字)
コード変換	転送タイプが「T: テキスト」の場合に、配信側、集信側どちらでコード変換を行うか、またはコード変換を行わないかを指定	配信側 集信側 無変換
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または8~20 文字の英数字)

## ○集信管理情報

集信するファイルに関する情報を登録します。

MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)毎に設定する必要があります。

設定項目	説明	設定値
ファイル ID	集信するファイルを認識するための ID	ファイル ID
集信完了通知	配信側ホストへの集信完了通知	T: 集信完了後通知
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または8~20 文字の英数字)

## ○ジョブ起動情報

集配信の前後、また、エラー発生時のジョブ(処理)を登録します。全て任意です。

## ○転送グループ情報

配信するファイルの配信先を登録します。

設定項目	説明	設定値
転送グループ ID	登録した集配信先を認識するための ID	任意(8文字以内の英数字)
ホスト名	配信するファイルの配信先ホスト名	p-exftp ※小文字で設定 (メインフレームでは大文字)
コメント	転送グループに対するコメント	任意

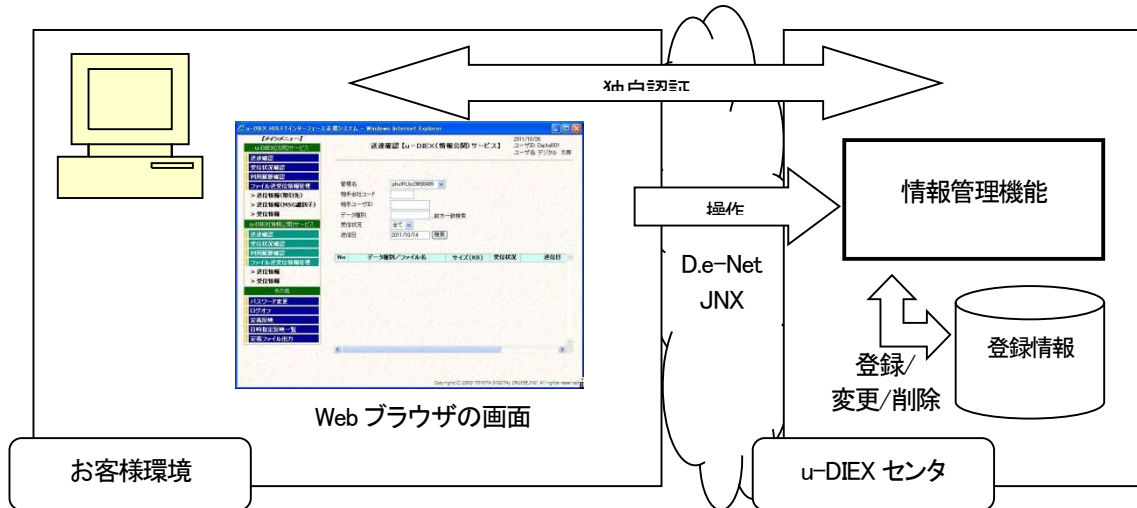
※その他の設定値は任意

### 7.1.2 u-DIEX センタへの情報登録

u-DIEX センタへ登録する情報について説明します。

u-DIEX センタへは、お客様側のホスト情報を登録します。お客様側ホスト情報については、サービスご利用前に申請して頂き、その情報を TS にて登録します。

送信情報、受信情報については下図のようにお客様が Web ブラウザで登録※<sup>3</sup>します。



#### ○ホスト情報

お客様のホストに関する情報を登録します。この情報は、サービス利用前に申請して頂く情報です。

u-DIEX (汎用) サービス、u-DIEX (情報公開) サービスごとに必要となります。

設定項目	説明
ホスト名 ※	〈汎用〉 B+取引先コード(計 5 桁) 〈情報公開〉 会社コード(5 桁) 例:B8489
IP アドレス	上記ホストの IP アドレス
ホスト種	上記ホストのホスト種
漢字コード種	上記ホストの漢字コード
JIS 年度	上記漢字コードの JIS 年度
集信ポート No.	集信デーモンが使用するポート番号
要求受付ポート No.	要求監視デーモンが使用するポート番号(当面は使用しません)

※お客様側 HULFT のホスト名が u-DIEX センタ上で重複しない様、設定をお願いしております。

本設定にて問題が生じる場合は、弊社担当営業へご連絡ください。

※<sup>3</sup> 登録された内容は、通常、登録実施日の翌日センタへ反映となります。定義情報画面で「即時反映」を実行した場合は反映処理実施後、定義情報画面で「日時指定反映」を実行した場合は指定日時後にセンタへ反映となります。

## ○送信情報

お客様が送信する宛先およびファイルについての情報を登録します。送信する MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)毎に登録が必要です。Web ブラウザより操作が可能です。

## (1) u-DIEX(汎用)

## ・取引先情報

登録項目	説明	登録内容
管理名	登録情報をお客様ごとに管理する名称	お客様の「EDI-ID <sup>※4</sup> 」
取引先コード	宛先の取引先コード	宛先の取引先コードを指定
取引先サブアドレス	宛先の拠点コード	宛先の拠点コードを指定
取引先 EDI-ID	宛先の EDI-ID	宛先の EDI-ID

## ・MSG 識別子情報

登録項目	説明	登録内容
ホスト名	送信情報を登録するお客様側ホスト名	お客様のホスト名
MSG 識別子	送信するファイルの MSG 識別子	ファイルを識別する ID
ファイル形式	送信するファイルの形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由形式(送信情報ファイル)</li> <li>・自由形式(送信情報レコード)</li> <li>・自由形式(HULFT 標準)</li> <li>・TNS 標準形式</li> <li>・TNS 標準形式(送信情報ファイル)</li> <li>・TNS 拡張形式</li> <li>・TNS 拡張形式(送信情報ファイル)</li> </ul>
コード	ファイル形式に自由形式(送信情報レコード)を選択した場合の文字コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ASCII</li> <li>・EBCDIC</li> </ul>
レコード長	ファイル形式に自由形式(送信情報レコード)を選択して、文字コードに EBCDIC を選択した場合のレコード長	送信情報レコードの長さ(単位:バイト)
送信元 EDI-ID	ファイル形式に自由形式(HULFT 標準)を選択した場合の送信元 EDI-ID	お客様の送信 EDI-ID
相手先 EDI-ID	ファイル形式に自由形式(HULFT 標準)を選択した場合の相手先 EDI-ID	相手先の受信 EDI-ID
ファイル ID	送信するファイルのファイル ID	お客様側 HULFT の配信管理情報に登録したファイル ID
EBCDIC セット	EBCDIC 系コードセットのお客様からテキスト転送、集信側変換で配信した場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII 変換)で使用するコードセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動</li> <li>・カナ文字</li> <li>・英小文字</li> <li>・ASCII</li> <li>・ASPEN</li> <li>・IBM 英小文字</li> <li>・IBM 英小文字拡張</li> <li>・NEC カナ文字</li> <li>・IBM カナ文字拡張</li> <li>・IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)</li> </ul>
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または8~20 文字の英数字)

※4 EDI-ID とは、「xxxxxxx@UDCOM」の“@”より前の部分「xxxxxxx」を指します。



## (2) u-DIEX(情報公開)

登録項目	説明	登録内容
管理名	登録情報をお客様ごとに管理する名称	お客様の「ユーザ ID@会社コード」
ホスト名	送信情報を登録するお客様側ホスト名	お客様のホスト名
ユーザ ID	宛先のユーザ ID <sup>※5</sup>	宛先のユーザ ID
会社コード	宛先の会社コード	宛先の会社コード
データ種別	送信するファイルのデータ種別	ファイルを識別する ID
ファイル形式	送信するファイルの形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由形式(送信情報ファイル)</li> <li>・自由形式(送信情報レコード)</li> <li>・自由形式(HULFT 標準)</li> </ul>
コード	ファイル形式に自由形式(送信情報レコード)を選択した場合の文字コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ASCII</li> <li>・EBCDIC</li> </ul>
レコード長	ファイル形式に自由形式(送信情報レコード)を選択して文字コードに EBCDIC を選択した場合のレコード長	送信情報レコードの長さ(単位:バイト)
送信元ユーザ ID	ファイル形式に自由形式(HULFT 標準)を選択した場合の送信元ユーザ ID	お客様の送信ユーザ ID
送信元会社コード	ファイル形式に自由形式(HULFT 標準)を選択した場合の送信元会社コード	お客様の会社コード
格納先パス名	送信するファイルの格納ディレクトリ	任意
格納先ファイル名	送信するファイルの格納ファイル名	任意
What's New 通知	送信時の What's New 通知の Web-EDI 画面表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知する</li> <li>・通知しない</li> </ul>
What's New(日)	Web-EDI 画面の What's New 表示する日本語文字列	任意
What's New(英)	Web-EDI 画面の What's New 表示する英語文字列	任意
ファイル ID	送信するファイルのファイル ID	お客様側 HULFT の配信管理情報に登録したファイル ID
EBCDIC セット	EBCDIC 系コードセットのお客様のデータ送信で、テキスト転送、集信側変換を設定した場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII)で使用するコードセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動</li> <li>・カナ文字</li> <li>・英小文字</li> <li>・ASCII</li> <li>・ASPEN</li> <li>・IBM 英小文字</li> <li>・IBM 英小文字拡張</li> <li>・NEC カナ文字</li> <li>・IBM カナ文字拡張</li> <li>・IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)</li> </ul>
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または 8~20 文字の英数字)

※同一のファイル ID を u-DIEX(汎用/情報公開)サービスで使用することは出来ません。

※IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)の詳細は「8.1.4. u-DIEX 固有の EBCDIC セット」を参照してください。

<sup>※5</sup> ユーザ ID とは「user@会社コード」の“@”より前の部分「user」を指します。

## ○受信情報

お客様が受信するファイルについての情報を登録します。受信する MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)毎に登録が必要です。Web ブラウザより操作が可能です。

## (1) u-DIEX(汎用)

登録項目	説明	登録内容
管理名	登録情報をお客様ごとに管理する名称	お客様の「EDI-ID」
MSG 識別子	受信するファイルの MSG 識別子	ファイルを識別する ID
ファイル形式	受信するファイルの形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由形式(受信情報ファイル)</li> <li>・自由形式(受信情報レコード)</li> <li>・自由形式(HULFT 標準)</li> <li>・TNS 標準形式</li> <li>・TNS 標準形式(受信情報ファイル)</li> <li>・TNS 拡張形式</li> <li>・TNS 拡張形式(受信情報ファイル)</li> <li>・固定長形式</li> </ul>
コード	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択した場合の文字コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ASCII</li> <li>・EBCDIC</li> </ul>
改行	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択して文字コードに ASCII を選択した場合の改行コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LF</li> <li>・CRLF</li> </ul>
レコード長	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択して文字コードに EBCDIC を選択した場合のレコード長	受信情報レコードの長さ(単位:バイト)
転送単位	同一種別のファイルをセンタ上で結合し受信するかのフラグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別</li> <li>・一括</li> </ul> <p>ただし「個別」でエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a>参照)</p>
ファイル ID	受信するファイルのファイル ID	お客様側 HULFT の集信管理情報に登録したファイル ID を指定
転送タイプ	配信するファイルのデータタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BINARY</li> <li>・TEXT</li> </ul>
コード変換	転送タイプが「TEXT」の場合に、集信側、配信側どちらでコード変換を行うか、またコード変換を行わないかを指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集信側</li> <li>・配信側</li> <li>・無変換</li> </ul> <p>※u-DIEX センタが配信側になります</p>
EBCDIC セット	1バイトコード変換(ASCII⇒EBCDIC 変換)で使用するコードセット EBCDIC 系コードセットのお客様で、「TEXT」転送、「配信側」変換を設定した場合に使用されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動</li> <li>・カナ文字</li> <li>・英小文字</li> <li>・ASCII</li> <li>・ASPEN</li> <li>・IBM 英小文字</li> <li>・IBM 英小文字拡張</li> <li>・NEC カナ文字</li> <li>・IBM カナ文字拡張</li> <li>・IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)</li> </ul>
シフトコードの扱い	EBCDIC 系コードセットへのコード変換を行うときのシフトコードの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付加する</li> <li>・付加しない</li> </ul>
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または8~20 文字の英数字)

## (2) u-DIEX(情報公開)

登録項目	説明	登録内容
管理名	登録情報をお客様ごとに管理する名称	お客様の「ユーザ ID@会社コード」
データ種別	受信するファイルのデータ種別	ファイルを識別するID
ファイル形式	受信するファイルの形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由形式(受信情報ファイル)</li> <li>・自由形式(受信情報レコード)</li> <li>・自由形式(HULFT 標準)</li> </ul>
コード	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択した場合の文字コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ASCII</li> <li>・EBCDIC</li> </ul>
改行	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択して文字コードに ASCII を選択した場合の改行コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LF</li> <li>・CRLF</li> </ul>
レコード長	ファイル形式に自由形式(受信情報レコード)を選択して文字コードに EBCDIC を選択した場合のレコード長	受信情報レコードの長さ(単位:バイト)
転送単位	同一種別のファイルをセンタ上で結合し受信するかのフラグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別</li> <li>・一括</li> </ul> ただし「個別」でエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。 (詳細は <a href="#">7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御</a> 参照)
格納パス	フォルダ単位授受を行う際の、受信元フォルダのパス	(フォルダ単位授受のみ)受信元フォルダのパス
ファイル ID	受信するファイルのファイル ID	お客様側 HULFT の集信管理情報に登録したファイル ID を指定
転送タイプ	配信するファイルのデータタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BINARY</li> <li>・TEXT</li> </ul>
コード変換	転送タイプが「TEXT」の場合に、集信側、配信側どちらでコード変換を行うか、またコード変換を行わないかを指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集信側</li> <li>・配信側</li> <li>・無変換</li> </ul> ※u-DIEX センタが配信側になります
EBCDIC セット	1バイトコード変換(ASCII⇒EBCDIC 変換)で使用するコードセット EBCDIC 系コードセットのお客様で、「TEXT」転送、「配信側」変換を設定した場合に使用されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動</li> <li>・カナ文字</li> <li>・英小文字</li> <li>・ASCII</li> <li>・ASPEN</li> <li>・IBM 英小文字</li> <li>・IBM 英小文字拡張</li> <li>・NEC カナ文字</li> <li>・IBM カナ文字拡張</li> <li>・IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)</li> </ul>
シフトコードの扱い	EBCDIC 系コードセットへのコード変換を行うときのシフトコードの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付加する</li> <li>・付加しない</li> </ul>
暗号キー	通信データを暗号化するキー	任意(空欄または8～20 文字の英数字)

※登録項目およびその設定内容につきましては一部変更となる場合がございますのでご了承ください。

※同一のファイル ID を u-DIEX(汎用/情報公開)サービスで使用することは出来ません。

※受信時にコード変換を行う場合は、u-DIEX センタに文字コード「EUC-JP」、改行コード「LF」でデータが格納されていることが前提になります。

※IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)の詳細は「8.1.4. u-DIEX 固有の EBCDIC セット」を参照してください。

## 7.2. 運用管理機能

Web ブラウザから u-DIEX センタ上のサーバへ接続し利用する機能です。管理機能には以下の機能が含まれます。

### 7.2.1. 送受信情報管理機能

送受信するファイルの情報を登録/変更/削除/表示する機能です。

実際にファイルを送受信するためには u-DIEX センタへの送受信情報の登録と、お客様側 HULFT の集配信管理情報への登録が事前に必要です。

### 7.2.2. 送達確認機能

お客様が送信したファイルの送信先での受信状態を確認する機能です。

u-DIEX センタに送信したファイルの一覧とそのファイルの受信状態が表示されます。

### 7.2.3. 受信状況確認機能

お客様宛の受信ファイルの受信状態を確認する機能です。

u-DIEX センタに蓄積されているお客様宛の受信ファイルの一覧とそのファイルの受信状態が表示されます。

### 7.2.4. 再受信機能(u-DIEX(汎用)サービスのみ)

お客様宛の受信ファイルの受信状態を変更し、受信済のファイルを再受信できる状態にする機能です。

受信済のファイルを選択し、ステータス変更の指示をすると選択したファイルの受信状態が未受信状態になります。

※実際にファイルを受信するには、お客様側の HULFT から受信操作を実施して頂く必要があります。

### 7.2.5. 利用履歴確認機能

お客様がこれまでに行った授受の情報を確認する機能です。

u-DIEX センタに蓄積されているお客様宛の授受の情報とその実行結果が表示されます。

### 7.2.6. 定義反映機能

送受信するファイルの情報を登録/変更/削除した内容をセンタ上に反映する機能です。

反映方法は、「即時反映」と「日時指定反映」があります。

「日時指定反映」では、指定内容の日時の変更、指定内容の削除を実行する機能があります。

### 7.2.7. 定義ファイル出力機能

お客様のセンタに登録された、ユーザ管理情報、ファイル送受信情報をファイルに出力する機能です。

### 7.3. u-DIEX HULFT インターフェース支援システム画面説明

本システムで提供される u-DIEX HULFT インターフェース支援システム画面を説明します。

#### 7.3.1. 共通画面説明について

##### (1) メイン画面

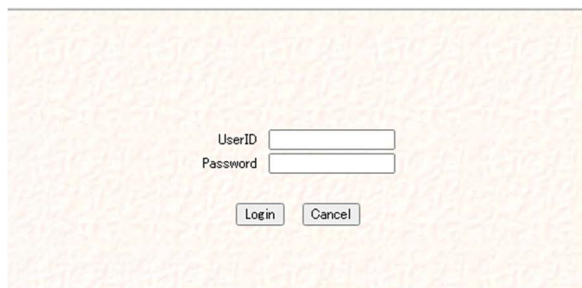
u-DIEX HULFT インターフェース支援システムサイト(URL : <https://p-exftp.u-diex.jp/hulft/>)へアクセスした場合、最初に表示される画面となります。

オブジェクト	名称	説明
ボタン	Login	ログイン画面を表示します。
		備考 [ログイン画面] 参照
	Cancel	当画面を終了します。(ウィンドウを閉じます。)

## (2) ログイン画面

メイン画面の[ Login ]ボタンを押下した場合、表示される画面となります。

登録済の管理者 ID とパスワードにて「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」へログインします。



The image shows a login screen with a light orange background. It contains two input fields: 'UserID' and 'Password'. Below these fields are two buttons: 'Login' and 'Cancel'.

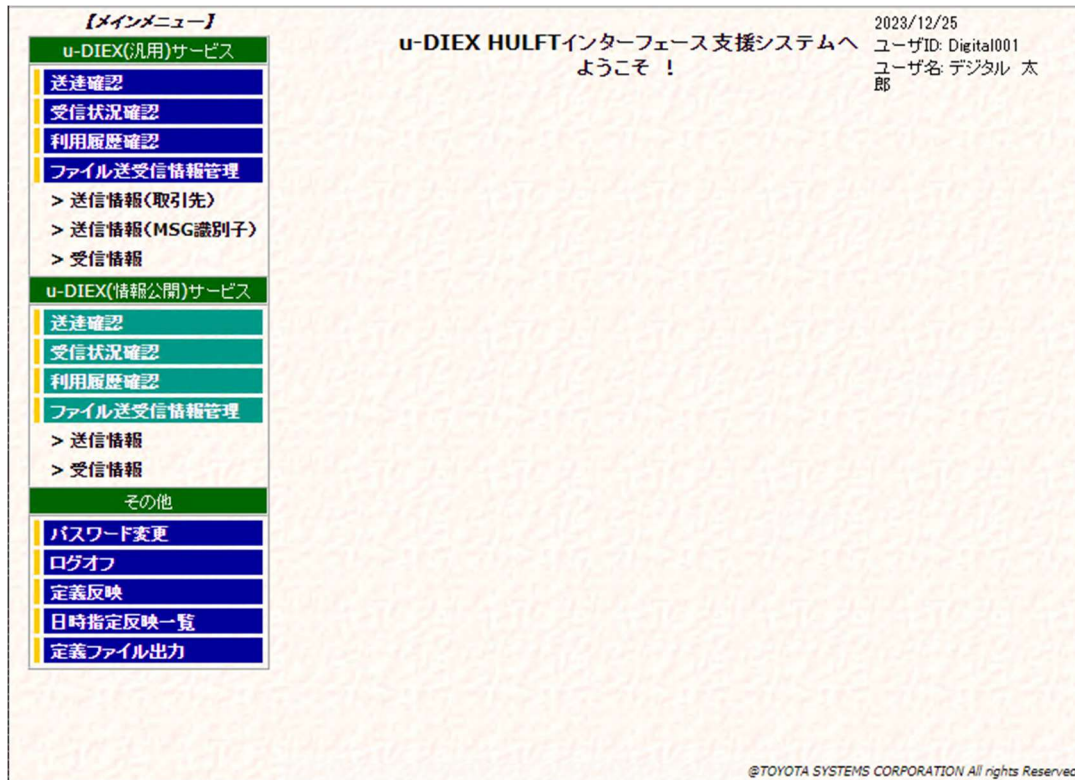
オブジェクト	名称	説明
入力項目	UserID	ログインする管理者 ID を入力します。 (ログインするには、事前に u-DIEX センタでのユーザ情報の登録とパスワードの発行が完了している必要があります。)
		備考 ※入力必須項目
	Password	ログインする管理者 ID の認証パスワードを入力します。
		備考 ※入力必須項目
ボタン	Login	初期表示画面を表示します。
		備考 [初期表示画面] 参照
	Cancel	当画面を終了します。 (当ウィンドウは閉じますが、認証画面は終了しません。)

## (3) トップ画面

ログイン画面の[ Login ]ボタンを押下し認証を通過した場合、表示される画面となります。

右上部には、ログインした管理者情報(日付、ログインした管理者 ID、管理者名)が表示されます。

画面左側には、メインメニューとして各処理画面へ遷移するリンクが表示されます。



	分類	名称	説明
メイン メニュー	u-DIEX(汎用) サービス	送達確認	送達確認【u-DIEX(汎用)サービス】画面へ遷移します。
		受信状況確認	受信状況確認【u-DIEX(汎用)サービス】画面へ遷移します。
		利用履歴確認	利用履歴確認【u-DIEX(汎用)サービス】画面へ遷移します。
		ファイル送受信情報管理 > 送信情報(取引先) > 送信情報(MSG 識別子) > 受信情報	ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】各画面へ遷移します。
	u-DIEX(情報 公開)サービス	送達確認	送達確認【u-DIEX(情報公開)サービス】画面へ遷移します。
		受信状況確認	受信状況確認【u-DIEX(情報公開)サービス】画面へ遷移します。
		利用履歴確認	利用履歴確認【u-DIEX(情報公開)サービス】画面へ遷移します。
		ファイル送受信情報管理 > 送信情報 > 受信情報	ファイル送受信情報管理【u-DIEX(情報公開)サービス】各画面へ遷移します。

	分類	名称	説明
メイン メニュー	その他	パスワード変更	パスワード変更画面へ遷移します。
		ログオフ	当画面を終了します。 (当ウィンドウは閉じますが、メイン画面 は終了しません。)
		定義反映	定義反映画面へ遷移します。
		日時指定反映一覧	日時指定反映一覧画面へ遷移します。
		定義ファイル出力	定義ファイル出力画面へ遷移します。



### 7.3.2 u-DIEX(汎用)サービス利用での画面説明

#### (1) u-DIEX(汎用)サービス

HULFT 機能を使用して u-DIEX(汎用)サービスをご利用になるお客様が操作する画面です。

u-DIEX センタへ接続し、送受信したファイルの状況確認や、ファイルの送受信に必要な HULFT の集配信管理情報への登録などの操作を行います。

ご利用いただける機能は以下の通りです。

- a) 送達確認
- b) 受信状況確認
- c) 利用履歴確認
- d) ファイル送受信情報管理
  - ・送信情報(取引先)
  - ・送信情報(MSG 識別子)
  - ・受信情報

a) 送達確認

お客様から送信したデータの状況(送信先での受信状況)を一覧で表示し、ご確認いただけます。  
表示されるのは、お客様が送信されたデータの中から検索条件に該当する情報となります。

※u-DIEX センタ上に格納されているファイル(蓄積保管期間内)のみ表示されます。  
※TNS 形式のファイルはセンタ上で圧縮されている為、実際のファイルサイズと異なります。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

送達確認【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

O999T01

宛先コード

8489

宛先サブアドレス

001

MSG識別子

前方一致検索

ファイルID

前方一致検索

受信状況

全て

送信日

2024/02/28

検索

No	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	受信状況	送信日
1	ITDCF01	ITDCF01	1	未読	2024/02/28 16:

@TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
	受信状況	「全て」「既読」「未読」から検索条件として指定する状態を選択します。
	宛先コード	検索対象とする取引先コードを入力します。
入力項目	制約	半角英数字(5桁) ※入力必須項目
	宛先サブアドレス	検索対象とする拠点コードを入力します。
	制約	半角英数字(3桁)
	MSG 識別子	検索対象とする MSG 識別子を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイル ID	検索対象とするファイル ID を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50桁)
	送信日	検索対象とする送信日を入力します。
ボタン	制約	"yyyy/mm/dd"形式 ※入力必須項目
	検索	検索条件に該当する情報を一覧表示します。

- 53 -

## b) 受信状況確認

お客様が受信されるデータの状態(既読/未読)を一覧で表示し、ご確認いただけます。  
表示されるのは、お客様宛てに送信されたデータの中から検索条件に該当する情報となります。

※u-DIEX センタ上に格納されているファイル(蓄積保管期間内)のみ表示されます。

※TNS 形式のファイルはセンタ上で圧縮されている為、実際のファイルサイズと異なります。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認  
受信状況確認  
利用履歴確認  
ファイル送受信情報管理  
> 送信情報(取引先)  
> 送信情報(MSG識別子)  
> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認  
受信状況確認  
利用履歴確認  
ファイル送受信情報管理  
> 送信情報  
> 受信情報

その他

パスワード変更  
ログオフ  
定義反映  
日時指定反映一覧  
定義ファイル出力

受信状況確認【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名: 0999T01  
MSG識別子: ...前方一致検索  
ファイルID: ...前方一致検索  
発信元EDI-ID: ...  
受信状況: 全て  
送信日: 2024/02/29 [検索] [再受信]

C	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	発信元	送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	1	0999T02	0999T01

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
	受信状況	「全て」「既読」「未読」から検索条件として指定する状態を選択します。
入力項目	MSG 識別子	検索対象とする MSG 識別子を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8 桁)
	ファイル ID	検索対象とするファイル ID を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50 桁)
	発信元 EDI-ID	検索対象とする発信元の EDI-ID を入力します。
	制約	半角英数字(10 桁)
	送信日	検索対象とする送信日を入力します。
	制約	"yyyy/mm/dd"形式 ※入力必須項目
ボタン	検索	検索条件に該当する情報を一覧表示します。
	再受信	表示された受信状況一覧の中から、チェックボックスで選択したデータの再受信要求画面を表示します。 (チェックボックスが有効となるのは、既読状態のデータのみとなります。)
	備考	受信状況を既読から未読へ受信が可能な状態に設定します。(この操作は、再度の受信可能状態へ設定変更するものであり、実際の受信には、お客様側の HULFT での受信操作が必要です。)

〔 補足 〕 再受信要求

受信状況一覧画面で表示された受信情報の中から、既読の受信情報を選択し、再受信要求操作を行うことができます。  
この操作は、受信状況を既読から未読へ変更し、受信可能な状態にするものです。  
(この操作は、再度の受信可能状態にするものであり、実際の受信には、お客様側の HULFT での受信操作が必要です。)

再受信要求【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

再受信 戻る

C	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	発信元	受信状況	
1	ITDCF01	ITDCF01	1	O999T01	既読	2024/02/29

オブジェクト	名称	説明
ボタン	再受信	選択された受信情報に対して、再受信要求を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 選択された再受信要求操作はキャンセルされます。

受信状況確認画面で再受信要求結果を確認

再受信要求実施後に受信状況確認画面で該当ファイルを確認した場合、再受信要求の実施日と確認する際の送信日の指定によって以下のように表示されます。

ファイルID	サイズ(KB)	発信元	送信先	受信状況
ITDCF01	1	O999T01	O999T02	既読



ファイルID	サイズ(KB)	発信元	送信先	受信状況
ITDCF01	1	O999T01	O999T02	未読

または

ファイルID	サイズ(KB)	発信元	送信先	受信状況
ITDCF01	1	O999T01	O999T02	未読※1
ITDCF01	1	O999T01	O999T02	既読※2

※1:再受信要求によって表示されている  
※2:初回受信時の受信状況を表示している

再受信要求前(初回受信時)

- ・2011/10/25 に受信
- ・送信日の指定を 2011/10/25

再受信要求後1:

初回受信日の後日に再受信要求を実施した場合

- ・2011/10/26 に再受信要求を実施
- ・送信日の指定を 2011/10/26

再受信要求後2:

初回受信日と同日に再受信要求を実施した場合

- ・2011/10/25 に再受信要求を実施
- ・送信日の指定を 2011/10/25



c) 利用履歴確認

お客様がご利用になった送信/受信の履歴を一覧で表示し、ご確認いただけます。  
表示されるのは、お客様がご利用になった u-DIEX(汎用)サービスの利用内容の中から検索条件に該当する情報となります。

※検索可能な情報は、検索日を含めて 15 日前迄となります。  
※受信要求ファイルを送信し、対象の未読データが無かった場合に受信する 0 バイトファイルは、発信元と送信先にリンクが表示されます。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

利用履歴確認【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

O999T01

MSG識別子

前方一致検索

ファイルID

前方一致検索

処理種別

全て

処理結果

全て

処理完了日

2024/02/28

検索

詳細

C	MSG識別子	ファイルID	発信元	送信先	処理種
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01			送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	O999T01	O999T01	送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01			送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	O999T01	O999T02	送信
<input type="checkbox"/>	MR01H001				送信
<input type="checkbox"/>	UDXRCVH				受信
<input type="checkbox"/>	UDXRCVH				受信
<input type="checkbox"/>	UDXRCVH				受信
<input type="checkbox"/>	FILID101				送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	O999T01	O999T01	受信
<input type="checkbox"/>	UDXRCVH				受信

@TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

利用履歴詳細【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

O999T01

MSG識別子

ITDCF01

ファイルID

ITDCF01

発信元

送信先

処理種別

送信

処理開始日時

2024/02/28 16:03:27

処理終了日時

2024/02/28 16:03:28

処理結果

異常終了

内容

HES01014 SendStandardFree ホスト名:B8489, メッセージ識別子:ITDCF01, ファイルID:ITDCF01, 送信先EDI-ID:O999T02, 送信元EDI-ID:O999T01  
<汎用>送信情報ファイルで指定された宛先EDI-IDを検索できませんでした。  
送信情報ファイルの宛先EDI-IDが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。

戻る

オブジェクト	名称	説明	
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。	
		制約	u-DIEX (汎用) サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
	処理種別	「全て」「送信」「受信」から検索条件として指定する状態を選択します。	
	処理結果	「全て」「正常終了」「異常終了」から検索条件として指定する状態を選択します。	
	処理完了日	利用があった日のリストから検索条件として指定する日を選択します。	
入力項目	MSG 識別子	検索対象とする MSG 識別子を入力します。(前方一致検索可)	
		制約	半角英数字(8 桁)
	ファイル ID	検索対象とするファイル ID を入力します。(前方一致可)	
		制約	半角英数字(50 桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する利用履歴情報を一覧表示します。	
	詳細	表示された利用履歴一覧の中から、チェックボックスで選択したデータの詳細情報画面を表示します。	

d) ファイル送受信情報管理

ファイル送受信時に必要となるお取引先、及び送受信するファイルの情報を操作(詳細(表示)/登録/変更/削除)します。  
操作が可能な情報は、u-DIEX(汎用)サービスで送受信するファイルの情報(下記①～③)となります。

- ① 送信情報(取引先)
- ② 送信情報(MSG 識別子)
- ③ 受信情報

① 送信情報(取引先)

お客様が登録したファイル送信先(取引先)の情報を、管理名と相手先のEDI-IDから検索し、条件に該当する取引先情報を一覧で表示します。  
また、一覧の中から選択した既存情報の詳細内容の確認や変更、削除、新規取引先の登録を行います。

**【メインメニュー】**

- u-DIEX(汎用)サービス
  - 送達確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報(取引先)
    - > 送信情報(MSG識別子)
    - > 受信情報
- u-DIEX(情報公開)サービス
  - 送達確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報
    - > 受信情報
- その他
  - パスワード変更
  - ログオフ
  - 定義反映
  - 日時指定反映一覧
  - 定義ファイル出力

2023/12/25  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

**ファイル送受信情報管理**  
**【u-DIEX(汎用)サービス】**

< 送信情報(取引先情報) >

管理名 
 相手先EDI-ID

C	EDI-ID	取引先コード	取引先サブアドレス	代表フラグ
<input type="checkbox"/>	O999T02	8489	001	代表
<input type="checkbox"/>	OCDE003	T0021	003	代表
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z	T0030	001	代表

©TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
入力項目	相手先EDI-ID	選択した管理名に対して既にパートナー登録されている相手先のEDI-IDを検索条件として指定する場合、その相手先のEDI-IDを入力します。 (前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する送信情報の取引先情報を一覧表示します。
	詳細	表示された取引先情報一覧の中から、チェックボックスで選択した取引先の詳細情報画面を表示します。
	登録	新規の取引先情報を登録する画面を表示します。
	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の取引先情報を変更する画面を表示します。
	削除	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の取引先情報を削除する画面を表示します。

①-1. 送信情報(取引先情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

既存の管理名に対して、新規取引先情報を登録します。

送信情報(取引先情報)更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

2023/12/25  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

相手先EDI-ID

取引先コード

取引先サブアドレス

代表EDI-IDフラグ

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	新規取引先情報を登録する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみをプルダウンにて表示します。
	代表 EDI-ID フラグ	「代表」「指定なし」から選択します。
入力項目	相手先 EDI-ID	選択した管理名に対して、新規取引先とする相手先の EDI-ID を入力します。 [検索]ボタンにより表示される「取引先一覧」で相手先(取引先)のEDI-IDを選択すると、その相手先EDI-IDが反映されます。
	制約	半角英数字(10 桁) ※入力必須項目
	取引先コード	選択した管理名に対して、新規取引先とする取引先コードを入力します。
	制約	半角英数字(5 桁) ※入力必須項目
	取引先サブアドレス	選択した管理名に対して、新規取引先とする取引先の拠点コードを入力します。
	制約	半角英数字(3 桁)
ボタン	検索	取引先一覧画面を表示します。表示された取引先一覧の中から選択した取引先情報が、相手先EDI-IDへ反映されます。
	実行	設定した内容で、取引先情報の新規登録を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 入力された新規取引先情報の登録はキャンセルされます。

なお、TNS 標準形式・TNS 拡張形式ではなく自由形式のみでデータ授受を行う取引先を登録する場合は、取引先コードと取引先サブアドレスの項目に任意の値を入力して頂けます。

※代表 EDI-ID フラグについて

通常、同一取引先コード(サブアドレスは含まない)に対して複数の EDI-ID が紐付く為、その中で代表とする EDI-ID に「代表 EDI-ID フラグ」を設定します。(代表 EDI-ID フラグは 1 つの EDI-ID に対してのみ設定)

TNS 標準形式のファイルを送信する場合、「代表 EDI-ID フラグ」を設定した EDI-ID 宛に送信されます。

本画面では宛先の EDI-ID を指定する為の代表 EDI-ID フラグを設定しますが、発信元(お客様自身)の EDI-ID の指定については、サービス利用前の申請にて実施します。



**①-2. 送信情報(取引先情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細)**

送信情報(取引先情報) (「① 送信情報(取引先)」参照)で検索、表示された既存の取引先情報一覧の中から選択した任意の取引先情報の詳細を表示します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」で登録された既存取引先情報となります。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**①-3. 送信情報(取引先情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(変更)**

送信情報(取引先情報) (「① 送信情報(取引先)」参照)で検索、表示された既存の取引先情報一覧の中から選択した任意の取引先情報の登録内容を表示し、値変更後、「変更」ボタンの押下によって変更処理を実行します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」で登録された既存取引先情報となります。

変更可能な情報は、

- ・相手先 EDI-ID
- ・取引先コード
- ・取引先サブアドレス
- ・代表 EDI-ID フラグ

の各値です。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**①-4. 送信情報(取引先情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(削除)**

送信情報(取引先情報) (「① 送信情報(取引先)」参照)で検索、表示された既存の取引先情報一覧の中から選択した任意の取引先情報の登録内容を表示し、「削除」ボタンの押下によって削除処理を実行します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」で登録された既存取引先情報となります。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報(取引先情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

② 送信情報(MSG 識別子)

お客様が登録した送信ファイルの形式を設定する MSG 識別子の情報を、ホスト名と MSG 識別子から検索し、条件に該当する MSG 識別子情報を一覧で表示します。  
また、一覧の中から選択した既存情報の詳細内容の確認や変更、削除、新規 MSG 識別子情報の登録を行います。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

ファイル送受信情報管理

【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29

ユーザID: Digital001

ユーザ名: デジタル 太郎

< 送信情報(MSG識別子情報) >

ホスト名

B8489

MSG識別子

前方一致検索

ファイルID

前方一致検索

検索

詳細

登録

変更

削除

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	FILEID8	自由形式(HULFT標準)	FILEID8
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	自由形式(送信情報レコード)	ITDCF02
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	TNS拡張形式	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

@TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	ホスト名	検索条件として指定するホスト名を選択します。
		備考u-DIEX (汎用) サービスとして登録されているホスト名のみ表示します。
入力項目	MSG 識別子	選択したホスト名に対して既に登録されているMSG 識別子を検索条件として指定する場合、そのMSG 識別子を入力します。(前方一致検索可)
		制約半角英数字(8 桁)
	ファイル ID	選択したホスト名に対して既に登録されているファイル ID を検索条件として指定する場合、そのファイル ID を入力します、(前方一致検索可)
		制約半角英数字(50 桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する送信情報のMSG 識別子情報を一覧表示します。
	詳細	表示されたMSG 識別子情報一覧の中から、チェックボックスで選択したMSG 識別子の詳細情報画面を表示します。
	登録	新規のMSG 識別子情報を登録する画面を表示します。
	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存のMSG 識別子情報を変更する画面を表示します。
	削除	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存のMSG 識別子情報を削除する画面を表示します。

②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

既存の管理名に対して、u-DIEX(汎用)サービス新規 MSG 識別子情報を登録します。

送信情報(MSG 識別子情報) 更新

【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

2024/02/29

ユーザID: Digital001

ユーザ名: デジタル 太郎

実行

戻る

ホスト名

B0489

MSG識別子

ファイル形式

☐ 自由形式(送信情報ファイル)

☐ 自由形式(送信情報レコード)

☐ 自由形式(HULFT 標準)

☒ TNS標準形式

☐ TNS標準形式(送信情報ファイル)

☐ TNS拡張形式

☐ TNS拡張形式(送信情報ファイル)

コード

ASCII

レコード長

送信元EDI-ID

相手先EDI-ID

ファイルID

※省略した場合、MSG識別子が設定されます。

EBCDICセット

暗号キー

※基本は選択不要。EBCDIC系の文字コードを使用し、テキスト転送(集信側変換)の場合のみ利用される項目。

※英数字、8～20文字

オブジェクト	名称	説明
選択項目	ホスト名	新規 MSG 識別子情報を登録するホスト名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されているホスト名のみをプルダウンにて表示します。
	ファイル形式	ラジオボタンにて利用するファイル形式を選択します。 「自由形式(送信情報ファイル)」「自由形式(送信情報レコード)」「自由形式(HULFT 標準)」「TNS 標準形式」「TNS 標準形式(送信情報ファイル)」「TNS 拡張形式」「TNS 拡張形式(送信情報ファイル)」の中から選択します。
	コード	文字コードを「ASCII」「EBCDIC」の中から選択します。
	EBCDIC セット	「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」の中から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で集信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。
入力項目	MSG 識別子	選択した管理名に対して、新規 MSG 識別子とする名称を入力します。
	制約	半角英数字(8 桁) ※入力必須項目
	レコード長	ファイル形式で「自由形式(送信情報レコード)」、コードで「EBCDIC」を選択した場合のみ、必須入力となります。
	制約	数値のみ(40～999999)
	ファイル ID	お客様側の HULFT 配信管理情報のファイル ID を入力します。
	制約	半角英数字(50 桁)
	暗号キー	通信データを暗号化する場合に入力します。
	制約	半角英数字(8～20 文字)
ボタン	実行	設定した内容で、MSG 識別子情報の新規登録を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 入力された新規 MSG 識別子情報の登録はキャンセルされます。

**②-2. 送信情報(MSG 識別子情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細)**

送信情報(MSG 識別子情報) (「② 送信情報(MSG 識別子)」参照)で検索、表示された既存の MSG 識別子情報一覧の中から選択した任意の MSG 識別子情報の詳細を表示します。

表示する内容は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」で登録された既存 MSG 識別子情報となります。

各値の詳細は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**②-3. 送信情報(MSG 識別子情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(変更)**

送信情報(MSG 識別子情報) (「② 送信情報(MSG 識別子)」参照)で検索、表示された既存の MSG 識別子情報一覧の中から選択した任意の MSG 識別子情報の登録内容を表示し、値変更後、[ 変更 ] ボタンの押下によって変更処理を実行します。

表示する内容は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」で登録された既存 MSG 識別子情報となります。

変更可能な情報は、

- ・ファイル形式(コード、レコード長を含む)
- ・ファイル ID
- ・EBCDIC セット
- ・暗号キー

の値です。

各値の詳細は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**②-4. 送信情報(MSG 識別子情報)更新【u-DIEX(汎用)サービス】(削除)**

送信情報(MSG 識別子情報) (「② 送信情報(MSG 識別子)」参照)で検索、表示された既存の MSG 識別子情報一覧の中から選択した任意の MSG 識別子情報の登録内容を表示し、[ 削除 ] ボタンの押下によって削除処理を実行します。

表示する内容は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」で登録された既存 MSG 識別子情報となります。

各値の詳細は、「②-1. 送信情報(MSG 識別子情報)更新(登録)画面」の内容を参照してください。

## ③ 受信情報

お客様が登録した受信ファイルの形式と転送単位(個別もしくは一括)を指定する MSG 識別子の情報を、ホスト名と MSG 識別子から検索し、条件に該当する MSG 識別子情報を一覧で表示します。

また、一覧の中から選択した既存情報の詳細内容の確認や変更、削除、新規 MSG 識別子情報の登録を行います。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認  
受信状況確認  
利用履歴確認  
ファイル送受信情報管理  
  > 送信情報(取引先)  
  > 送信情報(MSG識別子)  
  > 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認  
受信状況確認  
利用履歴確認  
ファイル送受信情報管理  
  > 送信情報  
  > 受信情報

その他

パスワード変更  
ログオフ  
定義反映  
日時指定反映一覧  
定義ファイル出力

ファイル送受信情報管理  
【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/02/29  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

< 受信情報 >

管理名: O999T01  
MSG識別子: ...前方一致検索  
ファイルID: ...前方一致検索    検索    詳細    登録    変更    削除

C	MSG識別子	ファイルID	転送単位	フ
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

©TOYOTA SYSTEMS CORPORATION. All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
入力項目	MSG 識別子	選択した管理名に対して既に登録されている MSG 識別子を検索条件として指定する場合、その MSG 識別子を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8 桁)
	ファイル ID	選択した管理名に対して既に登録されているファイル ID を検索条件として指定する場合、そのファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50 桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する受信情報の MSG 識別子情報を一覧表示します。
	詳細	表示された MSG 識別子情報一覧の中から、チェックボックスで選択した MSG 識別子の詳細情報画面を表示します。
	登録	新規の受信情報を登録する画面を表示します。
	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の受信情報を変更する画面を表示します。
	削除	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の受信情報を削除する画面を表示します。



## ③-1. 受信情報更新【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

受信情報更新(登録)画面では、既存の管理名に対して、u-DIEX(汎用)サービス新規受信情報を登録します。

受信情報更新 【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)		2024/02/29 ユーザID: Digital001 ユーザ名: デジタル 太郎
管理名	O999T01 ▼	
MSG識別子		
ファイル形式	<input type="radio"/> 自由形式(受信情報ファイル) <input type="radio"/> 自由形式(受信情報レコード)    コード: ASCII ▼    改行: LF ▼    レコード長: <input type="text"/> <input type="radio"/> 自由形式(HULFT標準) <input checked="" type="radio"/> TNS標準形式 <input type="radio"/> TNS標準形式(受信情報ファイル) <input type="radio"/> TNS拡張形式 <input type="radio"/> TNS拡張形式(受信情報ファイル) <input type="radio"/> 固定長形式    固定長レコード長: <input type="text"/>	
転送単位	<input checked="" type="radio"/> 個別    受信異常時: 受信継続なし ▼ <input type="radio"/> 一括	
ファイルID	<input type="text"/> ※省略した場合、MSG識別子が設定されます。	
転送タイプ	<input checked="" type="radio"/> BINARY <input type="radio"/> TEXT    ※基本はBINARYを選択。HULFTでの変換を行いたい場合、TEXTを選択下さい。	
コード変換	集信側 ▼	
EBCDICセット	自動 ▼	
シフトコードの扱い	付加しない ▼	
暗号キー	<input type="text"/> ※英数字、8～20文字	

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	新規受信情報を登録する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(汎用)サービスとして登録されている管理名のみをプルダウンにて表示します。
	ファイル形式	ラジオボタンにて利用するファイル形式を選択します。 「自由形式(受信情報ファイル)」「自由形式(受信情報レコード)」「自由形式(HULFT標準)」「TNS標準形式」「TNS標準形式(受信情報ファイル)」「TNS拡張形式」「TNS拡張形式(受信情報ファイル)」「固定長形式」の中から選択します。
	コード	文字コードを「ASCII」「EBCDIC」の中から選択します。
	改行	改行コードを「LF」「CRLF」の中から選択します。コードで「ASCII」を選択した場合のみ、有効となります。
	転送単位	ラジオボタンにて複数ファイル受信時の転送単位を選択します。 「個別」「一括」の中から選択します。 「個別」の場合、受信異常時に受信継続「なし」「あり」から選択できます。 (詳細は 7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御参照)
	転送タイプ	ラジオボタンにて利用する転送タイプを選択します。 「BINARY」「TEXT」から選択します。
	コード変換	転送タイプが「TEXT」の場合のみ選択が可能です。 「集信側」「配信側」「無変換」の中から選択します。
	EBCDIC セット	転送タイプが「TEXT」、コード変換が「配信側」の場合のみ選択が可能です。 「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」の中から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。

	シフトコードの扱い	転送タイプが「TEXT」、コード変換が「配信側」の場合のみ選択が可能です。 「付加する」「付加しない」から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。
入力項目	MSG 識別子	選択した管理名に対して、新規受信情報とする MSG 識別子を入力します。 制約 半角英数字(8 桁) ※入力必須項目
	レコード長	ファイル形式で「自由形式(受信情報レコード)」、コードで「EBCDIC」を選択した場合のみ、必須入力となります。 制約 数値のみ(48～999999)
	固定長 レコード長	ファイル形式で「固定長形式」を選択した場合のみ、必須入力となります。 制約 数値のみ(30～999999)
	ファイル ID	お客様側の HULFT 集信管理情報のファイル ID を入力します。 制約 半角英数字(50 桁)
	暗号キー	通信データを暗号化する場合に入力します。 制約 半角英数字(8～20 文字)
	実行	設定した内容で、受信情報の新規登録を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 入力された新規受信情報の登録はキャンセルされます。

**③-2. 受信情報更新【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細)**

受信情報(「③ 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の詳細を表示します。

表示する内容は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

各値の詳細は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**③-3. 受信情報更新【u-DIEX(汎用)サービス】(変更)**

受信情報(「③ 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の登録内容を表示し、値変更後、[ 変更 ] ボタンの押下によって変更処理を実行します。

表示する内容は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

変更可能な情報は、

- ・ファイル形式(コード、改行、レコード、固定長レコード長を含む)
- ・転送単位
- ・ファイル ID
- ・転送タイプ
- ・コード変換
- ・EBCDIC セット
- ・シフトコードの扱い
- ・暗号キー

の各値です。

各値の詳細は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**③-4. 受信情報更新【u-DIEX(汎用)サービス】(削除)**

受信情報(「③ 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の登録内容を表示し、[ 削除 ] ボタンの押下によって削除処理を実行します。

表示する内容は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

各値の詳細は、「③-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。



### 7.3.3. u-DIEX(情報公開)サービス利用での画面説明

#### (1) u-DIEX(情報公開)サービス

HULFT 機能を使用して u-DIEX(情報公開)サービスをご利用になるお客様が操作する画面です。

u-DIEX センタへ接続し、送受信したファイルの状況確認や、ファイルの送受信に必要な HULFT の集配信管理情報への登録などの操作を行います。

ご利用いただける機能は以下の通りです。

- a) 送達確認
- b) 受信状況確認
- c) 利用履歴確認
- d) ファイル送受信情報管理
  - ・送信情報
  - ・受信情報

a) 送達確認

お客様から送信したデータの状況(送信先での受信状況)を一覧で表示し、ご確認いただけます。  
表示されるのは、u-DIEX(情報公開)サービスの送信済情報の中から検索条件に該当する情報となります。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

送達確認【u-DIEX(情報公開)サービス】

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

P00003@E9999

相手会社コード

相手ユーザID

データ種別

前方一致検索

ファイルID

前方一致検索

受信状況

全て

送信日

2024/03/05

検索

No	データ種別／ファイル名	ファイルID	サイズ(KB)	受信状況▲
----	-------------	--------	---------	-------

@TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	制約	u-DIEX(情報公開)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
入力項目	受信状況	「全て」「既読」「未読」から検索条件として指定する状態を選択します。
	相手会社コード	検索対象とする宛先会社コードを入力します。
	制約	半角英数字(5桁) ※入力必須項目
	相手ユーザID	検索対象とする宛先ユーザIDを入力します。
	制約	半角英数字(10桁) ※入力必須項目
	データ種別	検索対象とするデータ種別を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイルID	検索対象とするファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
ボタン	送信日	検索対象とする送信日を入力します。
	制約	"yyyy/mm/dd"形式 ※入力必須項目
ボタン	検索	検索条件に該当する情報を一覧表示します。

## b) 受信状況確認

お客様が受信されるデータの状態(既読/未読)を一覧で表示し、ご確認いただけます。

表示されるのは、お客様宛てに送信された u-DIEX(情報公開)サービスのデータの中から検索条件に該当する情報となります。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

受信状況確認【u-DIEX(情報公開)サービス】

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

データ種別  ...前方一致検索

ファイルID  ...前方一致検索

発信元会社コード

発信元ユーザID

受信状況

送信日

No	データ種別/ファイル名	ファイルID	サイズ(KB)	受信状況 ▲
1	JTDCH003		1	未読

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(情報公開)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
	受信状況	「全て」「既読」「未読」から検索条件として指定する状態を選択します。
入力項目	データ種別	検索対象とするデータ種別を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイルID	検索対象とするファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50桁)
	発信元会社コード	検索対象とする発信元の会社コードを入力します。
	制約	半角英数字(5桁)
	発信元ユーザID	検索対象とする発信元のユーザIDを入力します。
	制約	半角英数字(10桁)
	送信日	検索対象とする送信日を入力します。
	制約	"yyyy/mm/dd"形式 ※入力必須項目
ボタン	検索	検索条件に該当する情報を一覧表示します。

## c) 利用履歴確認

お客様がご利用になった送信/受信の履歴を一覧で表示し、ご確認いただけます。

表示されるのは、お客様がご利用になった u-DIEX(情報公開)サービスの利用内容の中から検索条件に該当する情報となります。

※検索可能な情報は、検索日を含めて 15 日前迄となります。

※受信要求ファイルを送信し、対象の未読データが無かった場合に受信する 0 バイトファイルは、発信元と送信先に“@”が表示されます。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

利用履歴確認【u-DIEX(情報公開)サービス】

2024/03/05

ユーザID: Digital001

ユーザ名: デジタル 太郎

管理名

J999T02

データ種別

... 前方一致検索

ファイルID

... 前方一致検索

処理種別

全て

処理結果

全て

処理完了日

2024/03/05

検索

詳細

C	データ種別	ファイルID	発信元	送信先	処理種
<input type="checkbox"/>	JTDCH002	JTDCH002	@	@	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH002	JTDCH002	@	@	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH002	JTDCH002	@	@	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	JTDCH003	@	@	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	JTDCH003	@	@	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	JTDCH003	J999T02@B9999	phulftUsr2@B8489	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	JTDCH003	J999T02@B9999	phulftUsr2@B8489	送信
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	JTDCH003	J999T02@B9999	phulftUsr2@B8489	送信

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	制約	u-DIEX(情報公開)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
	処理種別	「全て」「送信」「受信」から検索条件として指定する状態を選択します。
	処理結果	「全て」「正常終了」「異常終了」から検索条件として指定する状態を選択します。
	処理完了日	利用があった日のリストから検索条件として指定する日を選択します。
入力項目	データ種別	検索対象とするデータ種別を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイルID	検索対象とするファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する利用履歴情報を一覧表示します。
	詳細	表示された利用履歴一覧の中から、チェックボックスで選択したデータの詳細情報画面を表示します。



## d) ファイル送受信情報管理

ファイル送受信時に必要となるデータ種別や格納先情報を 操作(詳細(表示)/登録/変更/削除)します。  
操作が可能な情報は、u-DIEX(情報公開)サービスで送受信するファイルの情報(下記①～②)となります。

- ① 送信情報
- ② 受信情報

## ① 送信情報

お客様が送信するファイルのデータ種別や u-DIEX(情報公開)サービス上の格納先など登録した送信情報を、管理名とデータ種別から検索し、条件に該当する送信情報を一覧にて表示します。

また、一覧の中から選択した既存情報の詳細表示や変更、削除、新規送信情報の登録を行います。

【メインメニュー】

- u-DIEX(汎用)サービス
  - 送信確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報(取引先)
    - > 送信情報(MSG識別子)
    - > 受信情報
- u-DIEX(情報公開)サービス
  - 送信確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報
    - > 受信情報
- その他
  - パスワード変更
  - ログオフ
  - 定義反映
  - 日時指定反映一覧
  - 定義ファイル出力

ファイル送受信情報管理  
【u-DIEX(情報公開)サービス】

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

< 送信情報 >

管理名: phulftUsr2@B8489

データ種別: ...前方一致検索

ファイルID: ...前方一致検索

検索

詳細 登録 変更 削除

C	データ種別	ファイル形式	ファイルID	ユーザID
<input type="checkbox"/>	JTDCH001	自由形式(送信情報ファイル)		*
<input type="checkbox"/>	JTDCH002	自由形式(送信情報ファイル)		*
<input type="checkbox"/>	JTDCH003	自由形式(送信情報ファイル)		*
<input type="checkbox"/>	JTDCH004	自由形式(送信情報ファイル)		*

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(情報公開)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
入力項目	データ種別	選択した管理名に対して既に登録されているデータ種別を検索条件として指定する場合、そのデータ種別を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイルID	選択した管理名に対して既に登録されているファイルIDを検索条件として指定する場合、そのファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する送信情報を一覧表示します。
	詳細	表示された送信情報一覧の中から、チェックボックスで選択した送信情報の詳細情報画面を表示します。
	登録	新規の送信情報を登録する画面を表示します。
	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の送信情報を変更する画面を表示します。
	削除	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の送信情報を削除する画面を表示します。

## ①-1. 送信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(登録)

既存の管理名に対して、新規送信情報を登録します。

送信情報更新 【u-DIEX(情報公開)サービス】(登録)		2024/03/05 ユーザID: Digital001 ユーザ名: デジタル 太郎	
		[実行] [戻る]	
管理名	<input type="text" value="phulftUsr2@B8489"/>		
ホスト名	<input type="text" value="B8489"/>		
ユーザID	<input type="text"/>		
会社コード	<input type="text"/>		
データ種別	<input type="text"/>		
ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 自由形式(送信情報ファイル) <input type="radio"/> 自由形式(送信情報レコード)    コード <input type="text" value="ASCII"/> レコード長 <input type="text"/> <input type="radio"/> 自由形式(HULFT 標準)    送信元ユーザID <input type="text"/> 送信元会社コード <input type="text"/>		
ファイルID	<input type="text"/> ※省略した場合、データ種別が設定されます。		
EBCDICセット	<input type="text"/> ※基本は選択不要。EBCDIC系の文字コードを使用し、テキスト転送(集信側変換)の場合のみ利用される項目。 ※英数字、8~20文字		
暗号キー	<input type="text"/>		
格納先パス名	<input type="text"/>		
格納ファイル名	<input type="text"/>		
What's New通知	<input type="radio"/> 通知しない <input checked="" type="radio"/> 通知する		
What's New(日)	<input type="text"/>		
What's New(英)	<input type="text"/>		

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	新規送信情報を登録する管理名を選択します。
	ホスト名	新規送信情報を登録するお客様側ホスト名を選択します。
	ファイル形式	ファイル形式は「自由形式(送信情報ファイル)」「自由形式(送信情報レコード)」「自由形式(HULFT 標準)」の中から選択します。
	コード	文字コードを「ASCII」「EBCDIC」の中から選択します。
	EBCDIC セット	「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」の中から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で集信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。
	What's New 通知	u-DIEX(情報公開)Web 画面での送信情報通知有無の設定を選択します。 ラジオボタンにて「通知しない」「通知する」のいずれかを選択します。
	What's New(日)	
入力項目	ユーザ ID	新規送信情報とする宛先ユーザ ID を入力します。
	制約	半角英数字(10 桁) ※入力必須項目
	会社コード	ユーザ ID の所属する会社コードを入力します。
	制約	半角英数字(5 桁) ※入力必須項目
	データ種別	新規送信情報とするデータ種別を入力します。
	制約	半角英数字(8 桁) ※入力必須項目
	レコード長	ファイル形式で「自由形式(送信情報レコード)」、コードで「EBCDIC」を選択した場合のみ、必須入力となります。
	制約	数値のみ(40~999999)

	ファイル ID	お客様側の HULFT 配信管理情報のファイル ID を入力します。	
		制約	半角英数字(50 桁)
	暗号キー	通信データを暗号化する場合に入力します。	
		制約	半角英数字(8～20 文字)
	格納先パス名	送信するファイルのセンタ上格納先フォルダをフルパスで入力します。	
		制約	(255 桁) ※入力必須項目
	格納 ファイル名	送信するファイルのセンタ上でのファイル名を入力します。	
		制約	(255 桁) ※入力必須項目
	What's New (日)	What's New で表示する日本語版メッセージを入力します。	
		制約	(128 桁)
	What's New (英)	What's New で表示する英語版メッセージを入力します。	
		制約	(64 桁)
ボタン	実行	設定した内容で、送信情報の新規登録を実行します。	
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 入力された新規送信情報の登録はキャンセルされます。	

**①-2. 送信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(詳細)**

送信情報(「① 送信情報」参照)で検索、表示された既存の送信情報一覧の中から選択した任意の送信情報の詳細を表示します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」で登録された既存送信情報となります。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**①-3. 送信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(変更)**

送信情報(「① 送信情報」参照)で検索、表示された既存の送信情報一覧の中から選択した任意の送信情報の登録内容を表示し、値変更後、[ 変更 ] ボタンの押下によって変更処理を実行します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」で登録された既存送信情報となります。

変更可能な情報は、

- ・ホスト名
- ・ファイル形式(コード、レコード長を含む)
- ・ファイル ID
- ・EBCDIC セット
- ・暗号キー
- ・格納先パス名
- ・格納先ファイル名
- ・What's New 通知
- ・What's New(日)
- ・What's New(英)

の各値です。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

**①-4. 送信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(削除)**

送信情報(「① 送信情報」参照)で検索、表示された既存の送信情報一覧の中から選択した任意の送信情報の登録内容を表示し、[ 削除 ] ボタンの押下によって削除処理を実行します。

表示する内容は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」で登録された既存送信情報となります。

各値の詳細は、「①-1. 送信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。



## ② 受信情報

お客様が登録した受信ファイルの形式と転送単位(個別もしくは一括)を指定するデータ種別など登録した受信情報を、管理名とデータ種別から検索し、条件に該当する受信情報を一覧で表示します。

また、一覧の中から選択した既存情報の詳細内容の確認や変更、削除、新規受信情報の登録を行います。

【メインメニュー】

- u-DIEX(汎用)サービス
  - 送達確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報(取引先)
    - > 送信情報(MSG識別子)
    - > 受信情報
- u-DIEX(情報公開)サービス
  - 送達確認
  - 受信状況確認
  - 利用履歴確認
  - ファイル送受信情報管理
    - > 送信情報
    - > 受信情報
- その他
  - パスワード変更
  - ログオフ
  - 定義反映
  - 日時指定反映一覧
  - 定義ファイル出力

ファイル送受信情報管理  
【u-DIEX(情報公開)サービス】

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

< 受信情報 >

管理名

データ種別  ... 前方一致検索

ファイルID  ... 前方一致検索

C	データ種別	ファイルID	転送単位	フ
<input type="checkbox"/>	JTDCC002	JTDCC002	一括	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	JTDCC003	JTDCC003	一括	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	JTDCC004	JTDCC004	一括	自由形式(受信情報)

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	検索条件として指定する管理名を選択します。
	備考	u-DIEX(情報公開)サービスとして登録されている管理名のみ表示します。
入力項目	データ種別	選択した管理名に対して既に登録されているデータ種別を検索条件として指定する場合、そのデータ種別を入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイルID	選択した管理名に対して既に登録されているファイルIDを検索条件として指定する場合、そのファイルIDを入力します。(前方一致検索可)
	制約	半角英数字(50桁)
ボタン	検索	検索条件に該当する受信情報を一覧表示します。
	詳細	表示された受信情報一覧の中から、チェックボックスで選択したデータ種別の詳細情報画面を表示します。
	登録	新規の受信情報を登録する画面を表示します。
	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の受信情報を変更する画面を表示します。
	削除	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した既存の受信情報を削除する画面を表示します。

## ②-1. 受信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(登録)

既存の管理名に対して、新規受信情報を登録します。

受信情報更新 【u-DIEX(情報公開)サービス】(登録)		2024/03/05 ユーザID: Digital001 ユーザ名: デジタル 太郎
管理名	<input type="text" value="phulftUlr2@E8489"/>	<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="戻る"/>
データ種別	<input type="text"/>	
ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 自由形式(受信情報ファイル) <input type="radio"/> 自由形式(受信情報レコード)    コード <input type="text" value="ASCII"/> 改行 <input type="text" value="LF"/> レコード長 <input type="text"/> <input type="radio"/> 自由形式(HULFT 標準)	
転送単位	<input checked="" type="radio"/> 個別    受信異常時 <input type="text" value="受信継続なし"/> <input type="radio"/> 一括	
格納パス	<input type="text"/>	
ファイルID	<input type="text"/> ※省略した場合、データ種別が設定されます。	
転送タイプ	<input checked="" type="radio"/> BINARY <input type="radio"/> TEXT    ※基本はBINARYを選択。HULFTでの変換を行いたい場合、TEXTを選択下さい。	
コード変換	<input type="text" value="集信側"/>	
EBCDICセット	<input type="text" value="自動"/>	
シフトコードの扱い	<input type="text" value="付加しない"/>	
暗号キー	<input type="text"/> ※英数字、8～20文字	

オブジェクト	名称	説明
選択項目	管理名	新規受信情報を登録する管理名を選択します。
	ファイル形式	ラジオボタンにて利用するファイル形式を選択します。 「自由形式(受信情報ファイル)」「自由形式(受信情報レコード)」「自由形式(HULFT 標準)」から選択します。
	コード	文字コードを「ASCII」「EBCDIC」の中から選択します。
	改行	改行コードを「LF」「CRLF」の中から選択します。コードで「ASCII」を選択した場合のみ、有効となります。
	転送単位	ラジオボタンにて複数ファイル受信時の転送単位を選択します。 「個別」「一括」の中から選択します。 「個別」の場合、受信異常時に受信継続「なし」「あり」から選択できます。 (詳細は 7.5.1(8)個別受信時のシーケンス制御参照)
	転送タイプ	ラジオボタンにて利用する転送タイプを選択します。 「BINARY」「TEXT」から選択します。
	コード変換	転送タイプが「TEXT」の場合のみ選択が可能です。 「集信側」「配信側」「無変換」の中から選択します。
	EBCDIC セット	転送タイプが「TEXT」、コード変換が「配信側」の場合のみ選択が可能です。 「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」の中から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。
	シフトコードの扱い	転送タイプが「TEXT」、コード変換が「配信側」の場合のみ選択が可能です。 「付加する」「付加しない」から選択します。 EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に選択してください。 ASCII 系コードセットのお客様はデフォルトのままで結構です。
入力項目	データ種別	新規受信情報とするデータ種別を入力します。
	制約	半角英数字(8 桁) ※入力必須項目

	レコード長	ファイル形式で「自由形式(受信情報レコード)」、コードで「EBCDIC」を選択した場合のみ、必須入力となります。
		制約 数値のみ(48～999999)
	格納パス	(フォルダ単位授受のみ)受信する基点となるフォルダパスを入力します。 ※ファイル単位授受の場合に入力しても無効となります。
		制約 同一フォルダを複数のデータ種別(ファイル ID)で登録することは出来ません。
	ファイル ID	お客様側の HULFT 集信管理情報のファイル ID を入力します。
		制約 半角英数字(50 桁)
	暗号キー	通信データを暗号化する場合に入力します。
		制約 半角英数字(8～20 文字)
ボタン	実行	設定した内容で、受信情報の新規登録を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。) 入力された新規受信情報の登録はキャンセルされます。

## ②-2. 受信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(詳細)

受信情報(「② 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の詳細を表示します。

表示する内容は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

各値の詳細は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

## ②-3. 受信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(変更)

受信情報(「② 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の登録内容を表示し、値変更後、[ 変更 ] ボタンの押下によって変更処理を実行します。

表示する内容は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

変更可能な情報は、

- ・ファイル形式(コード、改行、レコード長含む)
- ・転送単位
- ・ファイル ID
- ・転送タイプ
- ・コード変換
- ・EBCDIC セット
- ・シフトコードの扱い
- ・暗号キー

の各値です。

各値の詳細は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

## ②-4. 受信情報更新【u-DIEX(情報公開)サービス】(削除)

受信情報(「② 受信情報」参照)で検索、表示された既存の受信情報一覧の中から選択した任意の受信情報の登録内容を表示し、[ 削除 ] ボタンの押下によって削除処理を実行します。

表示する内容は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」で登録された既存受信情報となります。

各値の詳細は、「②-1. 受信情報更新(登録)画面」の内容を参照してください。

## 7.3.4. サービス共通機能の画面説明

## (1) パスワード変更

ログインしている管理者 ID のパスワードを変更します。

この操作によって、管理者は、次回ログイン時から新パスワードでログインすることが可能となります。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送信確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

パスワード変更

2023/12/25  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

ログインユーザID Digital001

現在のパスワード

新パスワード

新パスワードの確認

更新

パスワード登録時の注意点  
■半角英数字10文字以下

@TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
表示項目	ログインユーザ ID	パスワードの変更が可能な管理者(現在ログインしている管理者)の管理者 ID が表示されます。
入力項目	現在のパスワード	現在ログインしている管理者 ID のパスワードを入力します。 (入力文字は暗号化されます。)
		制約 半角英数字(20 桁以内) ※入力必須項目
	新パスワード	現在ログインしている管理者 ID の新しいパスワードを入力します。 (入力文字は暗号化されます。)
		制約 半角英数字(10 桁以内) ※入力必須項目
	新パスワードの確認	新パスワードとして入力した内容を入力します。 (入力文字は暗号化されます。)
		制約 半角英数字(10 桁以内) ※入力必須項目
ボタン	更新	ログインしている管理者 ID のパスワードを現在のパスワードから、新しく設定したパスワードへ変更します。

※弊社より通知された仮パスワードは 20 桁ですが、お客様にて設定できるパスワードは 10 桁までとなります。



## 7.3.5. ファイル送受信情報反映機能の画面説明 -定義反映・日時指定変更-

## (1) 定義反映

お客様で登録されたファイル送受信に必要な情報をセンタに反映します。

この操作により、反映が完了した送受信情報については、ファイルの送受信が可能となります。※

オブジェクト	名称	説明
選択項目	反映種別	ラジオボタンにて利用する反映種別を選択します。 「即時反映」「日時指定反映」から選択します。
	日付	表示日付から未来日付1ヶ月の間の日付で選択します。 ※[反映種別]が「日時指定反映」時のみ有効です。
	時刻	時間を「1～23」、分を「00～50」で選択します。 ※[反映種別]が「日時指定反映」時のみ有効です。
	反映単位	ラジオボタンにて利用する反映単位を選択します。 「全て」「MSG 識別子／データ種別」から選択します。
入力項目	MSG 識別子／データ種別	センタに反映するMSG 識別子／データ種別を入力します。 ※反映単位が「MSG 識別子／データ種別」時のみ有効です。
	制約	半角英数字(8桁)
	ファイル ID	センタに反映するファイル ID を入力します。 ※反映単位が「ファイル ID」時のみ有効です。
	制約	半角英数字(50桁)
ボタン	実行	設定した内容で、定義反映を実行します。

※お客様が「即時反映」「日時指定反映」(指定された日時)で実行された反映情報は、指定された日時に反映処理が開始されます。

※ファイル送受信の開始は、反映実行後、弊社より反映完了通知メールが届くか、しばらくお待ち頂き、ご利用サービスのファイル送受信管理情報で更新完了を確認頂いた後にお願い致します。

## (2) 日時指定反映一覧

「定義反映」画面で日時指定反映を実行された反映情報が一覧表示されます。  
この画面から、日時指定した反映情報の指定日時の変更、取消しの操作を行います。

ご利用いただける機能は以下の通りです。

- a) 変更機能
- b) 反映取消機能

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報(取引先)

> 送信情報(MSG識別子)

> 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

送達確認

受信状況確認

利用履歴確認

ファイル送受信情報管理

> 送信情報

> 受信情報

その他

パスワード変更

ログオフ

定義反映

日時指定反映一覧

定義ファイル出力

日時指定反映一覧

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

変更 反映取消

C	指定日時	反映単位	反映単位ID
<input type="checkbox"/>	2024/03/06 1:00	ファイルID	JTDCH003
<input type="checkbox"/>	2024/03/07 5:10	MSG識別子/データ種別	ITDCF01

オブジェクト	名称	説明
表示項目	指定日時	日時指定する反映情報の指定した日時を表示します。
	反映単位	日時指定した反映情報の指定した反映単位を表示します。
	反映単位 ID	反映単位がファイル ID の場合 指定したファイル ID を表示します。 反映単位が MSG 識別子/データ種別の場合 指定した MSG 識別子/データ種別を表示します。
ボタン	変更	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した指定日時反映情報を変更する画面を表示します。
	反映取消	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択した指定日時反映情報を削除します。

## a) 変更機能

「定義反映」画面で日時指定された反映情報の指定日時の変更ができます。

2024/03/05  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

日時指定反映変更

< 反映日時 >

日付  時刻  時  分

※ 毎週月曜日 0:00から6:00の日時指定反映不可

< 反映単位 >

ファイルID

< 反映単位ID >

JTDCH003

オブジェクト	名称	説明
選択項目	日付	表示日付から未来日付 1 ヶ月の間の日付で変更します。 ※[反映種別]が「日時指定反映」時のみ有効です。
	時刻	時間を「1～23」、分を「00～50」で変更します。 ※毎週月曜日 0:00 から 6:00 への変更は不可能です。
表示項目	反映単位	選択した日時指定反映情報の反映単位が表示されます。
	反映単位 ID	反映単位がファイル ID の場合 指定したファイル ID を表示します。 反映単位が MSG 識別子/データ種別の場合 指定した MSG 識別子/データ種別を表示します。
ボタン	実行	設定した内容で、日時指定情報の変更を実行します。
	戻る	当画面を終了します。(当ウィンドウを閉じます。)

## b) 反映削除機能

日時指定した反映情報の反映取消ができます。

反映削除が完了したファイル送受信情報は、通常の翌日反映でセンタに反映されます。



### 7.3.6. ファイル送受信情報出力機能の画面説明

#### (1) 定義ファイル出力

お客様の登録されているユーザ情報、管理名情報、ファイル送受信情報について、「u-DIEX HULFT インターフェース 支援システム」へログインした端末にCSV形式でファイルを出力します。

**【メインメニュー】**

u-DIEX(汎用)サービス

- 送達確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報(取引先)
  - > 送信情報(MSG識別子)
  - > 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

- 送達確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報
  - > 受信情報

その他

- パスワード変更
- ログオフ
- 定義反映
- 日時指定反映一覧
- 定義ファイル出力

**定義ファイル出力**

2023/12/25  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

C	ファイル名称
<input type="checkbox"/>	ユーザ管理情報
<input type="checkbox"/>	管理名情報
<input type="checkbox"/>	ファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-
<input type="checkbox"/>	ファイル送信管理情報(汎用)-MSG識別子情報-
<input type="checkbox"/>	ファイル受信管理情報(汎用)
<input type="checkbox"/>	ファイル送信管理情報(情報公開)
<input type="checkbox"/>	ファイル受信管理情報(情報公開)

CSV出力

©TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

オブジェクト	名称	説明
選択項目	ファイル名称	表示された一覧の中から、チェックボックスで選択したファイル名称についてCSV形式で出力します。 「ユーザ管理情報」「管理名情報」「ファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-」「ファイル送信管理情報(汎用)-MSG識別子情報-」「ファイル受信情報(汎用)」「ファイル送信管理情報(情報公開)」「ファイル受信管理情報(情報公開)」から選択します。 ※お客様の利用サービス以外のファイル名称も表示／選択が可能です。 ファイル名称を選択し実行された場合、エラー画面が表示されます。
ボタン	CSV 出力	設定した内容で、ファイル出力を実行します。

※出力されたファイルの取引先コード等の先頭文字が"0"(ゼロ)の値は、Excel ソフトでは有効数字のみが表示されます。

(例) 取引先コード:"00001"の場合、以下のようになります。

HULFT インターフェース支援画面での表示:"00001"、Excel ソフトでの表示:"1"

## (2) 定義ファイル内容

## a) ユーザ管理情報

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理ユーザ名	デジタル 太郎	お客様のユーザ名
管理ユーザ会社名	株式会社トヨタデジタルクルーズ	お客様のユーザ会社名
パスワード	aabbccdde	HULFTI インターフェース支援システムにログインする際に必要なパスワード(暗号化してあります)
障害メール通知フラグ	0	障害メールを通知の有無 ・0:通知しない ・1:通知する
メールアドレス	Digital001@TDC.com	障害メールを通知するメールアドレス
汎用サービス加入フラグ	1	汎用サービス加入の有無 ・“(ブランク):未加入 ・1:加入済み
情報公開サービス加入フラグ	1	情報公開サービス加入の有無 ・“(ブランク):未加入 ・1:加入済み
権限	0	お客様の権限 ・0:ユーザ
更新ユーザID	TdcAdmin	最後にユーザ管理情報(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にユーザ管理情報(レコード)を更新した日時

## b) 管理名情報

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理名	O999T01	お客様の管理名
サービス種別	H	利用サービスのサービス種別 ・H:u-DIEX(汎用)サービス ・J:u-DIEX(情報公開)サービス
プロセス ID/EDI-ID	O999T01	お客様のプロセス ID (情報公開) /EDI-ID (汎用)
会社コード/取引先コード	8489	お客様の会社コード (情報公開) /取引先コード (汎用)
取引先サブアドレス	000	お客様の取引先サブアドレス
EDI-ID 代表フラグ	1	お客様の EDI-ID の代表の有無 ・“ ”(ブランク): 指定なし ・1: 代表
ホスト名	B8489	HULFT インターフェースに設定されているホスト名
IP アドレス	0.0.0.0	HULFT インターフェースに設定されている IP アドレス
ホスト種	N	HULFT インターフェースに設定されているホスト種 ・H:HOST(Mainframe) ・U:UNIX ・N:WindowsNT 系 ・W:Windows9x ・A:AS400 ・K:富士通 K シリーズ
漢字コード種	S	HULFT インターフェースに設定されている漢字コード種 ・S:Shift-JIS ・J:JEF ・E:EUC ・I:IBM ・K:KEIS ・N:NEC ・8:UTF-8 ・G:GB18030 ・C:IBM 簡体字
JIS 年度	1	HULFT インターフェースに設定されている JIS 年度 ・0:JIS78 ・1:JIS83
集信ポート No.	30000	HULFT インターフェースに設定されている集信ポート No.
要求受付ポート No.	31000	HULFT インターフェースに設定されている要求受付ポート No.
受信フォルダ	/DIEX_COM/UDCOM-O999T01	相手から送信されたファイルが格納されるフォルダ
受信用 FILEID	UDXRCVH	受信要求ファイルのファイル ID
送受信単位	1	u-DIEX(情報公開)サービスでの授受単位 ・“ ”(ブランク): ファイル単位送受信 ・1: フォルダ単位送受信
更新ユーザ ID	TdcAdmin	最後に管理名情報(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後に管理名情報(レコード)を更新した日時

## c) ファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理名	O999T01	お客様の管理名
自 EDI-ID	O999T01	お客様の EDI-ID
相手取引先コード	T0001	相手取引先コード
相手取引先サブアドレス	001	相手取引先サブアドレス
相手 EDI-ID	OABC001	相手 EDI-ID
EDI-ID 代表フラグ	1	相手 EDI-ID の代表の有無 ・“(ブランク):指定なし ・1:代表
格納先フォルダ	/DIEX_COM/UDCOM-OABC001/UDCOM-O999T01	送信ファイルの格納先フォルダパス
更新ユーザID	Digital001	最後にファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-(レコード)を更新した日時

## d) ファイル送信管理情報(汎用)-MSG 識別子情報-

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
ホスト名	B8489	お客様の HULFT に設定されているホスト名
MSG 識別子(FILEID)	HTEST001	送信ファイルのメッセージ識別子
ファイル形式	01	送信ファイルのファイル形式 ・01:自由形式(送信情報ファイル) ・02:TNS 標準形式(送信情報ファイル) ・03:TNS 拡張形式(送信情報ファイル) ・05:自由形式(送信情報レコード) ・06:自由形式(HULFT 標準) ・11:TNS 標準形式 ・12:TNS 拡張形式
FTH ファイル ID	FILEID0001	お客様の HULFT に設定されている配信ファイル ID
送信情報レコード・レコード長	1000	ファイル形式が自由形式(送信情報レコード)で文字コードが EBCDIC 時の送信情報レコード長
送信情報レコード・コード	1	ファイル形式が自由形式(送信情報レコード)時の文字コード ・“(空白):ASCII ・1:EBCEDIC
送信元 EDIID	O999T01	ファイル形式が自由形式(HULFT 標準)時に利用する送信元 EDIID
送信先 EDIID	OABC001	ファイル形式が自由形式(HULFT 標準)時に利用する送信先 EDIID
EBCDIC セット	“(空白)	EBCDIC 系コードセットのお客様で集信側変換を行う場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII 変換)で使用するコードセット ・“(空白):使用しない ・0:自動 ・A:カナ文字 ・B:英小文字 ・C:ASCII ・D:ASPEN ・E:IBM 英小文字 ・F:IBM 英小文字拡張 ・G:NEC カナ文字 ・H:IBM カナ文字拡張 ・W:IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)
暗号キー	“(空白)	通信データを暗号化するキー ・“(空白):暗号化しない ・任意な文字列:暗号化するキー
更新ユーザID	Digital001	最後にファイル送信管理情報(汎用)-MSG 識別子情報-(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にファイル送信管理情報(汎用)-MSG 識別子情報-(レコード)を更新した日時

## e) ファイル受信管理情報(汎用)

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理名	O999T01	お客様の管理名
自 EDI-ID	O999T01	お客様の EDI-ID
MSG 識別子(FILEID)	HTEST001	受信ファイルのメッセージ識別子
ファイル形式	01	受信ファイルのファイル形式 ・01:自由形式(受信情報ファイル) ・02:TNS 標準形式(受信情報ファイル) ・03:TNS 拡張形式(受信情報ファイル) ・05:自由形式(受信情報レコード) ・06:自由形式(HULFT 標準) ・11:TNS 標準形式 ・12:TNS 拡張形式 ・13:固定長形式
転送単位	0	複数ファイル受信時の転送単位 ・0:個別(受信継続あり) ・1:一括 ・2:個別(受信継続なし)
区切りレコード長	1000	固定長形式ファイルを受信する際、相手先を識別するための区切りレコードの長さ
FTH ファイル ID	FILEID0001	お客様の HULFT に設定されている集信ファイル ID
受信情報レコード・レコード長	1000	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)で文字コードが EBCDIC 時の受信情報レコード長
受信情報レコード・コード	1	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)時の文字コード ・“ ”(ブランク):ASCII ・1:EBCEDIC
受信情報レコード・改行コード	LF	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)で文字コードが ASCII 時の改行コードの形式 ・LF:0x0A ・CR:0x0D0A
転送タイプ	B	配信するファイルのデータタイプ ・B: BINARY ・T: TEXT
コード変換	“ ”(ブランク)	配信するファイルのコード変換の指定 ・“ ”(ブランク):使用しない ・R:集信側 ・S:配信側 ・N:無変換
EBCDIC セット	“ ”(ブランク)	EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII 変換)で使用するコードセット ・“ ”(ブランク):使用しない ・0:自動 ・A:カナ文字 ・B:英小文字 ・C:ASCII ・D:ASPEN ・E:IBM 英小文字 ・F:IBM 英小文字拡張 ・G:NEC カナ文字 ・H:IBM カナ文字拡張 ・V:IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)

シフトコードの扱い	“ ”(ブランク)	EBCDIC 系コードセットへコード変換を行うときのシフトコードの扱い ・“ ”(ブランク):使用しない ・付加する ・付加しない
暗号キー	“ ”(ブランク)	通信データを暗号化するキー ・“ ”(ブランク):暗号化しない ・任意な文字列:暗号化するキー
更新ユーザID	Digital001	最後にファイル受信管理情報(汎用)(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にファイル受信管理情報(汎用)(レコード)を更新した日時

## f) ファイル送信管理情報(情報公開)

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理名	phulftUsr2@B8489	お客様の管理名
ホスト名	B8489	お客様の HULFT に設定されているホスト名
送信先会社コード	B8489	送信先会社コード
送信先プロセス ID	*	送信先ユーザ ID/プロセス ID
データ種別(FILEID)	HTEST001	送信ファイルのデータ種別
ファイル形式	1	送信ファイルのファイル形式 ・01:自由形式(送信情報ファイル) ・05:自由形式(送信情報レコード) ・06:自由形式(HULFT 標準)
格納パス	/HULFTTECH/オーナー/ユーザー2	送信ファイルを格納するフォルダパス
格納ファイル名	報告書 01	格納されるファイルのファイル名
What's New フラグ	0	What's New 利用の有無 ・0:利用しない ・1:利用する
What's New メール送信フラグ	0	What's New メッセージのメール送信の有無 ・0:送信しない ・1:送信する
What's New 日本語	アップロード	What's New 日本語のメッセージ内容
What's New 英語	UPLOAD	What's New 英語のメッセージ内容
FTH ファイル ID	FILEID0001	お客様の HULFT に設定されている配信ファイル ID
送信情報レコード・レコード長	1000	ファイル形式が自由形式(送信情報レコード)で文字コードが EBCDIC 時の送信情報レコード長
送信情報レコード・コード	1	ファイル形式が自由形式(送信情報レコード)時の文字コード ・“ ”(ブランク):ASCII ・1:EBCEDIC
送信元会社コード	B8489	ファイル形式が自由形式(HULFT 標準)時の送信元会社コード
送信元プロセス ID(USERID)	phulftUsr2	ファイル形式が自由形式(HULFT 標準)時の送信元ユーザ ID/プロセス ID
EBCDIC セット	“ ”(ブランク)	EBCDIC 系コードセットのお客様で集信側変換を行う場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII 変換)で使用するコードセット ・“ ”(ブランク):使用しない ・0:自動 ・A:カナ文字 ・B:英小文字 ・C:ASCII ・D:ASPEN ・E:IBM 英小文字 ・F:IBM 英小文字拡張 ・G:NEC カナ文字 ・H:IBM カナ文字拡張 ・W:IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)
暗号キー	“ ”(ブランク)	通信データを暗号化するキー ・“ ”(ブランク):暗号化しない ・任意な文字列:暗号化するキー
更新ユーザID	Digital001	最後にファイル送信管理情報(情報公開)(レコード)を更新したユーザ ID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にファイル送信管理情報(情報公開)(レコード)を更新した日時



## g) ファイル受信管理情報(情報公開)

項目名	参考値	説明
管理ユーザ ID	Digital001	お客様のユーザ ID
管理名	phulftUsr2@B8489	お客様の管理名
ホスト名	B8489	お客様の HULFT に設定されているホスト名
会社コード	B8489	サービス利用者の会社コード
プロセス ID	phulftUsr2	サービス利用者のユーザ ID/プロセス ID
データ種別(FILEID)	JTDCH001	送信ファイルのデータ種別
ファイル形式	1	送信ファイルのファイル形式 ・01: 自由形式(受信情報ファイル) ・05: 自由形式(受信情報レコード) ・06: 自由形式(HULFT 標準)
転送単位	0	複数ファイル受信時の転送単位 ・0: 個別(受信継続あり) ・1: 一括 ・2: 個別(受信継続なし)
格納パス	/HULFTTECH/ オ ー ナ ー/ユーザー2	フォルダ単位で受信する際の、受信元フォルダのパス
FTH ファイル ID	FILEID0001	お客様の HULFT に設定されている集信ファイル ID
受信情報レコード・レコード長	1000	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)で文字コードが EBCDIC 時の送信情報レコード長
受信情報レコード・コード	1	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)時の文字コード ・“ ”(ブランク): ASCII ・1: EBCDIC
受信情報レコード・改行コード	LF	ファイル形式が自由形式(受信情報レコード)で文字コードが ASCII 時の改行コードの形式 ・LF: 0x0A ・CR: 0x0D0A
転送タイプ	B	配信するファイルのデータタイプ ・B: BINARY ・T: TEXT
コード変換	“ ”(ブランク)	配信するファイルのコード変換の指定 ・“ ”(ブランク): 使用しない ・R: 集信側 ・S: 配信側 ・N: 無変換
EBCDIC セット	“ ”(ブランク)	EBCDIC 系コードセットのお客様で配信側変換を行う場合に、1バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII 変換)で使用するコードセット ・“ ”(ブランク): 使用しない ・0: 自動 ・A: カナ文字 ・B: 英小文字 ・C: ASCII ・D: ASPEN ・E: IBM 英小文字 ・F: IBM 英小文字拡張 ・G: NEC カナ文字 ・H: IBM カナ文字拡張 ・V: IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)
シフトコードの扱い	“ ”(ブランク)	EBCDIC 系コードセットへコード変換を行うときのシフトコードの扱い ・“ ”(ブランク): 使用しない ・付加する ・付加しない

暗号キー	“(ブランク)	通信データを暗号化するキー ・“(ブランク):暗号化しない ・任意な文字列:暗号化するキー
更新ユーザID	Digital001	最後にファイル受信管理情報(情報公開)(レコード)を更新したユーザID
更新日時	2011/7/31 14:05:10	最後にファイル受信管理情報(情報公開)(レコード)を更新した日時

## 7.4. 送信手順

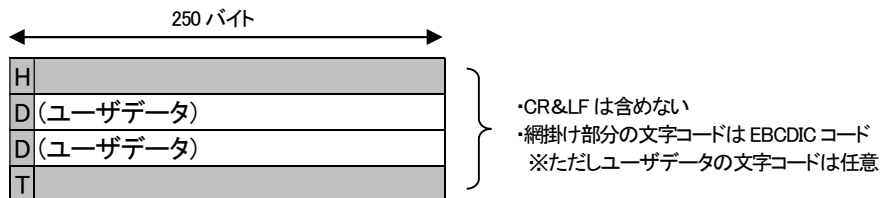
ファイル送信の手順を説明します。送信する前に前章の登録を行っている必要があります。

### 7.4.1. 送信ファイルの準備

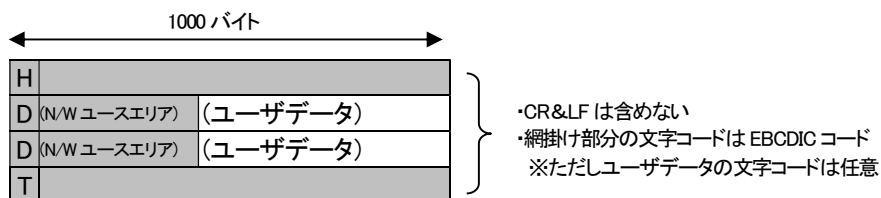
送信するファイルについて説明します。  
ファイル形式により異なりますのでご注意ください。

#### (1) TNS 標準形式/TNS 拡張形式

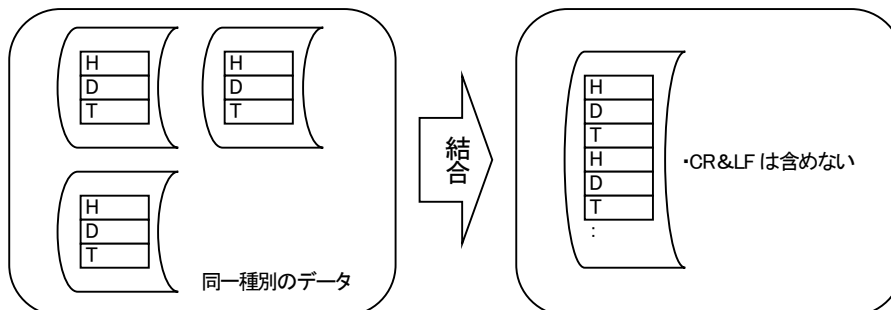
TNS 標準形式の場合、以下のフォーマットに従ったデータを準備する必要があります。



TNS 拡張形式の場合、以下のフォーマットに従ったデータを準備する必要があります。

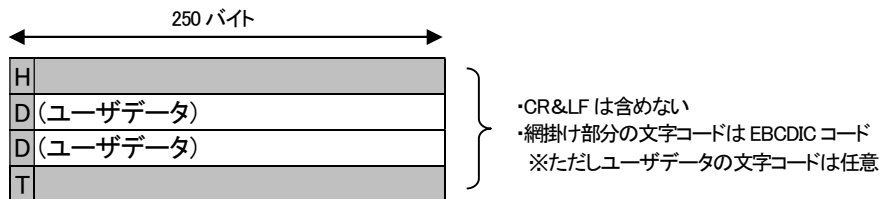


同一形式のデータが複数ある場合、複数のデータを1つのファイルに格納し送信することができます。  
ただし、TNS 標準形式/TNS 拡張形式を混在することはできません。

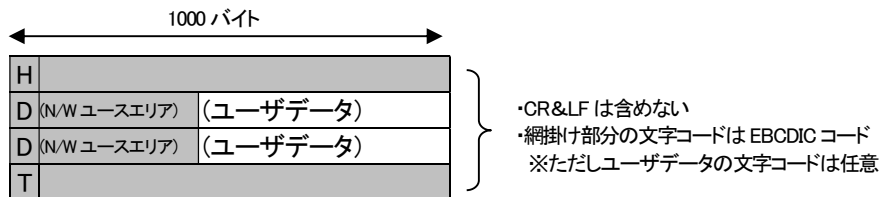


## (2) TNS 標準形式(送信情報ファイル)/TNS 拡張形式(送信情報ファイル)

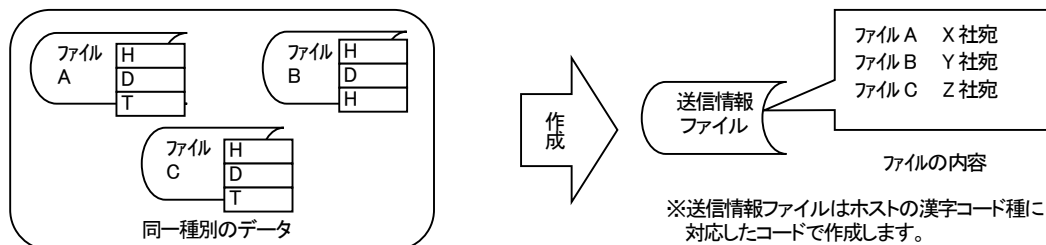
TNS 標準形式(送信情報ファイル)の場合、以下のフォーマットに従ったデータを準備する必要があります。  
また、送信するファイルとは別にそのファイルの宛先を明記した送信情報ファイルを準備する必要があります。



TNS 拡張形式(送信情報ファイル)の場合、以下のフォーマットに従ったデータを準備する必要があります。

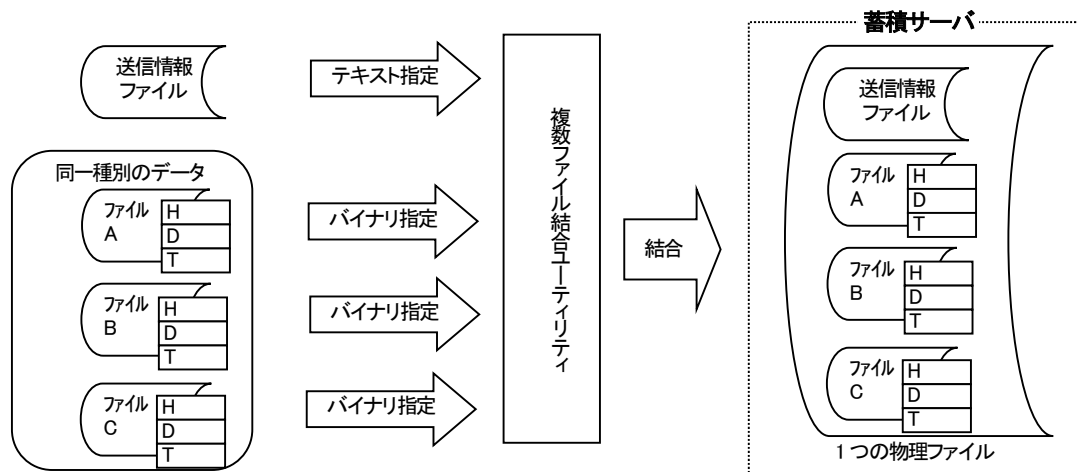


また、送信するファイルとは別にそのファイルの宛先を明記した送信情報ファイルを準備する必要があります。



※送信情報ファイルの詳細については、「[7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

u-DIEX へ実際に送信するファイルは「複数ファイル結合ユーティリティ」(HULFT5 から標準提供のユーティリティ)を利用し、送信するファイル(業務データ)と送信情報ファイルを結合し作成します。  
結合する際、先に送信情報ファイルを「テキスト」指定で結合し、続いて送信するファイル(業務データ)を「バイナリ」指定で結合します。(同一種別の場合、複数のファイルを送信することができます)

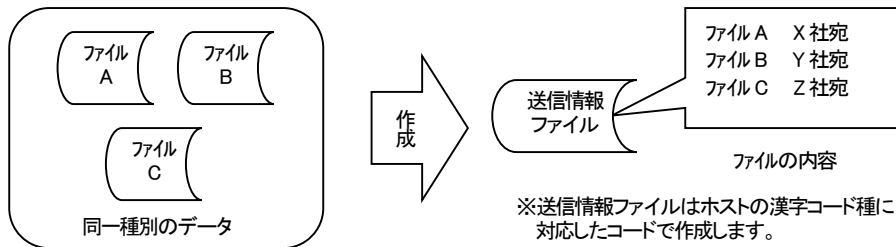


## (3) 自由形式(送信情報ファイル)

自由形式(送信情報ファイル)の場合、レイアウトは任意です。

また、文字コードについても任意です。

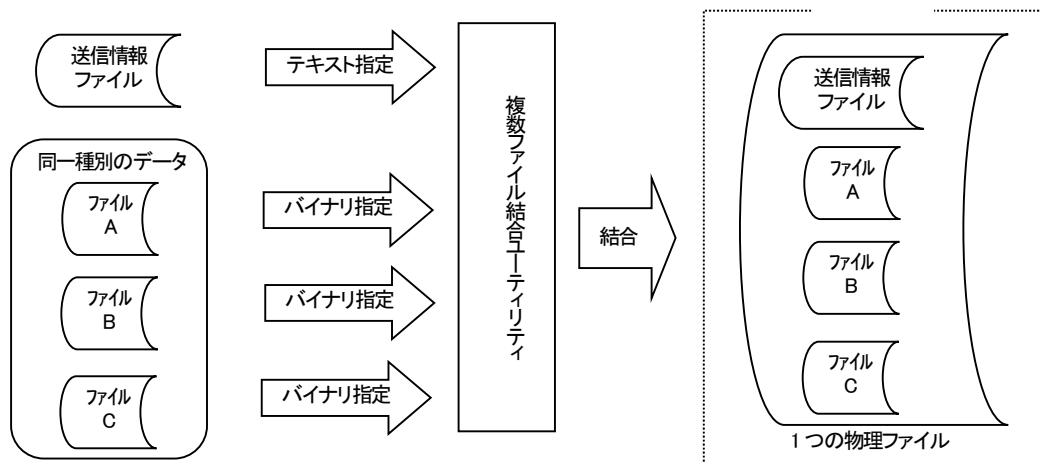
送信するファイルとは別にそのファイルの宛先を明記した送信情報ファイルを準備する必要があります。



※送信情報ファイルの詳細については、「[7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

u-DIEX へ実際に送信するファイルは「複数ファイル結合ユーティリティ」(HULFT5 から標準提供のユーティリティ)を利用し、送信するファイル(業務データ)と送信情報ファイルを結合し作成します。

結合する際、先に送信情報ファイルを「テキスト」指定で結合し、続いて送信するファイル(業務データ)を「バイナリ」指定で結合します。(同一種別の場合、複数のファイルを送信することができます)



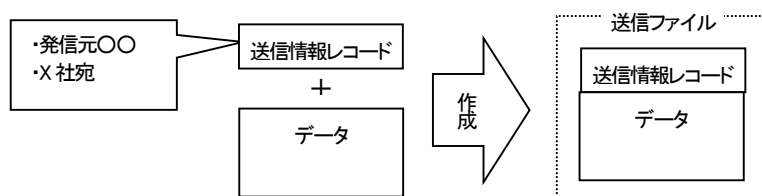
## (4) 自由形式(送信情報レコード)

自由形式(送信情報レコード)の場合、送信情報レコードをデータの先頭に付加する必要があります。

送信情報レコードの文字コードについては ASCII コード、または EBCDIC コードで記述する必要があります。

データのフォーマット、文字コードについて規定はありません。(自由形式データと同様)

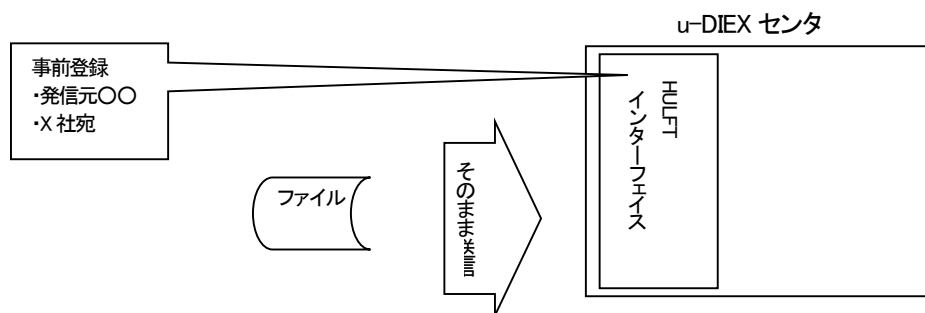
単一のデータファイル送信にのみ対応しています。



※送信情報レコードの詳細については、「[7.6.4. 送信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。

## (5) 自由形式(HULFT 標準)

自由形式(HULFT 標準)の場合、事前にHULFT I/F 送信情報へ送信元EDI-IDと相手先EDI-IDを登録する必要があり、相手先は1つに限定されます。送信情報ファイルとの結合や、送信情報レコードを作るという前処理が不要になります。データのフォーマット、文字コードについて規定はありません。(自由形式データと同様)単一のデータファイル送信にのみ対応しています。



## 7.4.2 結合ユーティリティ

自由フォーマットファイルの結合には各 OS 版 HULFT が提供している結合ユーティリティをご利用ください。

※以下は OS 毎のユーティリティご利用イメージです。ご利用方法の詳細につきましては各 OS 版 HULFT マニュアルをご参照ください。

### (1) OS390

JCL 例

//XRJOIN JOB CLASS=A,MSGCLASS=B	
//JOB LIB DD DSN=HULFT.LOAD,DISP=SHR	
//JOB CAT DD DSN=USERCAT,DISP=SHR	
//XRJOIN EXEC PGM=XRJOIN,PARM='REP,ABEND'	複数ファイル結合プログラム実行文
//XRCRD DD *	定義カード
DSNAME=UPINFO,VOL=WRKX01,TYPE=T,JIS=83	送信情報ファイル
DSNAME=HUL.FILE(0001),TYPE=B,JIS=83	送信データファイル
//XRJOIN DD DSN=HULFT.JOIN.FILE,DISP=(NEW,KEEP),UNIT=SYSDA,	結合ファイル
//VOL=SER=HUL001,DCB=(BLKSIZE=10240,LRECL=1024,RECFM=FB),	
//SPACE=(CYL,(5,5),RLSE)	
//XRFILE DD DSN=HULFT.FILE,DISP=SHR	集配信管理ファイル
//XRHOST DD DSN=HULFT.HOST,DISP=SHR	ホスト情報ファイル
//XRPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSOUT DD SYSOUT=*	
//	

### (2) OS400

- ① 送信情報ファイル「MYLIB/TEXT(UPINFO)」(ファイルタイプ:テキスト)を結合ファイル「MYLIB/JOIN (JOIN01)」として新規に結合する。
- ```
UTLJOIN INFINFO((TEXT MYLIB UPINFO TXT)) JOINFILE(MYLIB/JOIN)
JOINFILE(MYLIB/JOIN) JOINMBR(JOIN01) MAKEMODE(MOD)
```
- ② 送信データファイル「MYLIB/BINARY(BIN01)」(ファイルタイプ:バイナリ)を結合ファイル「MYLIB/JOIN(JOIN01)」に追加書きで結合する。
- ```
UTLJOIN INFINFO((BINARY MYLIB BIN01 BIN))
JOINFILE(MYLIB/JOIN) JOINMBR(JOIN01) MAKEMODE(MOD)
```

### (3) UNIX / Windows

- ① 送信情報ファイルの結合
- ```
utjoin -infile [送信情報ファイル名] -t -outfile [配信ファイル名] -n
```
- 結合するファイル      テキスト結合      出力ファイル名      新規作成
- ② 送信データファイルの結合
- ```
utjoin -infile [送信データファイル名] -b -outfile [配信ファイル名] -m
```
- 業務アプリで作成した送信ファイル      バイナリ結合      ①の出力ファイル名      追加

### 7.4.3. 配信ユーティリティ

u-DIEX センターへのデータファイル配信および受信要求ファイルの配信については各 OS 版 HULFT が提供している配信ユーティリティをご利用ください。

※以下は OS 毎のユーティリティご利用イメージです。ご利用方法の詳細につきましては各 OS 版 HULFT マニュアルをご参照ください。

#### (1) OS390

JCL 例

##### 【通常の配信起動の JCL 例】

//SNDGO JOB CLASS=A,MSGCLASS=B	
//JOBLIB DD DSN=HULFT.V05.LOAD,DISP=SHR	
//JOB CAT DD DSN=USERCAT,DISP=SHR	
//XRSTART EXEC PGM=XRSNDGO,REGION=2048K	配信起動コマンド
//XR CRD DD *	XR CRD 定義カード
FILE-ID=ACCR21,SYNC	ファイル ID
FILE-ID=POS01,SYNC	ファイル ID
//*	
//XRSYSIN DD *	XRSYSIN 定義カード
START-TASK=HULSND	
QDEL=N	
PREFIX=HULFT	
CMPBLK=4096	
RECLN=N	
JOB TIME=1440	
//XR FILE DD DSN=HULFT.V05.FILE,DISP=SHR	集配信管理ファイル
//XR HOST DD DSN=HULFT.V05.HOST,DISP=SHR	ホスト情報ファイル
//XR QUE DD DSN=HULFT.V05.QUE2,DISP=SHR	配信待ち行列ファイル
//SYSOUT DD SYSOUT=*	
//	

##### 【配信ファイルを DD 文で指定する場合の JCL 例】

//SNDGO JOB CLASS=A,MSGCLASS=B	
//JOBLIB DD DSN=HULFT.V05.LOAD,DISP=SHR	
//JOB CAT DD DSN=USERCAT,DISP=SHR	
//XRSTART EXEC PGM=XRSNDGO,REGION=2048K	配信起動コマンド
//XR CRD DD *	XR CRD 定義カード
FILE-ID=ACCR21,DD=XRIN,GRPID=HP1,SYNC	
//*	
//XRSYSIN DD *	XRSYSIN 定義カード
START-TASK=HULSND	
//XRIN DD DSN=HULFT.JOIN.FILE,DISP=SHR	配信するデータ
//XR FILE DD DSN=HULFT.V05.FILE,DISP=SHR	集配信管理ファイル
//XR HOST DD DSN=HULFT.V05.HOST,DISP=SHR	ホスト情報ファイル
//XR QUE DD DSN=HULFT.V05.QUE,DISP=SHR	配信待ち行列ファイル
//SYSOUT DD SYSOUT=*	
//	



## (2) OS400

UTLSEND	<u>FILEID</u> ( <u>FILEID</u> )	<u>DYNAFILE</u> ( <u>配信ファイル名</u> )	<u>DYNAMBR</u> ( <u>配信メンバ名</u> )
	配信用ファイル ID	配信ファイル名	配信メンバ名
		<u>DYNATGRP</u> ( <u>転送グループID</u> )	<u>SYNC</u> ( <u>*YES</u> ) <u>WAITTIME</u> ( <u>待ち時間</u> )
		転送グループ ID	同期転送    コマンドタイムアウト

## (3) UNIX

utlsend	<u>-f</u> ( <u>FILEID</u> )	<u>-file</u> ( <u>配信ファイル名</u> )	<u>[-t tgrp または -h p-exftp.u-diex.jp]</u>	<u>-sync</u>
	配信用ファイル ID	配信ファイル名	転送グループ ID (*1) ホスト名(*2)	同期転送

(\*1) : HULFT「転送グループ情報」に u-DIEX センタ側ホスト **p-exftp.u-diex.jp** を登録した転送グループ ID を指定してください。

(\*2) : **-h** のパラメータ(ホスト名指定)は HULFT Version6 で有効です。

## 7.5. 受信手順

ファイル受信の手順を説明します。受信する前に前章の登録を行っている必要があります。

### 7.5.1. 受信ファイルの取り込み

受信したファイルのお客様の業務アプリケーションへの取り込み時の注意点を説明します。

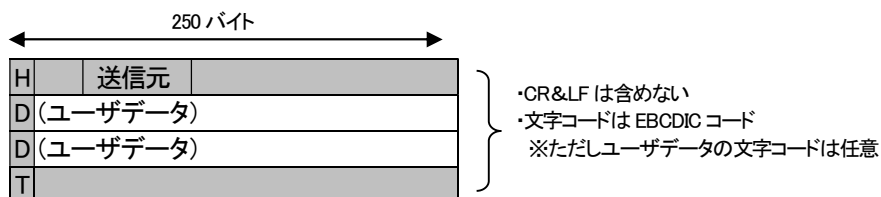
受信したファイルを取り込むには集信したファイル毎に処理する必要があります。

受信したファイルのファイル形式により異なりますのでご注意ください。

#### (1) TNS 標準形式/TNS 拡張形式

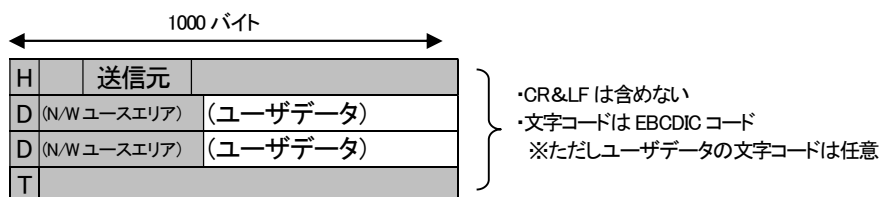
**TNS 標準形式**の場合、以下のフォーマットに従ったデータが集信したファイルに格納されています。

データの発信元は TNS ヘッダーの送信元から特定します。

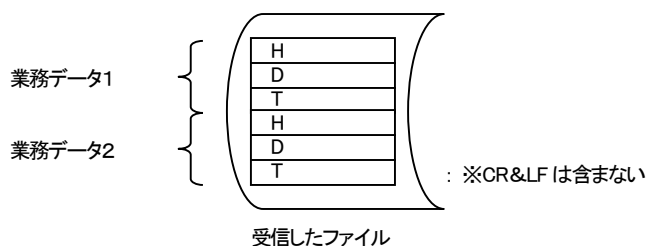


**TNS 拡張形式**の場合、以下のフォーマットに従ったデータが集信したファイルに格納されています。

データの発信元は TNS ヘッダーの送信元から特定します。

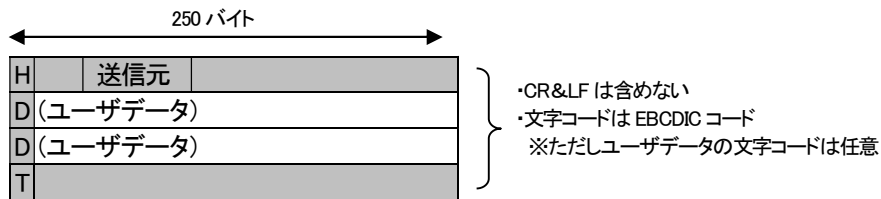


受信情報の結合フラグを指定している場合や集信ファイルの登録方法を追加(追記)にしている場合、集信したファイルに複数の業務データが含まれていることがあります。

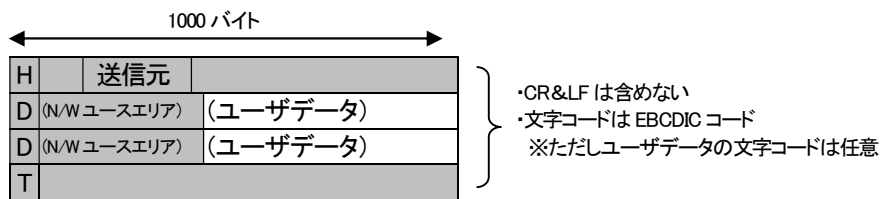


## (2) TNS 標準形式/TNS 拡張形式(受信情報ファイル)

TNS 標準形式の場合、以下のフォーマットに従ったデータが集信したファイルに格納されています。  
データの発信元は受信情報ファイルの送信元から特定します。

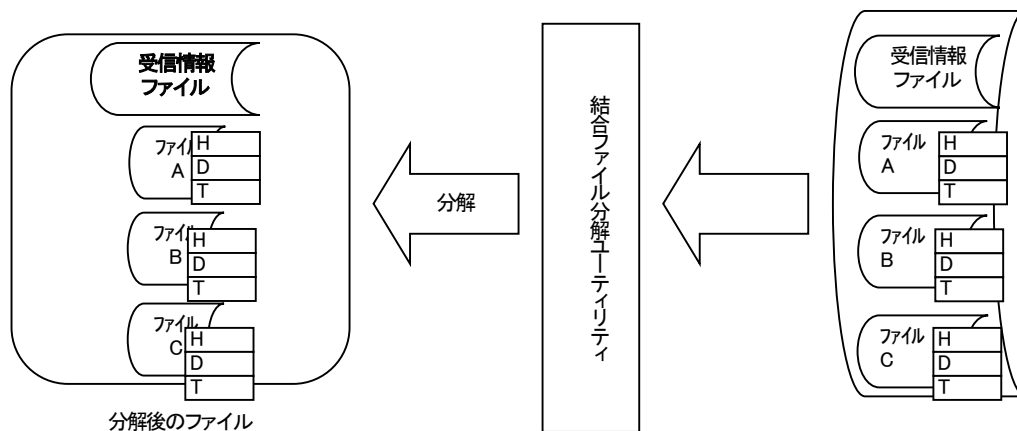


TNS 拡張形式の場合、以下のフォーマットに従ったデータが集信したファイルに格納されています。  
データの発信元は受信情報ファイルの送信元から特定します。



受信したファイルには、その他に**受信情報ファイル**が含まれています。

※**受信情報ファイル**の詳細については、「[7.6.2. 受信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。  
それぞれを分解するために HULFT5 以上から標準提供の「結合ファイル分解ユーティリティ」を利用します。  
(結合ファイル分解ユーティリティについては HULFT のマニュアルをご参照ください)

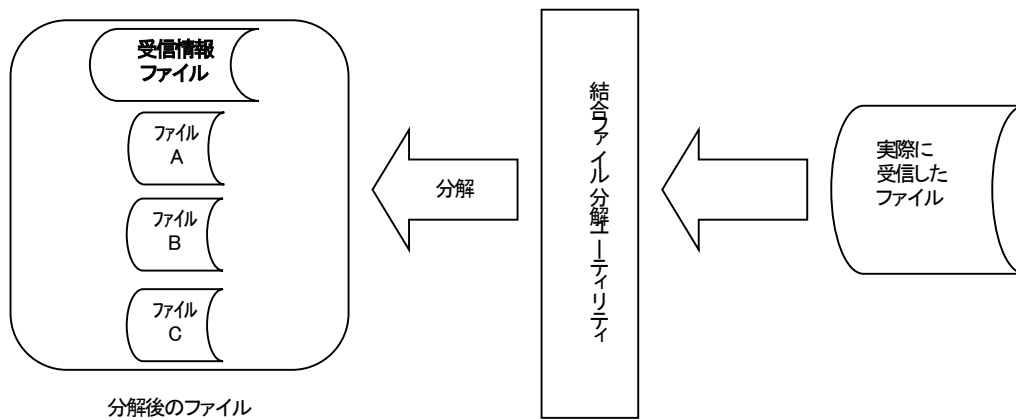


## (3) 自由形式(受信情報ファイル)

受信したファイルには、u-DIEX センタに蓄積されていたファイルと受信情報ファイルが含まれています。

※受信情報ファイルの詳細については、「[7.6.2. 受信情報ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

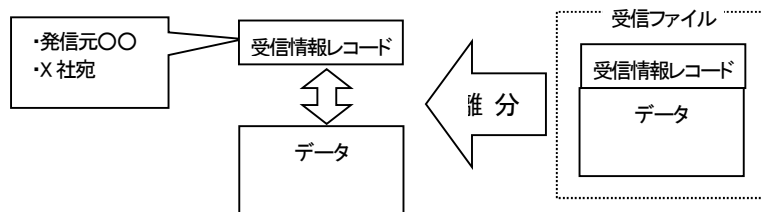
それぞれを分解するために HULFT5 以上から標準提供の「結合ファイル分解ユーティリティ」を利用します。  
(結合ファイル分解ユーティリティについては HULFT のマニュアルをご参照ください)



ファイルの発信元は受信情報ファイルに明記されているそのファイルの送信元から特定します。

## (4) 自由形式(受信情報レコード)

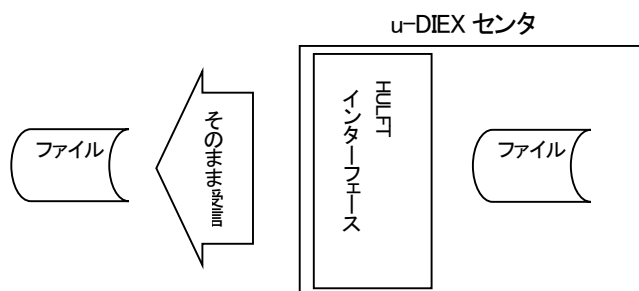
自由形式(受信情報レコード)の場合、受信情報レコードがデータの先頭に付加されます。



※受信情報レコードの詳細については、「[7.6.5. 受信情報レコードレイアウト](#)」を参照して下さい。

## (5) 自由形式(HULFT 標準)

自由形式(HULFT 標準)の場合、HULFT ユーティリティによる分解や、受信情報レコードを外すという後処理が不要になります。データのフォーマット、文字コードについて規定はありません。(自由形式データと同様)

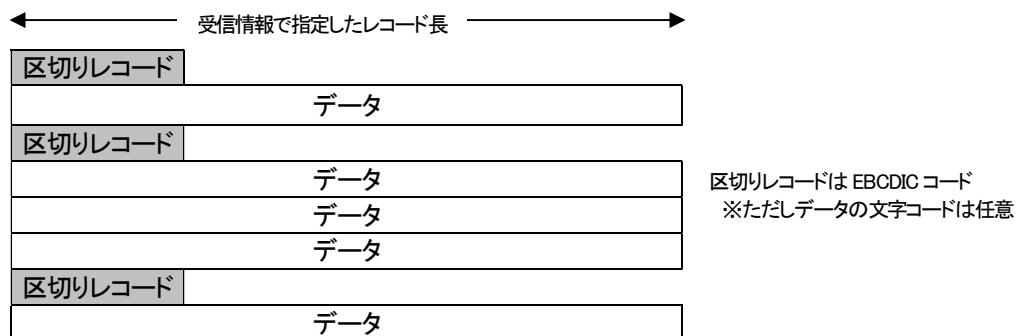


## (6) メインフレーム・AS400 での自由形式受信の場合

メインフレーム・AS400 で自由形式データを受信する際、相手先様を識別するために一定のデータ長ごとに区切りレコードを付加することができます。(固定長形式) (u-DIEX (汎用) サービスのみ)

Web 管理機能で受信情報の設定の際にレコード長の設定が必要となります。

実データの最終レコードが指定されたレコード長に満たない場合、スペース (0x40) で埋めます。



区切りレコード設定値

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	設定値	設定例
1	NULL	BIN	1	2	0x00,0x00(固定)	—
2	識別	CHAR	3	4	"UDEX"(固定)	—
3	顧客コード	CHAR	7	8	発信元顧客コード	"OTDC "
4	ユーザ ID	CHAR	15	8	発信元 EDI-ID	"OTDC000 "
5	種別	CHAR	23	8	MSG 識別子	"ITNS000 "

**(7) 未受信ファイルの受信**

センタの蓄積状況を照会し、必要なデータのみ受信するような運用をされる場合は、未受信ファイルのリストを受信することが出来ます。

**・u-DIEX(汎用)の場合**

受信要求ファイル(UDXRCVH)のメッセージ識別子に、未受信ファイルを要求する固定の ID を記述します。

メッセージ識別子=UDXLSTH 固定値

**・u-DIEX(情報公開)の場合**

受信要求ファイル(UDXRCVJ)のデータ種別に、未受信ファイルを要求する固定の ID を記述します。

データ種別=UDXLSTJ 固定値

※**受信要求ファイルの詳細**については、[「7.6.3 受信要求ファイルレイアウト」](#)を参照して下さい。

**■注意事項****a) u-DIEX(汎用)**

- ③ 受信リストは、お客様 HULFT の導入されている OS の文字コード種の英大文字、数字で受信されます。
- ④ u-DIEX センタ上に未受信のファイルが無くても、ヘッダー情報のみの未受信リストを配信します。
- ⑤ 未受信リスト取得機能をご利用頂くには、事前に u-DIEX センタへの UDXLSTH(未受信リスト取得用のファイルID(汎用))の登録が必要です。
- ⑥ u-DIEX センタに複数の未受信ファイルがあった場合、未受信リストのレコード順は、「メッセージ識別子」、「蓄積日時」順となります。
- ⑦ HULFT I/F に登録がないメッセージ識別子であっても、全て未受信リストに記載されます。
- ⑧ 既に受信済みとなっているファイルは、未受信リストには記載されません。
- ⑨ 未受信リストは 80 バイトの固定長ですが、ホスト系 OS 以外では、レコード末尾に改行コードが付与されます。
- ⑩ u-DIEX(情報公開)の未受信リストとレイアウトが異なります。

**b) u-DIEX(情報公開)**

- ① 受信リストは、お客様 HULFT の導入されている OS の文字コード種の英大文字、数字で受信されます。
- ② u-DIEX センタ上に未受信のファイルが無くても、ヘッダー情報のみの未受信リストを配信します。
- ③ 未受信リスト取得機能をご利用いただくには、事前に u-DIEX センタへの UDXLSTJ(未受信リスト取得用のファイル ID(情報公開))の登録が必要です。
- ④ u-DIEX センタに複数の未受信ファイルがあった場合、未受信リストのレコード順は、「データ種別」、「蓄積日時」順となります。
- ⑤ HULFT I/F に登録がないデータ種別であっても、全て未受信リストに記載されます。  
(HULFT I/F 登録上、受信できないデータ種別が存在した場合は“———”と表記されます。)
- ⑥ 既に受信済みとなっているファイルは、未受信リストには記載されません。
- ⑦ 未受信リストは 80 バイトの固定長ですが、ホスト系 OS 以外では、レコード末尾に改行コードが付与されます。
- ⑧ パッケージは未受信リストには記載されません。
- ⑨ u-DIEX(汎用)の未受信リストとレイアウトが異なります。

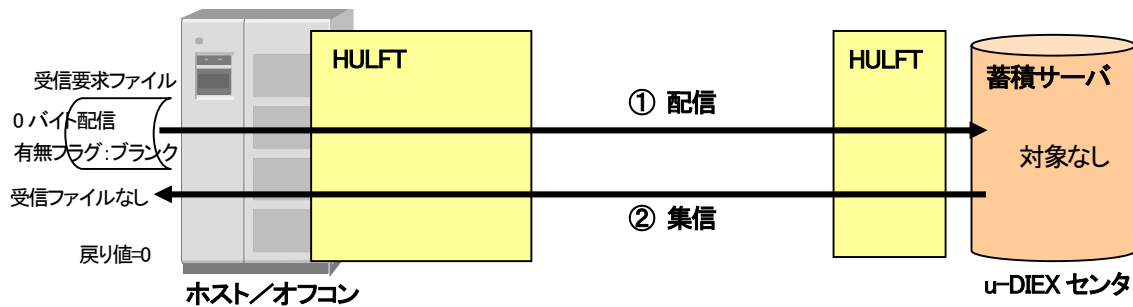
※**未受信リストの詳細**については、[「7.6.6 未受信リストファイルレイアウト」](#)を参照して下さい。

## (8) 0 バイトデータの受信

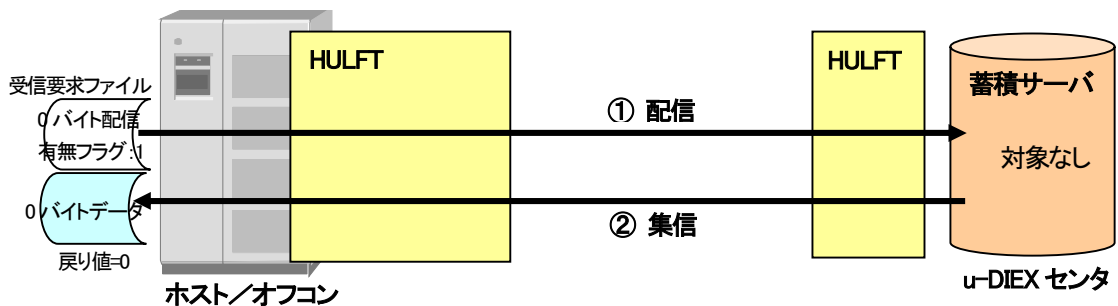
## ■概要

受信要求ファイルを送信し、対象の未読データが無い場合に、  
 戻り値=0(正常)で何も送信しないとするか(従来機能)、0 バイトのデータを受信するかを選択できます。  
 ※0 バイトデータ受信機能を使う場合、受信要求ファイルのメッセージ識別子に”ALL”は指定出来ません。

(a) 何も受信しない(0 バイト配信有無フラグ=ブランク)



(b) 0 バイトデータ受信機能(0 バイト配信有無フラグ=1)



※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

## (8) 個別受信時のシーケンス制御機能

## ■概要

転送単位「個別」受信の場合、受信動作の継続を「あり」「なし」から選択できます。

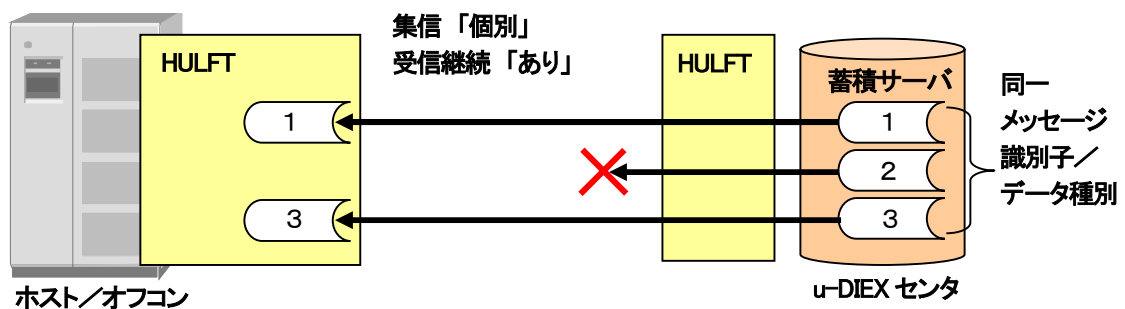
同一メッセージ識別子もしくはデータ種別を複数受信するときにエラーが発生した場合、シーケンス制御機能が動作します。

転送単位	転送中エラー時の動作	説明
個別 受信継続「あり」	その後の転送処理を継続	途中でエラーとなっても、転送処理を続行します。その後受信可能なものは受信されます。
個別 受信継続「なし」 (デフォルト)	転送処理を中止	エラー後の転送処理を中止します。次回受信時まで残りのファイルが u-DIEX センタに滞留します。

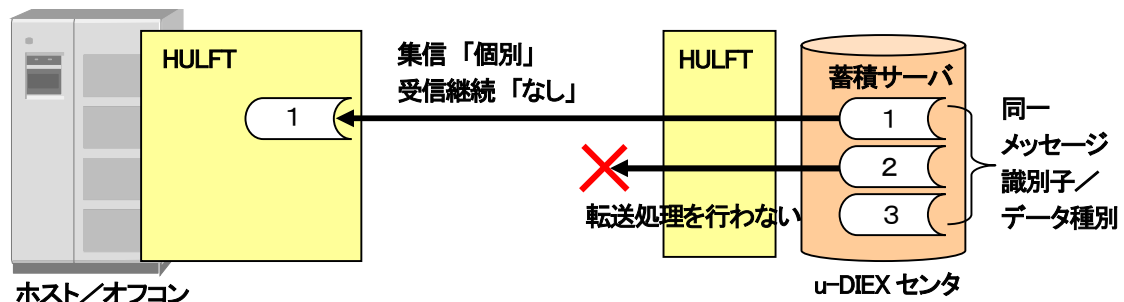
## ■個別受信時のシーケンス制御機能動作

例) 同一メッセージ識別子の個別受信で、u-DIEX センタに未読ファイルが3つ蓄積されていて、受信処理中に2番目のファイルがエラーとなった場合

- (a) 受信継続「あり」…エラーとなったファイル以外は全て転送され、ファイル1・3が受信できます。ファイル2より先に3が受信されます。次回受信時にファイル2が受信できます。センタから転送できるものは全て転送するという考え方。



- (b) 受信継続「なし」…エラーとなったファイル以降の転送処理を中止しファイル1のみ受信できます。次回受信時にファイル2・3を順番に受信出来ます。ファイル2より先にファイル3が受信されることはありません。センタ蓄積順に転送するという考え方。



## &lt;ご注意&gt;

※デフォルトでは受信継続「なし」の指定となっておりますのでご注意ください。



## 7.5.2 分解ユーティリティ

u-DIEX センタからの自由フォーマットのデータファイル集信後、結合ファイルを分解するには各 OS 版 HULFT が提供している分解ユーティリティをご利用ください。

※以下は OS 毎のユーティリティご利用イメージです。ご利用方法の詳細につきましては各 OS 版 HULFT マニュアルをご参照ください。

### (1) OS390

JCL 例

【出力先を DD 文で指定する場合の JCL 例】

//XRBREAK JOB CLASS=A, MSGCLASS=B	
//JOBLIB DD DSN=HULFT. LOAD, DISP=SHR	
//JOB CAT DD DSN=USERCAT, DISP=SHR	
//XRBREAK EXEC PGM=XRBREAK	結合ファイル分解プログラム
//XR CRD DD *	XRCRD 定義カード
TGTFILE=*, REP, VOL=WRK1	
//XR OUT DD DSN=HULFT. DATA (DATA1), DISP=(OLD, KEEP)	取り出すファイル
//XR JOIN DD DSN=HULFT. JOIN. FILE, DISP=SHR	結合ファイル
//XR PRINT DD SYSOUT=*	
//SYS PRINT DD SYSOUT=*	
//SYS OUT DD SYSOUT=*	
//	

### (2) OS400

結合ファイル「MYLIB/JOIN(JOIN01)」から順序番号 10~100 のファイルをライブラリ「MYLIB2」に、ファイルのレコード長 256 で分解します。

```
UTLBREAK JOINFILE(MYLIB/JOIN) JOINMBR (JOIN01) OUTLIB(MYLIB2) FROMTO(10 100 256 )
```

### (3) UNIX

```
utlbreak -infile [集信ファイル名] -r -from 1 -dir [分解先フォルダ名]
          集信した結合ファイル名 上書き 1 番目からすべて 分解先フォルダ名
```

## 7.6. レイアウト

### 7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト

ファイル結合送信時に必要な送信情報ファイルについて説明します。

- ファイル名 : 任意
- レコード長 : 100 バイトの固定長(改行コードは含みません)
- 文字 : お客様ホストの文字コード種  
英大文字、数字
- 複数行のデータレコードの記述が可能。
- 送信情報ファイルを結合する際、最初に結合する必要があります。
- 結合する際のファイルタイプはテキストで結合して下さい。

#### (1) u-DIEX(汎用)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	ファイル種別	CHAR	1	39	###U-DIEX HULFT UPLOAD INFORMATION### (固定)	送信情報ファイルを示す
1-2	チェックフラグ	CHAR	40	7	ブランク	結合ファイルの整合性チェックをしない場合は "NOCHECK"を指定
1-3	予備	CHAR	47	54	ブランク(固定)	-
2	データレコード					
2-1	発信元 EDI-ID	CHAR	1	10	お客様 EDI-ID	
2-2	宛先 EDI-ID	CHAR	11	10	相手先様 EDI-ID	
2-3	ファイル名	CHAR	21	50	結合するファイル名	左詰め。残りブランク
2-4	予備	CHAR	71	30	ブランク(固定)	-

#### <レイアウトサンプル>

```

01 #####10 #####20 #####30 #####40 #####50 #####60 #####70 #####80 #####90 #####100
###U-DIEX HULFT_UPLOAD_INFORMATION###
0999T01 0ABC001 nouhinsho_ABC.dat
0999T01 0CDE003 nouhinsho_CDE.dat

```

## (2) u-DIEX(情報公開)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	ファイル種別	CHAR	1	39	###U-DIEX HULFT UPLOAD INFORMATION### (固定)	送信情報ファイルを示す
1-2	チェックフラグ	CHAR	40	7	ブランク	結合ファイルの整合性チェックをしない場合は "NOCHECK"を指定
1-3	予備	CHAR	47	54	ブランク(固定)	
2	データレコード					
2-1	発信元ユーザ ID	CHAR	1	10	お客様ユーザ ID	
2-2	発信元会社コード	CHAR	11	5	お客様会社コード	
2-3	宛先ユーザ ID	CHAR	16	10	相手先様ユーザ ID	会社宛の場合、“*” (アスタリスク)を指定
2-4	宛先会社コード	CHAR	26	5	相手先様会社コード	
2-5	ファイル名	CHAR	31	50	結合するファイル名	左詰め。残りブランク
2-6	予備	CHAR	81	20	ブランク(固定)	

## &lt;レイアウトサンプル&gt;

```

01 #####U-DIEX HULFT UPLOAD INFORMATION###
phulftUsr B8489UsrA .....B0001nouhinsho.txt.....
phulftUsr B8489* .....B0002納品書.pdf.....

```

## 7.6.2 受信情報ファイルレイアウト

TNS 標準形式(受信情報ファイル)/TNS 拡張形式(受信情報ファイル)/自由形式(受信情報ファイル)の受信時に作成される受信情報ファイルについて説明します。

受信情報ファイルは以下の条件で作成されます。

- ファイル名 : DOWNINFO
- レコード長 : 100 バイトの固定長
- 文字 : お客様ホストの文字コード種  
英大文字、数字

### (1) u-DIEX(汎用)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	ファイル種別	CHAR	1	39	###U-DIEX HULFT DOWNLOAD INFORMATION###(固定)	受信情報ファイルを示す
1-2	予備	CHAR	40	61	ブランク(固定)	
2	データレコード					
2-1	発信元 EDI-ID	CHAR	1	10	相手先様 EDI-ID	
2-2	宛先 EDI-ID	CHAR	11	10	お客様 EDI-ID	
2-3	ファイル名	CHAR	21	50	任意のファイル名(英数字)	左詰め。残りブランク
2-4	予備	CHAR	71	30	ブランク(固定)	-

### (2) u-DIEX(情報公開)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	ファイル種別	CHAR	1	39	###U-DIEX HULFT DOWNLOAD INFORMATION###(固定)	受信情報ファイルを示す
1-2	予備	CHAR	40	61	ブランク(固定)	
2	データレコード					
2-1	発信元ユーザ ID	CHAR	1	10	相手先様ユーザ ID	
2-2	発信元会社コード	CHAR	11	5	相手先様会社コード	
2-3	宛先ユーザ ID	CHAR	16	10	お客様ユーザ ID	
2-4	宛先会社コード	CHAR	26	5	お客様会社コード	-
2-5	ファイル名	CHAR	31	50	任意のファイル名(英数字)	左詰め。残りブランク
2-6	予備	CHAR	81	20	ブランク(固定)	

### 7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト

受信する MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)またはファイル ID を指定するファイルです。

受信要求ファイルに記述する内容は以下の通りでなければなりません。

記述	説明
MSG 識別子/データ種別	受信する MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)を1種類指定します。
ファイル ID	MSG 識別子/データ種別の代わりにファイル ID を1種類指定します。 ※MSG 識別子/データ種別のフォーマットとは異なりますのでご注意ください。
ALL	MSG識別子/データ種別の代わりに“ALL”を記述します。 お客様宛てに届いた未受信データを全て受信します。 ※MSG 識別子/データ種別指定のフォーマットのみ指定可能です。

※指定する「MSG識別子」または「データ種別」は u-DIEX センタに事前に登録されている必要があります。

- ファイル ID : 固定値 <汎用> UDXRCVH <情報公開> UDXRCVJ
- ファイル名 : 任意
- ファイルサイズ : 50 バイトまたは 100 バイト(改行コードは不要)
- 文字 : お客様ホストの文字コード種  
英大文字、数字

#### (1) u-DIEX(汎用)で MSG 識別子を指定する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容
1	発信元 EDI-ID	CHAR	1	10	お客様 EDI-ID
2	MSG 識別子	CHAR	11	8	MSG 識別子 または “ALL”
3	0 バイト配信有無フラグ	CHAR	19	1	“ ”(ブランク) または “1” ※“1”の時、対象データが無ければ0バイトファイルを受信
4	予備	CHAR	20	31	ブランク(固定)

<レイアウトサンプル>

```

0999T01 0ABC001 1

```

#### (2) u-DIEX(汎用)でファイル ID を指定する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容
1	発信元 EDI-ID	CHAR	1	10	お客様 EDI-ID
2	ファイル ID	CHAR	11	50	ファイル ID ※ALL 指定不可
3	0 バイト配信有無フラグ	CHAR	61	1	“ ”(ブランク) または “1” ※“1”の時、対象データが無ければ0バイトファイルを受信
4	予備	CHAR	62	39	ブランク(固定)

<レイアウトサンプル>

```

0999C01 FILD111

```

## (3) u-DIEX(情報公開)でデータ種別を指定する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容
1	発信元プロセス ID	CHAR	1	10	お客様プロセス ID
2	発信元会社コード	CHAR	11	5	お客様会社コード
3	データ種別	CHAR	16	8	データ種別 または “ALL” ※フォルダ単位授受の場合、“ALL”は指定不可
4	0 バイト配信有無フラグ	CHAR	24	1	“(ブランク) または ”1” ※“1”の時、対象データが無ければ 0 バイトファイルを受信
5	予備	CHAR	25	26	ブランク(固定)

## &lt;レイアウトサンプル&gt;

```

0 10 20 30 40 50
phulftUsr_B8489JTDCC0011

```

## (4) u-DIEX 情報公開でファイル ID を指定する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容
1	発信元プロセス ID	CHAR	1	10	お客様プロセス ID
2	発信元会社コード	CHAR	11	5	お客様会社コード
3	ファイル ID	CHAR	16	50	ファイル ID ※ALL 指定不可
4	0 バイト配信有無フラグ	CHAR	66	1	“(ブランク) または ”1” ※“1”の時、対象データが無ければ 0 バイトファイルを受信
5	予備	CHAR	67	34	ブランク(固定)

## &lt;レイアウトサンプル&gt;

```

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
T0002 REG04FILID503 0 EOF

```

※受信要求ファイルを u-DIEX センタに送信するためには、お客様側の HULFT の配信管理情報に情報を登録する必要があります。

※お客様 HULFT の配信管理情報の設定では、受信要求ファイルはテキスト転送、コード変換は「配信側」で設定して下さい。(受信要求ファイルの文字コードを ASCII で作成してあれば BINARY 転送も可)

※MSG 識別子/データ種別に“ALL”を指定した場合、0 バイト配信有無フラグに“1”を指定できません。

### 7.6.4. 送信情報レコードレイアウト

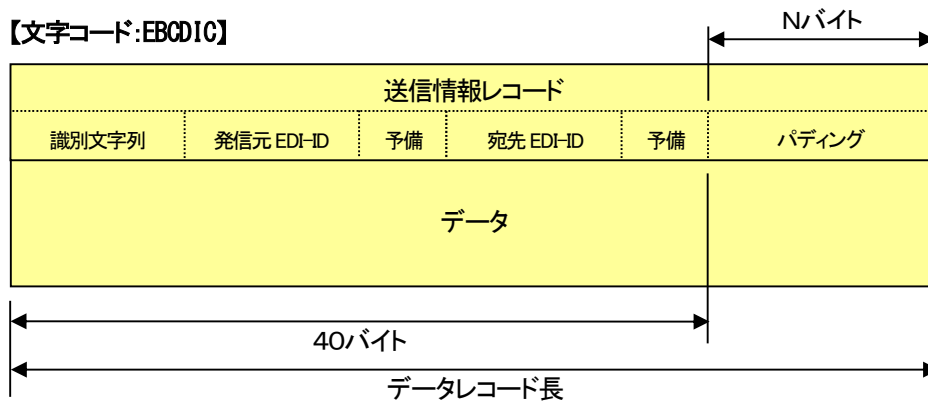
自由形式(送信情報レコード)の送信時にデータの先頭に付加する送信情報レコードについて説明します。  
送信情報レコードは以下の内容で作成します。

- レコード長 : 40 バイト以上の可変長(データ長、文字コードによる)
- 文字 : EBCDIC または ASCII コード

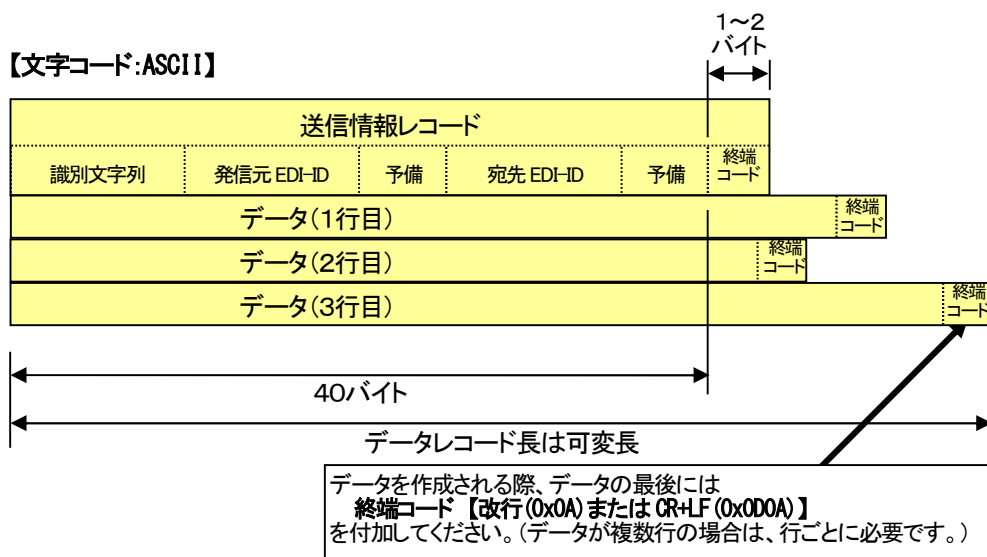
#### (1) u-DIEX(汎用)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	識別文字列	CHAR	1	10	“##UPINFO##”固定	固定文字列
2	発信元 EDI-ID	CHAR	11	10	お客様の EDI-ID	
3	予備	CHAR	21	5	予備	ブランク
4	宛先 EDI-ID	CHAR	26	10	相手先様の EDI-ID	
5	予備	CHAR	36	5	予備	ブランク
6	パディング	CHAR	41	N	EBCDIC コード指定の場合のみ スペース文字でパディング 【SP (0x40)】	N=0 以上 文字コードは送信情報登録にて指定
7	終端コード	CHAR	41+N	1~2	ASCII コード指定の場合のみ改行を付加 【LF (0x0A) or CR+LF (0x0D0A)】	文字コードと終端コードは送信情報登録にて指定

#### 【文字コード:EBCDIC】



#### 【文字コード:ASCII】



## &lt;レイアウトサンプル&gt;

```

0 10 20 30 40
##UPINFO##0999T01 0ABC001

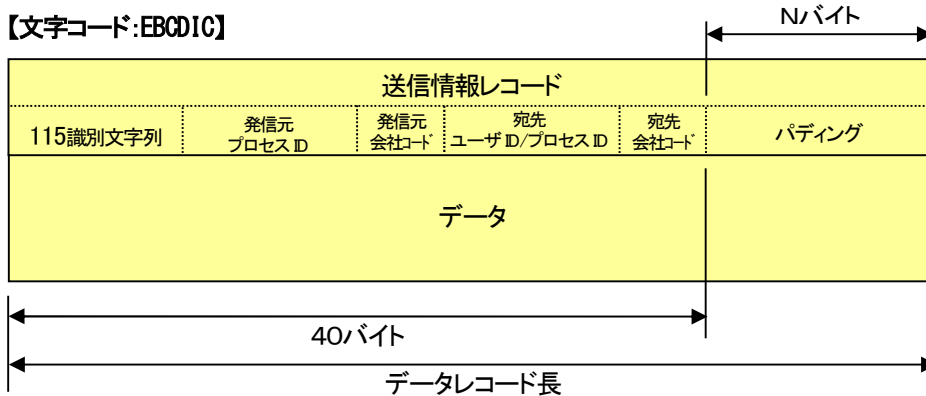
```

※これらの送信情報レコードは文字コードがASCIIの場合のものとなっております。

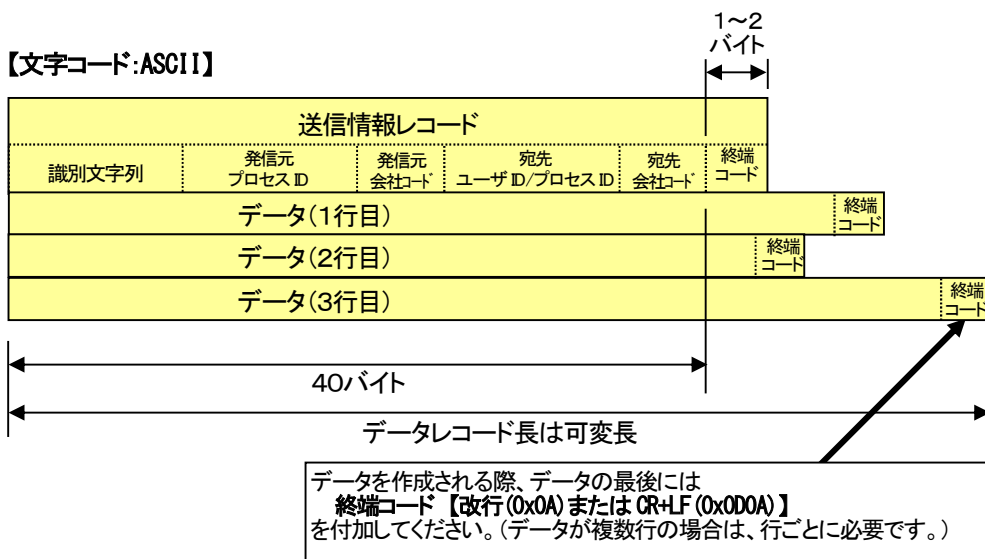
## (2) u-DIEX(情報公開)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	識別文字列	CHAR	1	10	“##UPINFO##”固定	固定文字列
2	発信元プロセスID	CHAR	11	10	お客様のプロセスID	
3	発信元会社コード	CHAR	21	5	お客様の会社コード	
4	宛先 ユーザID/プロセスID	CHAR	26	10	相手先様のユーザID/プロセスID	
5	宛先会社コード	CHAR	36	5	相手先様様の会社コード	
6	パディング	CHAR	41	N	EBCDIC コード指定の場合のみスペース文字でパディング【SP(0x40)】	N=0 以上 文字コードは送信情報登録にて指定
7	終端コード	CHAR	41+N	1~2	ASCII コード指定の場合のみ改行を付加【LF(0x0A) or CR+LF(0x0D0A)】	文字コードと終端コードは送信情報登録にて指定

## 【文字コード:EBCDIC】

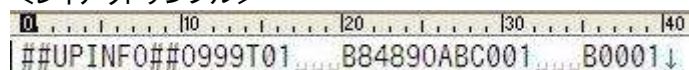


## 【文字コード:ASCII】





## &lt;レイアウトサンプル&gt;



```
0 10 20 30 40
|##UPINFO##0999T01 B84890ABC001 B0001↓
```

※こちらの送信情報レコードは文字コードがASCIIの場合のものとなっております。

### 7.6.5. 受信情報レコードレイアウト

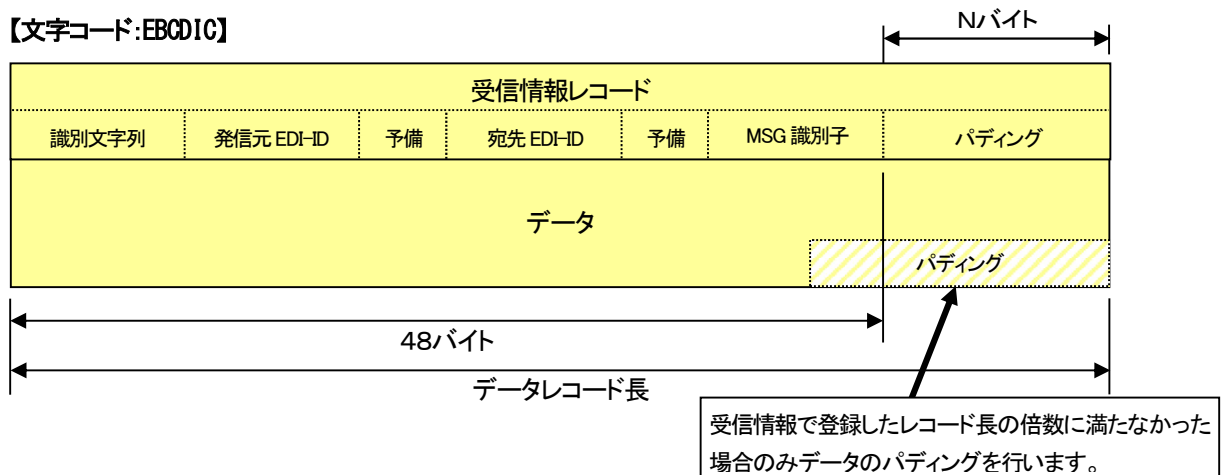
自由形式(受信情報レコード)の受信時にデータの先頭に付加されている受信情報レコードについて説明します。  
受信情報レコードは以下の内容で作成されます。

- レコード長 : 48 バイト以上の可変長(データ長、文字コードによる)
- 文字 : EBCDIC または ASCII コード

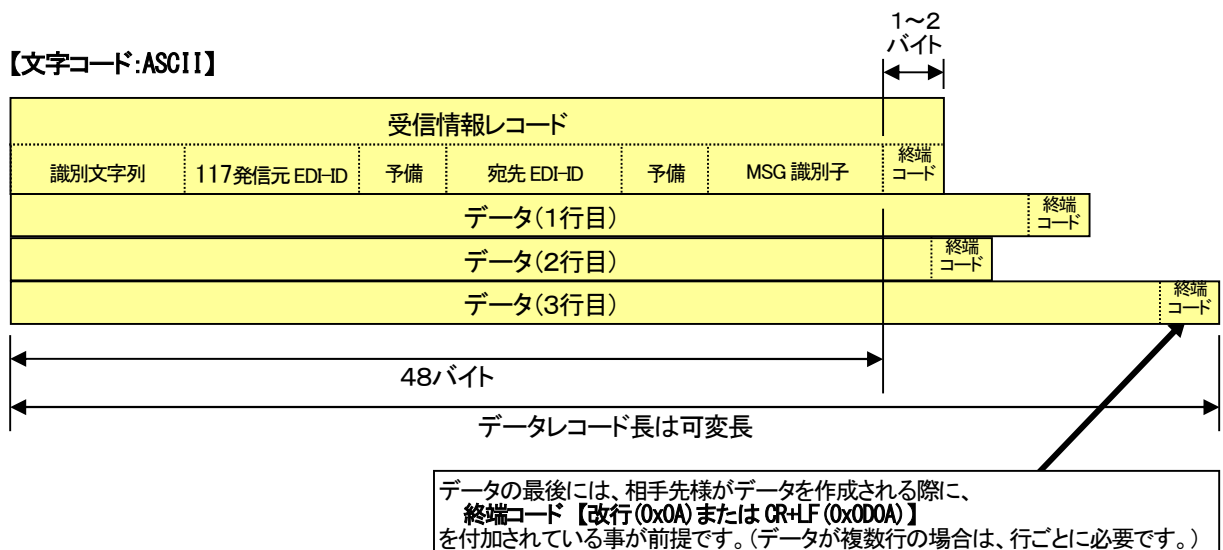
#### (1) u-DIEX(汎用)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	識別文字列	CHAR	1	10	“##DWINFO##”固定	固定文字列
2	発信元 EDI-ID	CHAR	11	10	相手先様の EDI-ID	
3	予備	CHAR	21	5	予備	ブランク
4	宛先 EDI-ID	CHAR	26	10	お客様の EDI-ID	
5	予備	CHAR	36	5	予備	ブランク
6	MSG 識別子	CHAR	41	8	MSG 識別子	
7	パディング	CHAR	49	N	EBCDIC コード指定の場合のみスペース文字でパディング 【SP(0x40)】	N=0 以上 文字コードは送信情報登録にて指定
8	終端コード	CHAR	49+N	1~2	ASCII コード指定の場合のみ改行を付加 【LF(0x0A) or CR+LF(0x0D0A)】	文字コードと終端コードは送信情報登録にて指定

#### 【文字コード:EBCDIC】



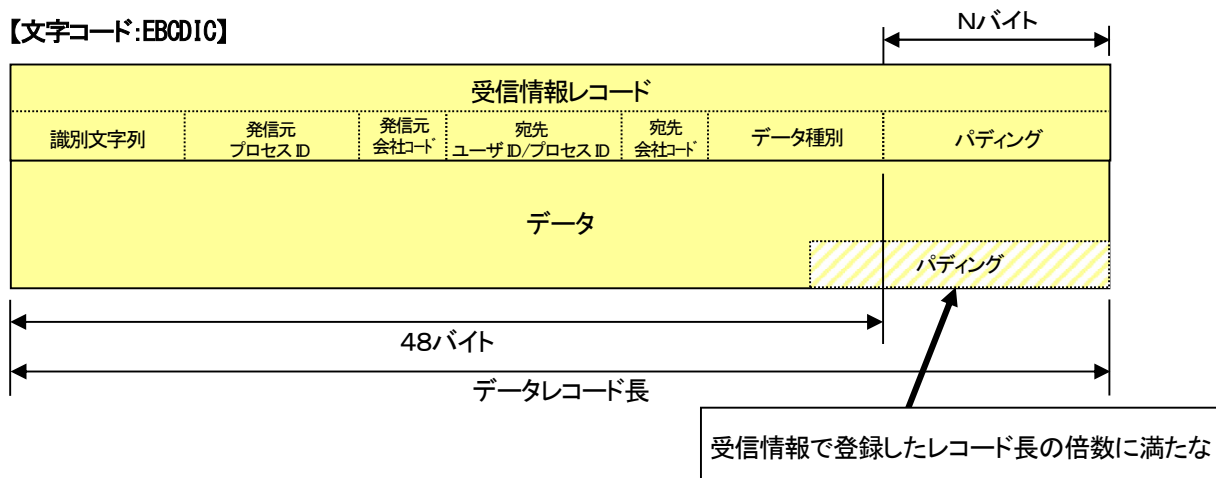
#### 【文字コード:ASCII】



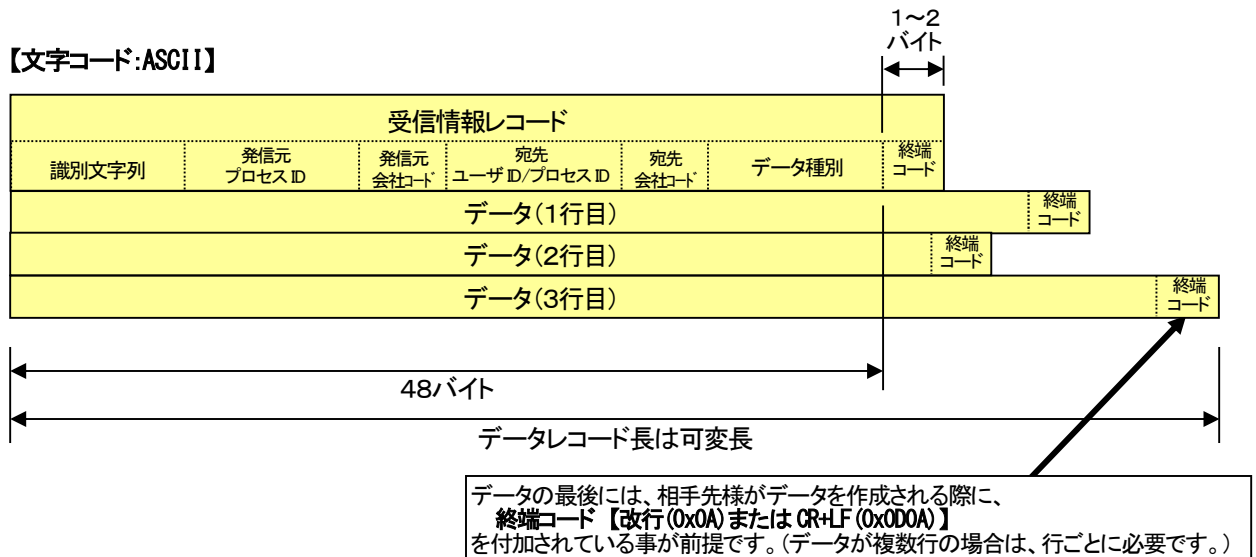
## (2) u-DIEX(情報公開)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	識別文字列	CHAR	1	10	“##DWINFO##”固定	固定文字列
2	発信元プロセス ID	CHAR	11	10	相手先様のプロセス ID	
3	発信元会社コード	CHAR	21	5	相手先様様の会社コード	
4	宛先 ユーザ ID/プロセス ID	CHAR	26	10	お客様のユーザ ID/プロセス ID	
5	宛先会社コード	CHAR	36	5	お客様の会社コード	
6	データ種別	CHAR	41	8	データ種別	
7	パディング	CHAR	49	N	EBCDIC コード指定の場合のみスペース文字でパディング 【SP (0x40)】	N=0 以上 文字コードは受信情報登録にて指定
8	終端コード	CHAR	49+N	1~2	ASCII コード指定の場合のみ改行を付加 【LF (0x0A) or CR+LF (0x0D0A)】	文字コードと終端コードは受信情報登録にて指定

## 【文字コード:EBCDIC】



## 【文字コード:ASCII】



## 7.6.6. 未受信リストファイルレイアウト

受信要求ファイルに、未受信リスト取得用ファイルID(固定)を指定して要求します。

受信要求ファイルに記述する内容は以下の通りでなければなりません。

記述項目	説明
MSG 識別子/ データ種別	UDXLSTH(汎用) UDXLSTJ(情報公開) を固定で指定します。

※受信要求ファイルの詳細については、「[7.6.3. 受信要求ファイルレイアウト](#)」を参照して下さい。

- ファイル ID : 固定値 <汎用> UDXLSTH <情報公開> UDXLSTJ
- レコード長 : 80 バイトの固定長  
(ホスト系 OS 以外の場合、レコード末尾に改行コードが付与されます。)
- 文字 : HULFT の導入されている OS の文字コード種の英大文字、数字

## (1) u-DIEX(汎用)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	見出し_日時	CHAR	1	20	“DATETIME”(固定)	
1-2	見出し_メッセージ識別子	CHAR	21	8	“CLASS”(固定)	
1-3	見出し EDI-ID	CHAR	29	10	“SENDER”(固定)	
1-4	見出し_サイズ	CHAR	39	10	“SIZE”(固定)	
1-5	予備	CHAR	49	32	全てブランク	
2	データレコード					
2-1	蓄積日時	CHAR	1	20	ファイルの蓄積された日時	
2-2	メッセージ識別子	CHAR	21	8	メッセージ識別子	
2-3	発信元 EDI-ID	CHAR	29	10	発信元 EDI-ID	
2-4	ファイルサイズ	CHAR	39	10	ファイルサイズ (単位:Byte)	センタ上のサイズ (ゼロパディング)
2-5	予備	CHAR	49	32	全てブランク	

## (2) u-DIEX(情報公開)で利用する場合

No.	項目名	属性	開始位置	桁数	内容	補足
1	ヘッダーレコード					
1-1	見出し_日時	CHAR	1	20	“DATETIME”(固定)	
1-2	見出し_データ種別	CHAR	21	8	“CLASS”(固定)	
1-3	見出し_ユーザ ID/ プロセス ID	CHAR	29	10	“SENDER”(固定)	
1-4	見出し_会社コード	CHAR	39	5	“COMP”(固定)	
1-5	見出し_サイズ	CHAR	44	10	“SIZE”(固定)	
1-6	予備	CHAR	54	27	全てブランク	
2	データレコード					
2-1	蓄積日時	CHAR	1	20	ファイルの蓄積された日時	
2-2	データ種別	CHAR	21	8	データ種別	
2-3	発信元ユーザ ID/ プロセス ID	CHAR	29	10	発信元のユーザ ID/ プロセス ID	
2-4	発信元会社コード	CHAR	39	5	発信元の会社コード	
2-5	ファイルサイズ	CHAR	44	10	ファイルサイズ (単位:KByte)	センタ上のサイズ (左詰め)
2-6	予備	CHAR	54	27	全てブランク	

※ご注意:データレコードの項目「ファイルサイズ」はu-DIEX(汎用)とu-DIEX(情報公開)では単位が異なります。

## 8. 補足

### 8.1. 受信結果詳細

#### 8.1.1. 受信結果ケース一覧

受信結果には次のケースがあります。

受信要求 ファイル (ID/ALL)	ファイル ID 登録 (有/無)	転送単位	センタ 蓄積データ ID	データ 蓄積順	蓄積データ (正常/異常)	データ 受信 (受信順) /未受信	戻り値 (0/0 以外)	受信結果の扱い (正常/警告/異常)	エラーメール 通知 (件/通)	ケース No.
ID	○(有)	個別 (a) (b) /一括	AAA	1	正常	受信 (1)	0	正常	無	1
			AAA	2	正常	受信 (2)				
			無	-	無	無	0	正常	無	2
			CCC	1	異常	未受信	0 以外	異常	1 件/1 通	3
		個別 (a)	DDD	1	正常	受信 (1)	0 以外	異常	1 件/1 通	4-1
			DDD	2	異常	未受信				
			DDD	3	正常	受信 (2)				
		個別 (b)	DDD	1	正常	受信 (1)	0 以外	異常	1 件/1 通	4-2
			DDD	2	異常	未受信				
			DDD	3	正常	未受信				
		一括	EEE	1	正常	未受信	0 以外	異常	1 件/1 通	5
			EEE	2	異常	未受信				
			EEE	3	正常	未受信				
ALL	○(有)	個別 (a) (b) /一括	GGG	1	正常	受信 (1)	0	正常	無	7
			HHH	2	正常	受信 (2)				
			無	-	無	無				
	×(無)	個別 (a) (b) /一括	III	1	正常	未受信	0	警告	1 件/1 通	9
			III	2	正常	未受信				
	○(有)	個別 (a) (b) /一括	JJJ	1	正常	受信 (1)	0	異常	3 件/1 通	10
			KKK	2	異常	未受信				
			LLL	3	正常	受信 (2)				
		個別 (a)	MMM	4	正常	受信 (3)				
			MMM	5	異常	未受信				
			MMM	6	正常	受信 (4)				
		個別 (b)	NNN	7	正常	受信 (5)	0	異常	2 件/1 通	11
			NNN	8	異常	未受信				
			NNN	9	正常	未受信				
			PPP	10	正常	未受信				
		一括	PPP	11	異常	未受信				
			PPP	12	正常	未受信				
			PPP	12	正常	未受信				
	×(無)		QQQ	13	正常	未受信	0	異常	2 件/1 通	11
			QQQ	14	正常	未受信				

※情報公開をフォルダ単位受信でご利用の場合、受信要求ファイルに ALL を指定した受信はできません。

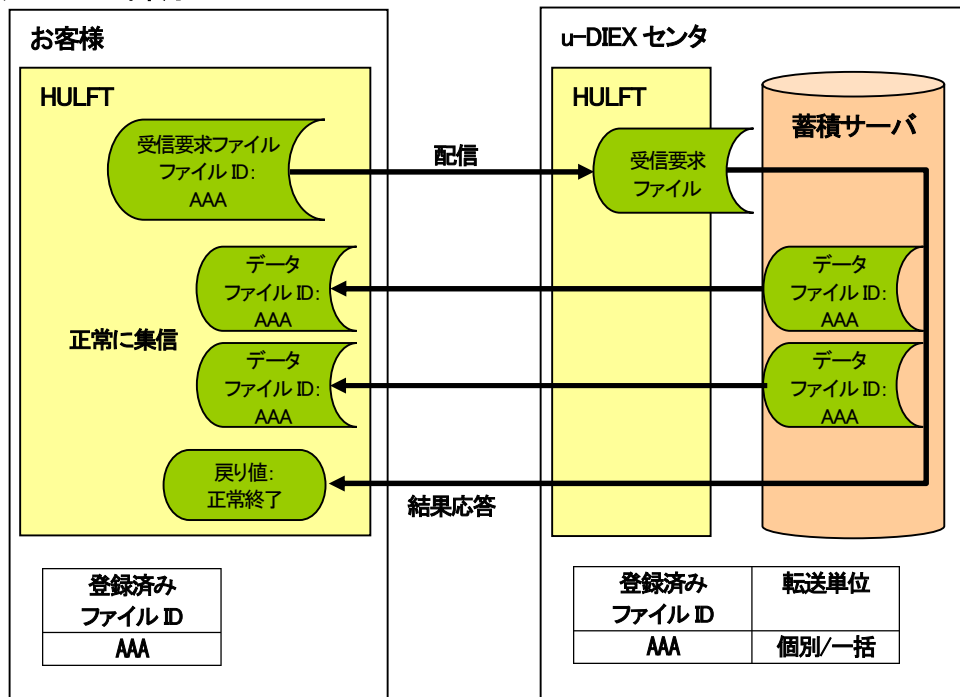
## 受信結果一覧 項目説明

項目名	内容
受信要求ファイル(ID/ALL)	受信要求ファイルで MSG 識別子またはデータ種別を指定するか、ALL 受信を指定するかを示します。
ファイル ID 登録(有/無)	ファイル ID (MSG 識別子またはデータ種別)がお客様側、およびセンタに登録がされているか否かを示します。
転送単位	支援システムの受信情報に登録されている転送単位を示します。 ・個別(a)・・・(従来機能)受信継続あり ・個別(b)・・・受信継続なし (「個別(a)(b)/一括」とはどちらの場合でもという意味です。)
センタ蓄積データ ID	センタへお客様宛てに蓄積されているデータのファイル ID (MSG 識別子またはデータ種別)を示します。
データ蓄積順	データファイルがセンタへ蓄積された順を示します。
蓄積データ(正常/異常)	蓄積されているデータが正常なものか異常なものかを示します。
データ 受信(受信順)/未受信	データファイルを受信する(=受信)、しない(=未受信)を示します。(1)は受信ファイル数を示します。
戻り値(0/0 以外)	配信ユーティリティの戻り値を指します。
受信結果の扱い(正常/警告/異常)	警告終了時は、配信ユーティリティの戻り値の戻り値が”0”でもエラーメールが通知されます。
エラーメール通知(件/通)	エラーメール 1 通につき、複数件のエラー内容が含まれる場合があります、そのエラー内容の件数を指します。
ケース No.	次ページ以降にある受信結果ケースのイメージ図のケース番号に紐づいています。

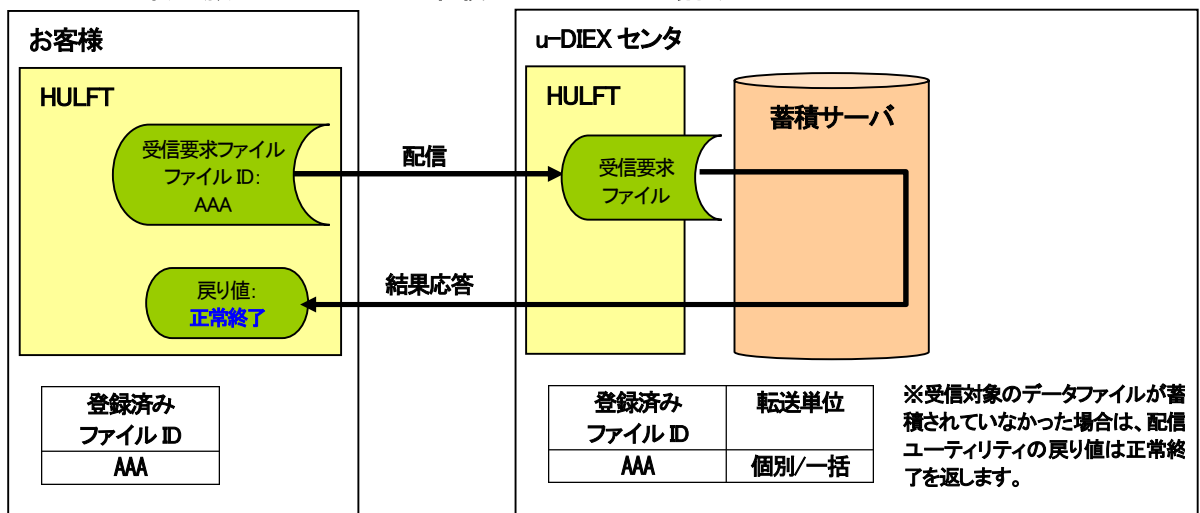
## 8.1.2 受信結果イメージ

(1) 受信要求ファイルにファイル ID(メッセージ識別子、またはデータ種別)を指定して受信を行う場合

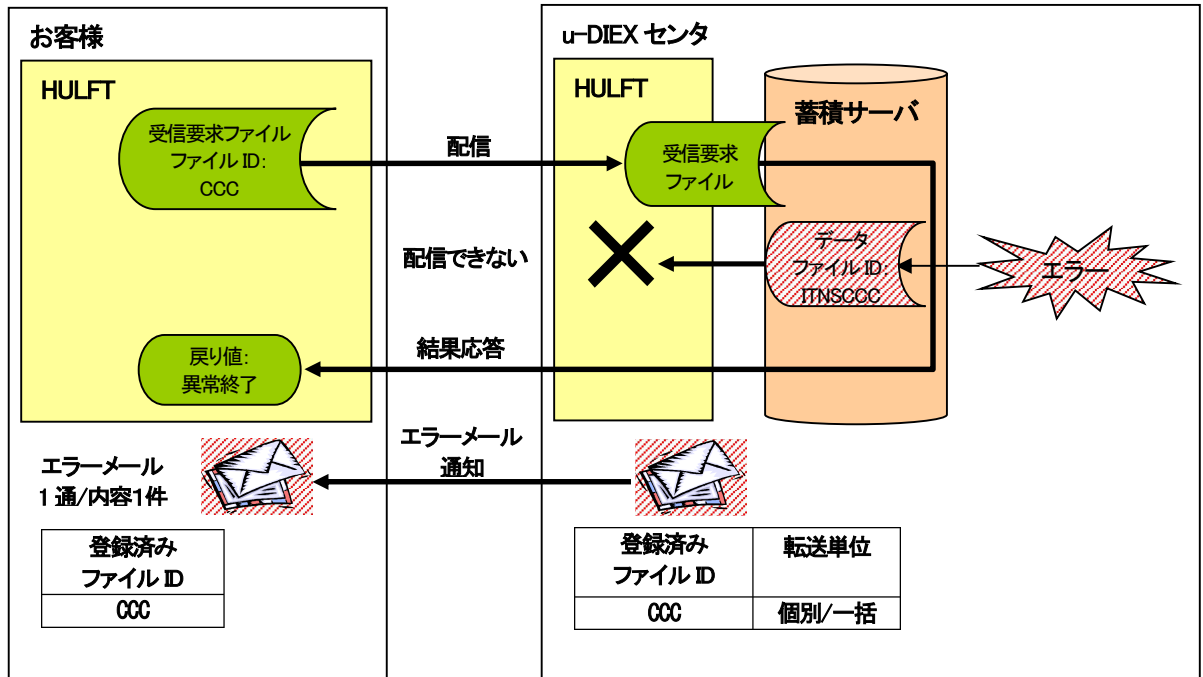
## ケース1:正常終了



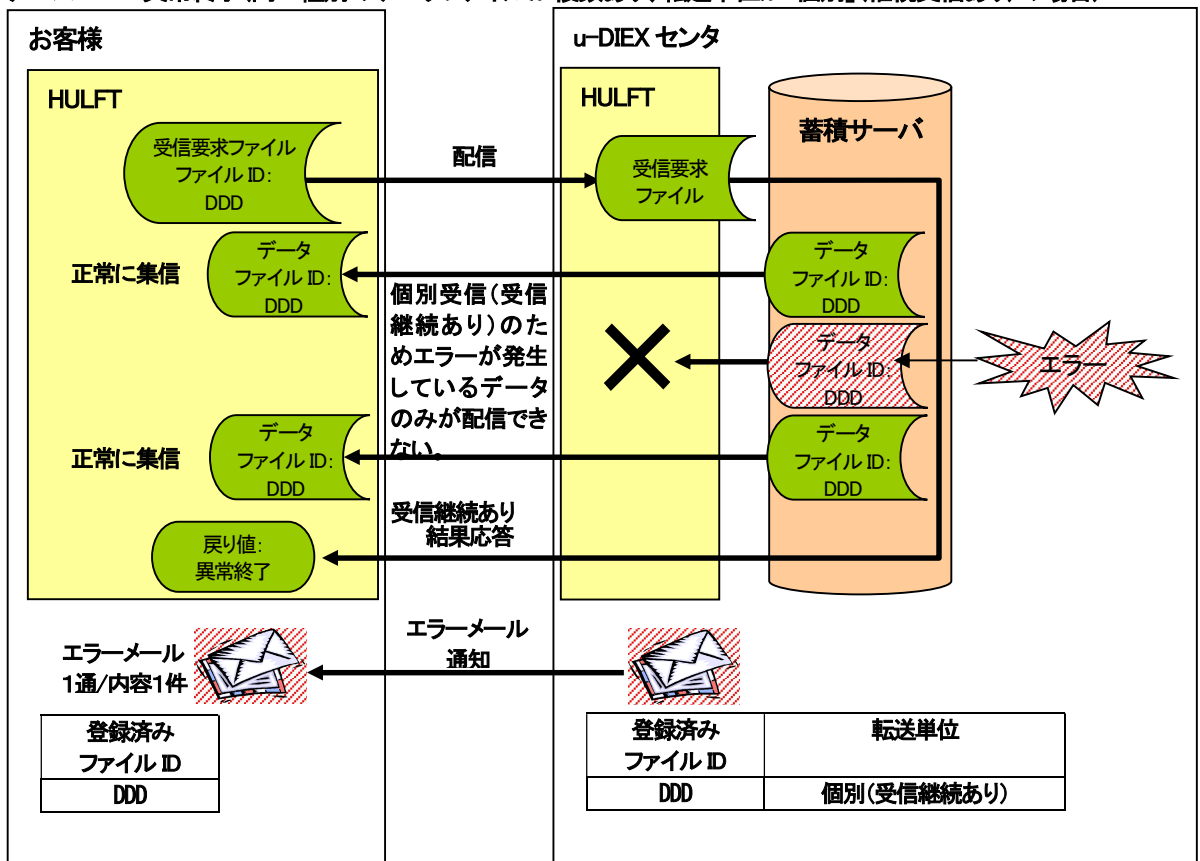
## ケース2:正常終了(該当データファイルが蓄積されていなかった場合)



## ケース 3: 異常終了(受信要求したデータに異常があった場合)

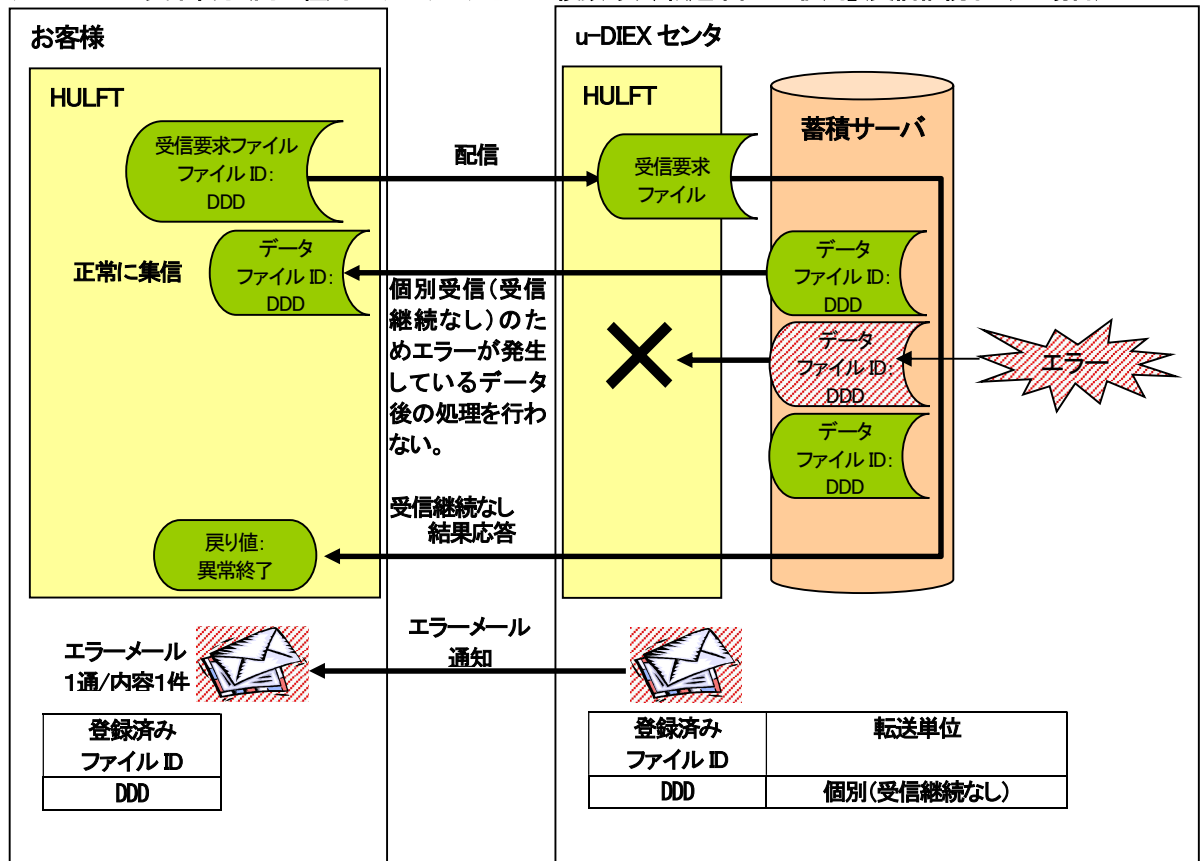


## ケース4-1: 異常終了(同一種別のデータファイルが複数あり、転送単位が「個別」(継続受信あり)の場合)

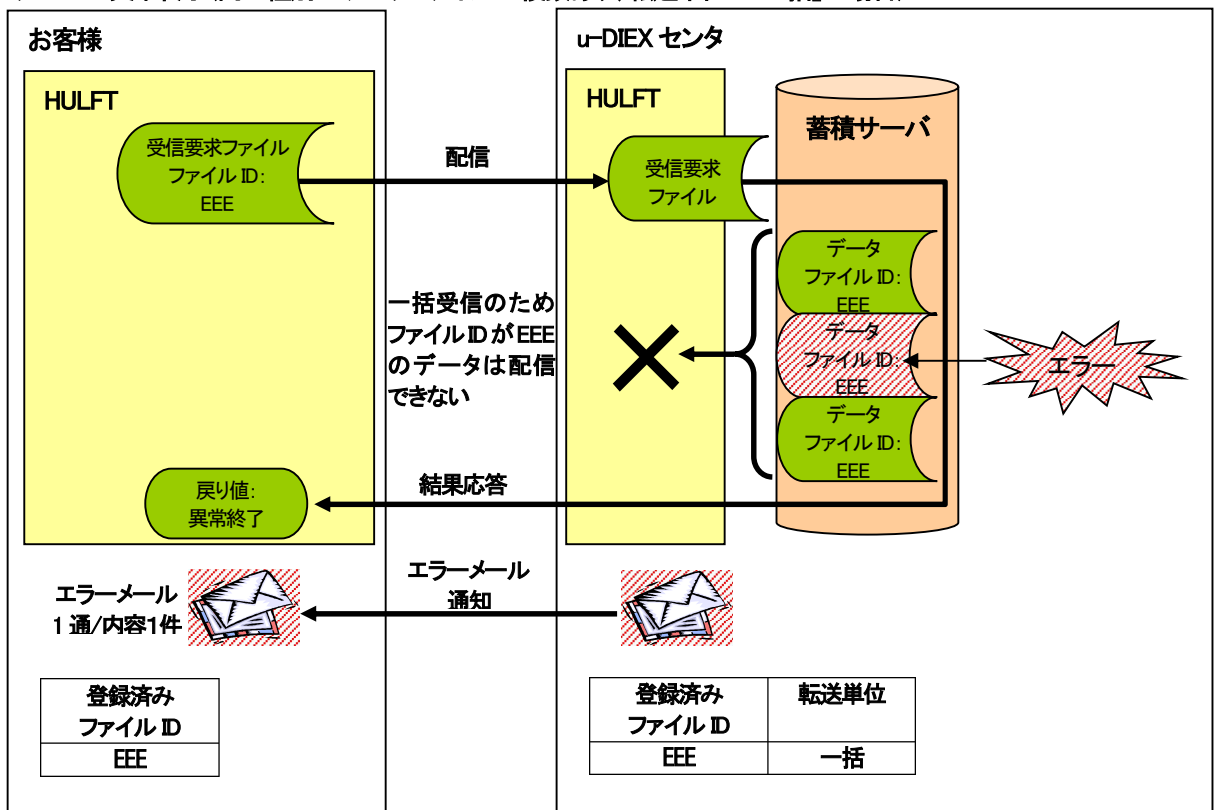




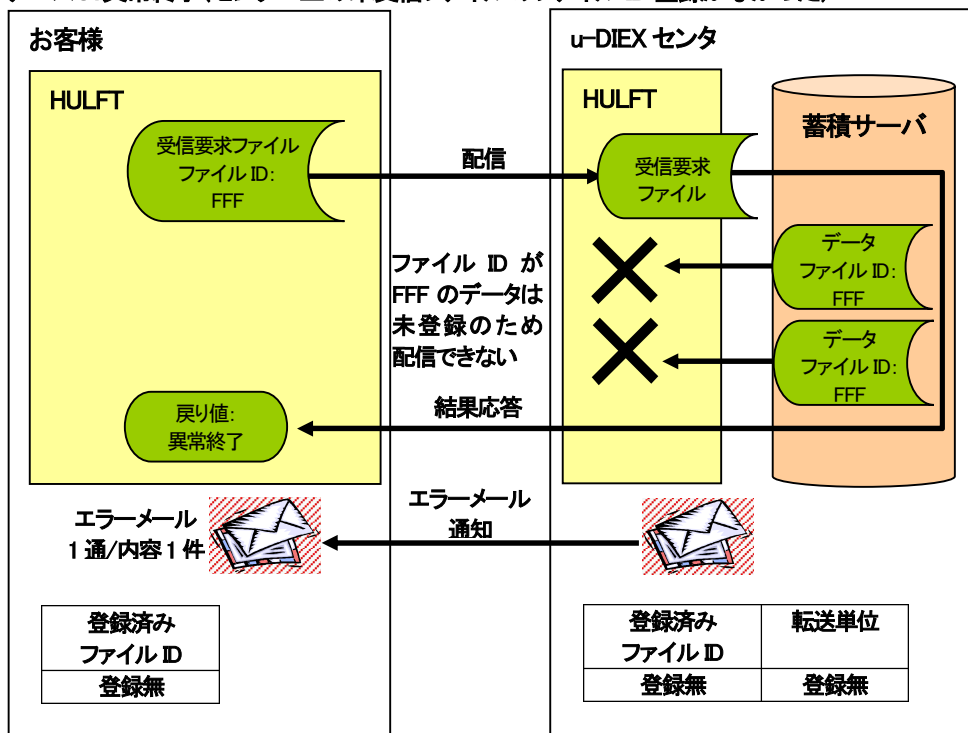
## ケース4-2:異常終了(同一種別のデータファイルが複数あり、転送単位が「個別」(受信継続なし)の場合)



## ケース5:異常終了(同一種別のデータファイルが複数あり、転送単位が「一括」の場合)

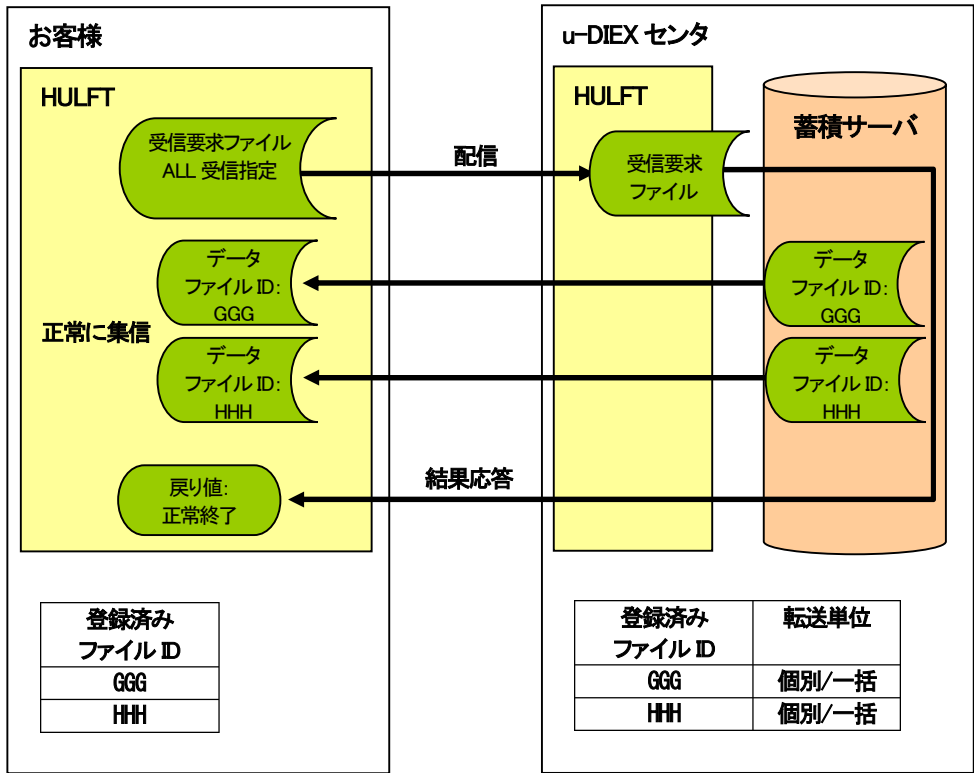


## ケース6:異常終了(センター上の未受信ファイルのファイルID登録がなかった)

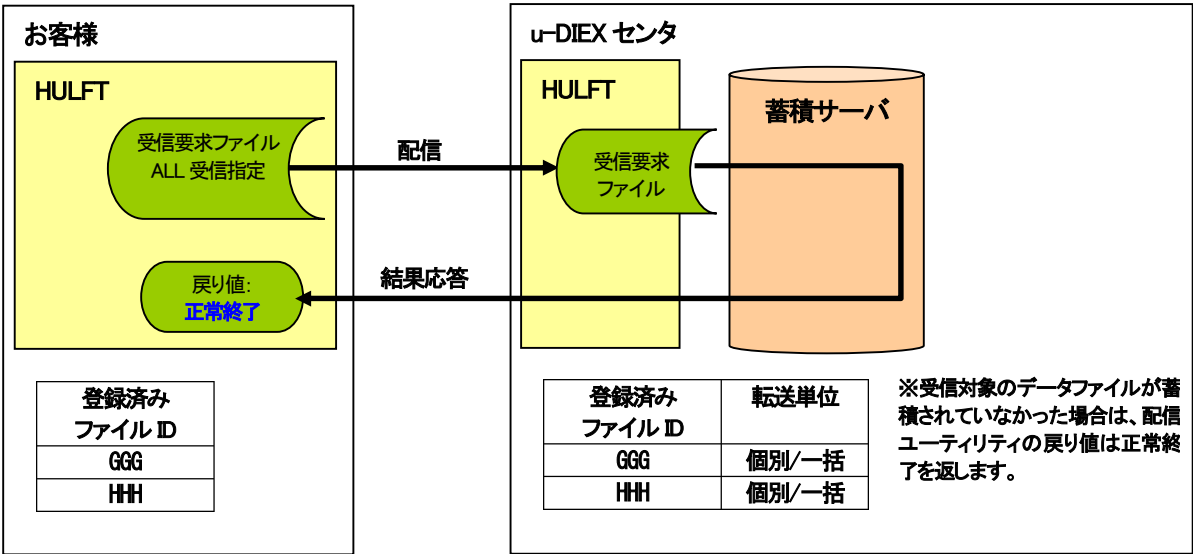


(2) 受信要求ファイルに「ALL」を指定して受信を行う場合

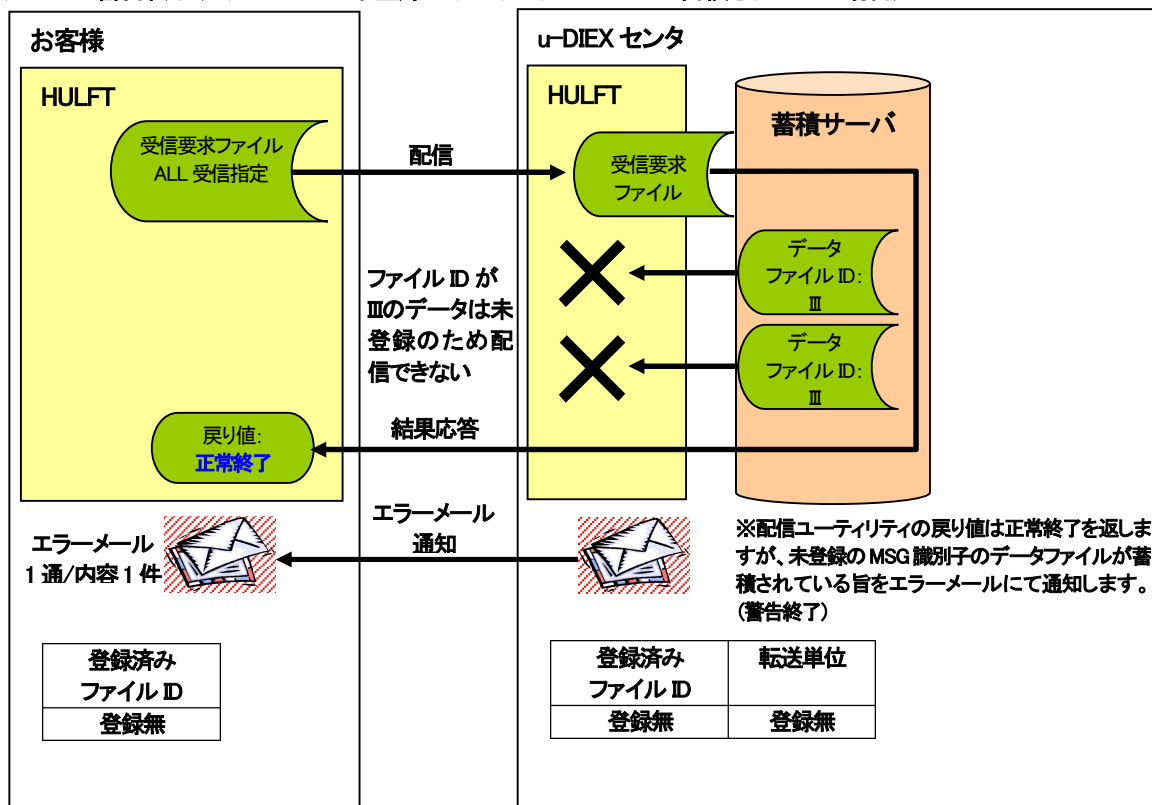
ケース7: 正常終了



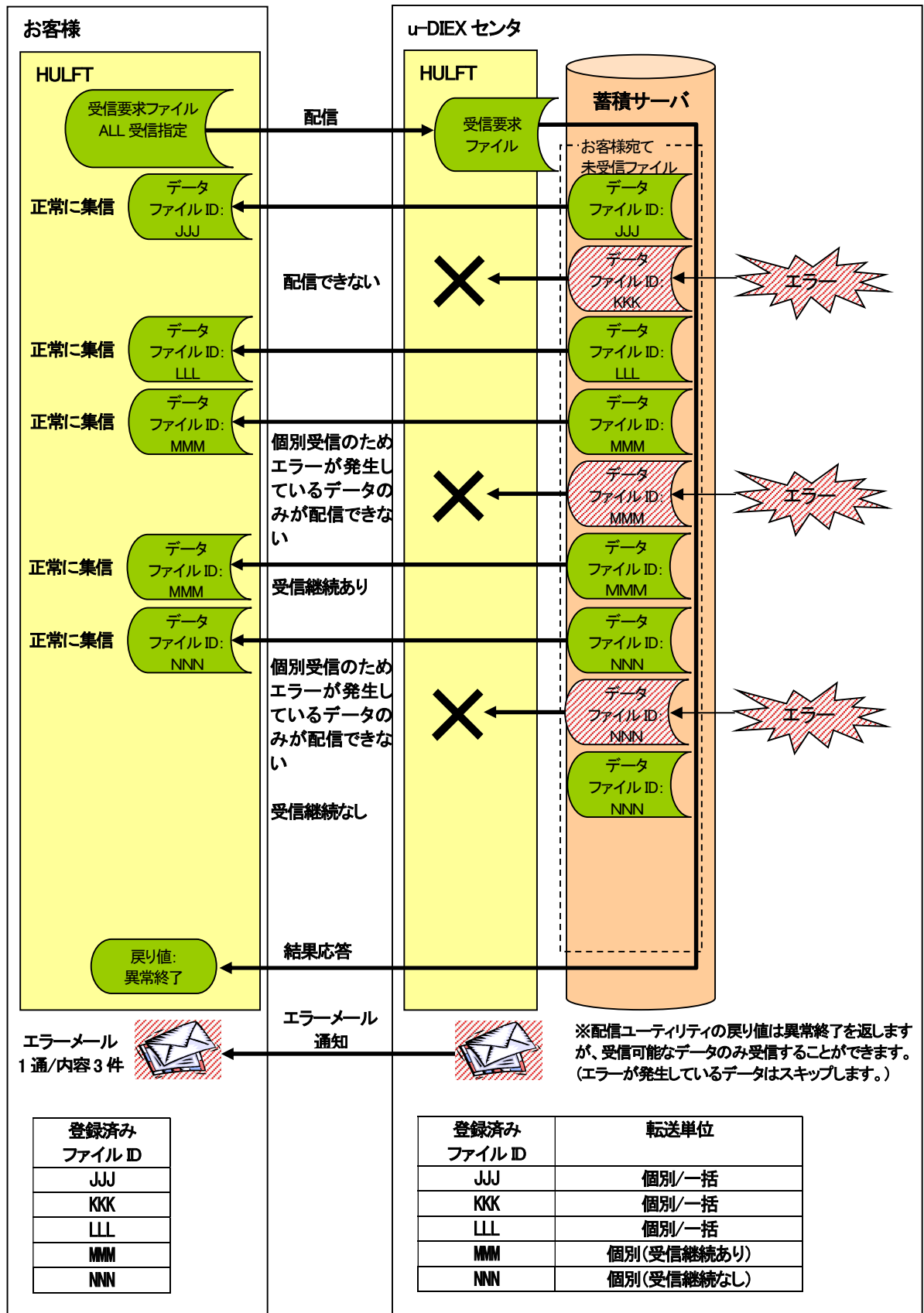
ケース8: 正常終了(該当データファイルが蓄積されていなかった場合)



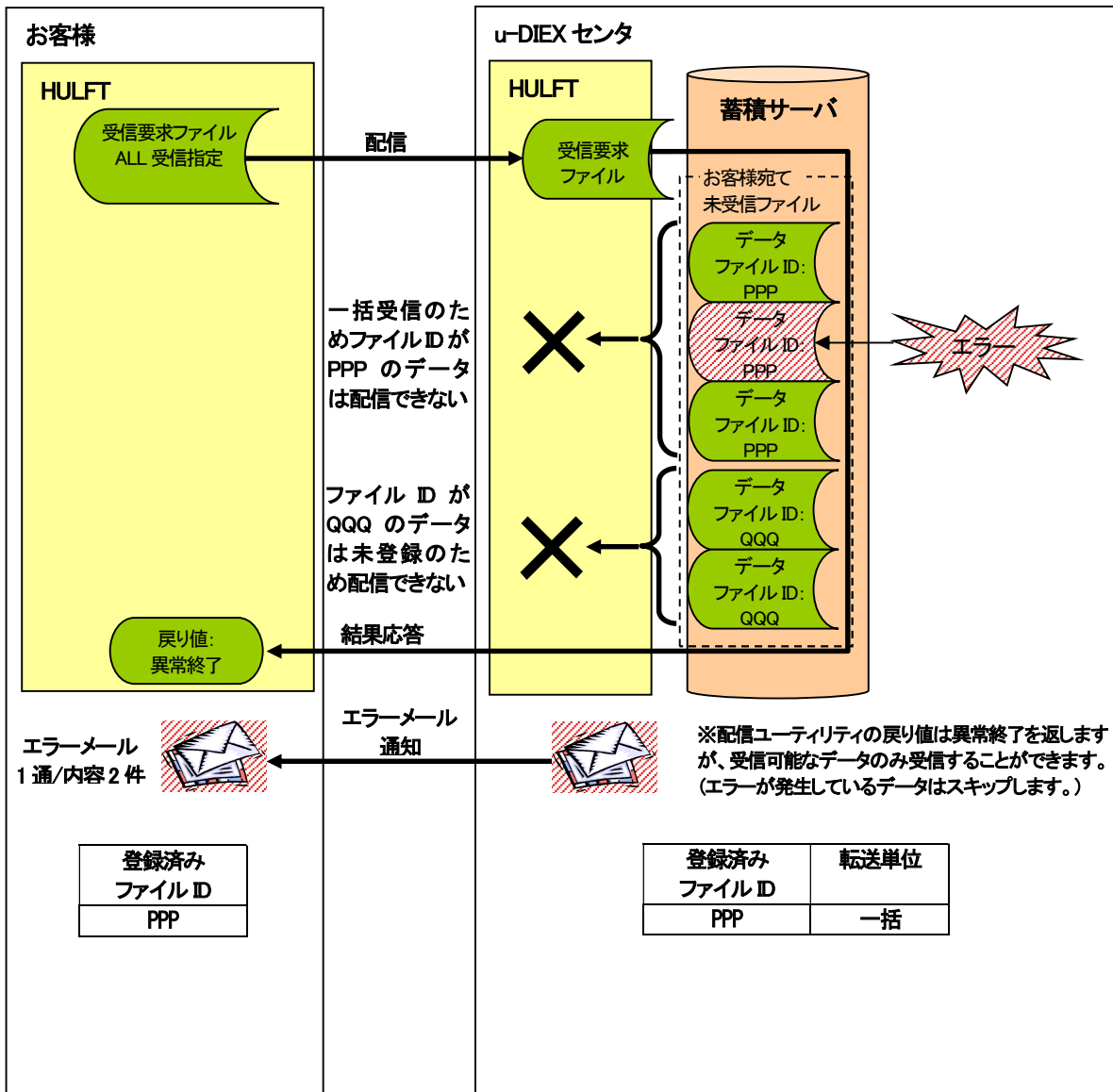
## ケース9:警告終了(ファイル ID が未登録のデータファイルのみが蓄積されていた場合)



## ケース10:異常終了(複数のデータファイルが蓄積されており、複数のエラーが発生した場合)



ケース11:異常終了(複数のデータファイルが蓄積されており、複数のエラーが発生した場合)



### 8.1.3. テキスト転送を使用する際の注意点

u-DIEX HULFT インターフェースではテキスト転送を行う場合、以下の注意点ががあります。

#### (1) 送信時の注意点

##### (ア) ファイル形式

送信でテキスト転送が行えるファイル形式は下記になります。

サービス	ファイル形式	テキスト転送可否
汎用	TNS 形式	×
	TNS 形式(送信情報ファイル)	×
	自由形式(送信情報ファイル)	×
	自由形式(送信情報レコード)EBCDIC	×
	自由形式(送信情報レコード)ASCII	○
	自由形式(HULFT 標準)	○
情報公開	自由形式(送信情報ファイル)	×
	自由形式(送信情報レコード)EBCDIC	×
	自由形式(送信情報レコード)ASCII	○
	自由形式(HULFT 標準)	○

##### (イ) 送信時の文字コード変換

テキスト転送で u-DIEX HULFT インターフェースに送信した場合、以下の変換が行われます。

- ・お客様環境の文字コード ⇒ 「EUC-JP」に変換
- ・お客様環境の改行コード ⇒ 「LF」に変換

送信時にテキスト転送で送信する場合、u-DIEX センタには「EUC-JP」「LF」でデータが格納されますので、受信側のお客様も、HULFT インターフェースでテキスト転送を使用する必要があります。

## (2) 受信時の注意点

## (ア) ファイル形式

受信でテキスト転送が行えるファイル形式は下記になります。

サービス	ファイル形式	テキスト転送可否
汎用	TNS 形式	×
	TNS 形式(受信情報ファイル)	×
	自由形式(受信情報ファイル)	×
	自由形式(受信情報レコード)EBCDIC	×
	自由形式(受信情報レコード)ASCII	○
	自由形式(HULFT 標準)	○
	固定長形式	×
情報公開	自由形式(受信情報ファイル)	×
	自由形式(受信情報レコード)EBCDIC	×
	自由形式(受信情報レコード)ASCII	○
	自由形式(HULFT 標準)	○

## (イ) 受信時の文字コード変換

テキスト転送で u-DIEX HULFT インターフェースから受信した場合、以下の変換が行われます。

- ・「EUC-JP」⇒ お客様環境の文字コードに変換
- ・「LF」⇒ お客様環境の改行コードに変換

受信時にテキスト転送を使用する場合、正しく文字コード変換を行うには u-DIEX センタに「EUC-JP」「LF」でデータが格納されていることが前提となりますので、送信側のお客様も u-DIEX HULFT インターフェースで、テキスト転送を使用している必要があります。



### 8.1.4. 外字テーブル

u-DIEX HULFT インターフェースでは外字テーブルが登録されており、送信時に集信側変換、受信時に配信側変換を指定することで外字コード変換が行えます。

外字コード変換が行えるのは以下の文字コード変換時になります。

- ・「EUC-JP」⇔「SHIFT-JIS」
- ・「EUC-JP」⇔「UTF-8」
- ・「EUC-JP」⇔「IBM 漢字」

外字テーブルの文字コードは以下になります。

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
①	ADA1	8740	E291A0	E270
②	ADA2	8741	E291A1	E271
③	ADA3	8742	E291A2	E272
④	ADA4	8743	E291A3	E273
⑤	ADA5	8744	E291A4	E274
⑥	ADA6	8745	E291A5	E275
⑦	ADA7	8746	E291A6	E276
⑧	ADA8	8747	E291A7	E277
⑨	ADA9	8748	E291A8	E278
⑩	ADAA	8749	E291A9	E279
⑪	ADAB	874A	E291AA	E27A
⑫	ADAC	874B	E291AB	E27B
⑬	ADAD	874C	E291AC	E27C
⑭	ADAE	874D	E291AD	E27D
⑮	ADAF	874E	E291AE	E27E
⑯	ADB0	874F	E291AF	E27F
⑰	ADB1	8750	E291B0	E280
⑱	ADB2	8751	E291B1	E281
⑲	ADB3	8752	E291B2	E282
⑳	ADB4	8753	E291B3	E283
I	ADB5	8754	E285A0	41F1
II	ADB6	8755	E285A1	41F2
III	ADB7	8756	E285A2	41F3
IV	ADB8	8757	E285A3	41F4
V	ADB9	8758	E285A4	41F5
VI	ADBA	8759	E285A5	41F6
VII	ADBB	875A	E285A6	41F7
VIII	ADBC	875B	E285A7	41F8
IX	ABD	875C	E285A8	41F9
X	ADBE	875D	E285A9	41FA
ミリ	ADC0	875F	E38D89	E8AA
キロ	ADC1	8760	E38C94	E875
センチ	ADC2	8761	E38CA2	E883
メートル	ADC3	8762	E38D8D	E8AE
グラム	ADC4	8763	E38C98	E879
トン	ADC5	8764	E38CA7	E888
アール	ADC6	8765	E38C83	E864
ヘクタール	ADC7	8766	E38CB6	E897

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
リットル	ADC8	8767	E38D91	E8B2
フット	ADC9	8768	E38D97	E8B8
カロリ	ADCA	8769	E38C8D	E86E
ドル	ADCB	876A	E38CA6	E887
セント	ADCC	876B	E38CA3	E884
バート	ADCD	876C	E38CAB	E88C
ミリバル	ADCE	876D	E38D8A	E8AB
ページ	ADCF	876E	E38CBB	E89C
mm	ADD0	876F	E38E9C	E8F9
cm	ADD1	8770	E38E9D	E8FA
km	ADD2	8771	E38E9E	E8FB
mg	ADD3	8772	E38E8E	E8EB
kg	ADD4	8773	E38E8F	E8EC
cc	ADD5	8774	E38F84	E963
m <sup>2</sup>	ADD6	8775	E38EA1	E8FE
平成	ADDF	877E	E38DBB	E8D8
〃	ADE0	8780	E3809D	E6AC
〃	ADE1	8781	E3809F	E6AE
No.	ADE2	8782	E28496	446E
KK	ADE3	8783	E38F8D	E96C
TEL	ADE4	8784	E284A1	446F
Ⓐ	ADE5	8785	E38AA4	E767
Ⓑ	ADE6	8786	E38AA5	E768
Ⓒ	ADE7	8787	E38AA6	E769
Ⓓ	ADE8	8788	E38AA7	E76A
Ⓔ	ADE9	8789	E38AA8	E76B
(株)	ADEA	878A	E388B1	446D
(有)	ADEB	878B	E388B2	E6EF
(代)	ADEC	878C	E388B9	E6F6
明治	ADED	878D	E38DBE	E8DB
大正	ADEE	878E	E38DBD	E8DA
昭和	ADEF	878F	E38DBC	E8D9
⌘	ADF3	8793	E288AE	DFE8
Σ	ADF4	8794	E28891	DFD6
└	ADF8	8798	E2889F	DFE0
└┐	ADF9	8799	E28ABF	E0AC
i	FCF1	FA40	E285B0	41B1
ii	FCF2	FA41	E285B1	41B2
iii	FCF3	FA42	E285B2	41B3
iv	FCF4	FA43	E285B3	41B4
v	FCF5	FA44	E285B4	41B5
vi	FCF6	FA45	E285B5	41B6
vii	FCF7	FA46	E285B6	41B7
viii	FCF8	FA47	E285B7	41B8
ix	FCF9	FA48	E285B8	41B9
x	FCFA	FA49	E285B9	41BA
!	FCFC	FA55	EFBFA4	426A
'	FCFD	FA56	EFBC87	427D

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
”	FCFE	FA57	EFBC82	427F
續	F9A1	FA5C	E7BA8A	51BF
襲	F9A2	FA5D	E8A49C	51DA
鎂	F9A3	FA5E	E98D88	51F7
銑	F9A4	FA5F	E98A88	524B
葩	F9A5	FA60	E8939C	527B
悟	F9A6	FA61	E4BF89	5294
炆	F9A7	FA62	E782BB	529E
昱	F9A8	FA63	E698B1	52EB
精	F9A9	FA64	E6A388	5386
鋳	F9AA	FA65	E98BB9	5394
昇	F9AB	FA66	E69BBB	5397
𪛗	F9AC	FA67	E5BD85	53C7
𪛘	F9AD	FA68	E4B8A8	5644
𪛙	F9AE	FA69	E4BBA1	565D
𪛚	F9AF	FA6A	E4BBBC	5662
𪛛	F9B0	FA6B	E4BC80	5665
𪛜	F9B1	FA6C	E4BC83	5666
𪛝	F9B2	FA6D	E4BCB9	566A
𪛞	F9B3	FA6E	E4BD96	566E
𪛟	F9B4	FA6F	E4BE92	5670
𪛠	F9B5	FA70	E4BE8A	5671
𪛡	F9B6	FA71	E4BE9A	5674
𪛢	F9B7	FA72	E4BE94	567B
𪛣	F9B8	FA73	E4BF8D	5686
𪛤	F9B9	FA74	E58180	568A
𪛥	F9BA	FA75	E580A2	5691
𪛦	F9BB	FA76	E4BFBF	5694
𪛧	F9BC	FA77	E5809E	5698
𪛨	F9BD	FA78	E58186	56A2
𪛩	F9BE	FA79	E581B0	56A3
𪛪	F9BF	FA7A	E58182	56A4
𪛫	F9C0	FA7B	E58294	56A8
𪛬	F9C1	FA7C	E583B4	56B2
𪛭	F9C2	FA7D	E58398	56B5
𪛮	F9C3	FA7E	E5858A	56C9
𪛯	F9C4	FA80	E585A4	56CE
𪛰	F9C5	FA81	E5869D	56DC
𪛱	F9C6	FA82	E586BE	56E8
𪛲	F9C7	FA83	E587AC	56EF
𪛳	F9C8	FA84	E58895	56F7
𪛴	F9C9	FA85	E58A9C	574F
𪛵	F9CA	FA86	E58AA6	5750
𪛶	F9CB	FA87	E58B80	5756
𪛷	F9CC	FA88	E58B9B	5758
𪛸	F9CD	FA89	E58C80	5761
𪛹	F9CE	FA8A	E58C87	5763
𪛺	F9CF	FA8B	E58CA4	576B

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
邵	F9D0	FA8C	E58DB2	577C
厓	F9D1	FA8D	E58E93	5780
厲	F9D2	FA8E	E58EB2	5787
覬	F9D3	FA8F	E58F9D	578B
夔	F9D4	FA90	EFA88E	578E
咤	F9D5	FA91	E5929C	57A9
咏	F9D6	FA92	E5928A	57AE
咩	F9D7	FA93	E592A9	57BD
哿	F9D8	FA94	E593BF	57C0
詰	F9D9	FA95	E59686	57DE
垓	F9DA	FA96	E59D99	5860
坦	F9DB	FA97	E59DA5	5863
垠	F9DC	FA98	E59EAC	586C
垠	F9DD	FA99	E59F88	5870
垠	F9DE	FA9A	E59F87	5873
垠	F9DF	FA9B	EFA88F	5877
塚	F9E0	FA9C	EFA890	5882
增	F9E1	FA9D	E5A29E	588A
塹	F9E2	FA9E	E5A2B2	588C
垠	F9E3	FA9F	E5A48B	58A1
麥	F9E4	FAA0	E5A593	58AD
萌	F9E5	FAA1	E5A59B	58B0
裔	F9E6	FAA2	E5A59D	58B1
萌	F9E7	FAA3	E5A5A3	58B2
好	F9E8	FAA4	E5A6A4	58BE
妹	F9E9	FAA5	E5A6BA	58C0
孖	F9EA	FAA6	E5AD96	58EC
窠	F9EB	FAA7	E5AF80	58FC
甯	F9EC	FAA8	E794AF	58FE
寔	F9ED	FAA9	E5AF98	5942
寬	F9EE	FAAA	E5AFAC	5944
奈	F9EF	FAAB	E5B09E	5951
岝	F9F0	FAAC	E5B2A6	5967
岑	F9F1	FAAD	E5B2BA	5968
崧	F9F2	FAAE	E5B3B5	5970
崧	F9F3	FAAF	E5B4A7	5978
崧	F9F4	FAB0	E5B593	597F
崎	F9F5	FAB1	EFA891	5980
嶺	F9F6	FAB2	E5B582	5984
嶺	F9F7	FAB3	E5B5AD	5987
嶺	F9F8	FAB4	E5B6B8	5993
嶺	F9F9	FAB5	E5B6B9	5995
嶺	F9FA	FAB6	E5B790	5997
距	F9FB	FAB7	E5BCA1	59C7
孳	F9FC	FAB8	E5BCB4	59CB
彘	F9FD	FAB9	E5BDA7	59D8
德	F9FE	FABA	E5BEB7	59E8
忒	FAA1	FABB	E5BF9E	59F1

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
愬	FAA2	FABC	E6819D	5A44
悅	FAA3	FABD	E68285	5A51
愬	FAA4	FABE	E6828A	5A57
愬	FAA5	FABF	E6839E	5A5F
惕	FAA6	FAC0	E68395	5A65
愬	FAA7	FAC1	E684A0	5A67
惴	FAA8	FAC2	E683B2	5A68
惕	FAA9	FAC3	E68491	5A76
愬	FAAA	FAC4	E684B7	5A79
惴	FAAB	FAC5	E684B0	5A7E
愬	FAAC	FAC6	E68698	5A94
或	FAAD	FAC7	E68893	5AB5
柄	FAAE	FAC8	E68AA6	5ADA
捷	FAAF	FAC9	E68FB5	5AFB
摠	FAB0	FACA	E691A0	5B50
搦	FAB1	FACB	E6929D	5B53
擎	FAB2	FACC	E6938E	5B54
教	FAB3	FACD	E6958E	5B7E
昀	FAB4	FACE	E69880	5B97
昕	FAB5	FACF	E69895	5B98
昂	FAB6	FAD0	E698BB	4F9F
昉	FAB7	FAD1	E69889	5B9D
昂	FAB8	FAD2	E698AE	5BA0
昞	FAB9	FAD3	E6989E	5BA1
昞	FABA	FAD4	E698A4	5BA4
昞	FABB	FAD5	E699A5	5BA7
昞	FABC	FAD6	E69997	5BA8
昞	FABD	FAD7	E69999	5BAB
晴	FABE	FAD8	EFA892	5BAE
暫	FABF	FAD9	E699B3	5BAF
曙	FAC0	FADA	E69A99	5BB4
暘	FAC1	FADB	E69AA0	5BB6
暘	FAC2	FADC	E69AB2	5BB8
暘	FAC3	FADD	E69ABF	5BBB
晝	FAC4	FADE	E69BBA	5BC7
昞	FAC5	FADF	E69C8E	5BC8
朗	FAC6	FAE0	EFA4A9	5BC9
杳	FAC7	FAE1	E69DA6	5BD8
杳	FAC8	FAE2	E69EBB	5BE3
杳	FAC9	FAE3	E6A192	5BEC
被	FACA	FAE4	E69F80	5BF0
柳	FACB	FAE5	E6A081	5BF3
桃	FACC	FAE6	E6A184	5BF9
得	FACD	FAE7	E6A38F	5C5F
栴	FACE	FAE8	EFA893	5C66
栴	FACF	FAE9	E6A5A8	5C6E
樺	FAD0	FAEA	EFA894	5C78
渠	FAD1	FAEB	E6A698	5C79

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
櫛	FAD2	FAEC	E6A7A2	5C90
櫛	FAD3	FAED	E6A8B0	5C9A
横	FAD4	FAEE	E6A9AB	5C9B
舞	FAD5	FAEF	E6A986	5CA6
櫛	FAD6	FAF0	E6A9B3	5CA9
櫛	FAD7	FAF1	E6A9BE	5CAF
櫛	FAD8	FAF2	E6ABA2	5CB9
櫛	FAD9	FAF3	E6ABA4	5CBC
毖	FADA	FAF4	E6AF96	5CEA
汙	FADB	FAF5	E6B0BF	5CF6
汙	FADC	FAF6	E6B19C	5CF9
汙	FADD	FAF7	E6B286	5CFD
汙	FADE	FAF8	E6B1AF	5CFE
泚	FADF	FAF9	E6B39A	5D4E
洄	FAE0	FAFA	E6B484	5D58
涇	FAE1	FAFB	E6B687	5D60
涇	FAE2	FAFC	E6B5AF	5D62
涇	FAE3	FB40	E6B696	5D6B
涇	FAE4	FB41	E6B6AC	5D72
涇	FAE5	FB42	E6B78F	5D74
清	FAE6	FB43	E6B7B8	5D7A
澍	FAE7	FB44	E6B7B2	5D7F
森	FAE8	FB45	E6B7BC	5D80
洵	FAE9	FB46	E6B8B9	5D8A
湜	FAEA	FB47	E6B99C	5D8E
滌	FAEB	FB48	E6B8A7	5D93
湜	FAEC	FB49	E6B8BC	5D95
澍	FAED	FB4A	E6BABF	5DA6
澈	FAEE	FB4B	E6BE88	5DC1
漸	FAEF	FB4C	E6BEB5	5DCA
瀆	FAF0	FB4D	E6BFB5	5DD5
滢	FAF1	FB4E	E78085	5DD7
瀆	FAF2	FB4F	E78087	5DD8
瀨	FAF3	FB50	E780A8	5DE3
炅	FAF4	FB51	E78285	5DEA
炫	FAF5	FB52	E782AB	5DED
炅	FAF6	FB53	E7848F	5DF5
焄	FAF7	FB54	E78484	5DF6
焄	FAF8	FB55	E7859C	5DFB
焄	FAF9	FB56	E78586	5DFC
焄	FAFA	FB57	E78587	5DFD
焄	FAFB	FB58	EFA895	5E49
焄	FAFC	FB59	E78781	5E4B
焄	FAFD	FB5A	E787BE	5E5A
焄	FAFE	FB5B	E78AB1	5E73
狢	FBA1	FB5C	E78ABE	5E75
狢	FBA2	FB5D	E78CA4	5E86
猪	FBA3	FB5E	EFA896	5E8A

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
獮	FBA4	FB5F	E78DB7	5E94
珣	FBA5	FB60	E78EBD	5E99
珉	FBA6	FB61	E78F89	5E9E
珖	FBA7	FB62	E78F96	5E9F
珘	FBA8	FB63	E78FA3	5EA1
珙	FBA9	FB64	E78F92	5EA2
琇	FBAA	FB65	E79087	5EA7
琎	FBAB	FB66	E78FB5	5EA8
琦	FBAC	FB67	E790A6	5EAA
琪	FBAD	FB68	E790AA	5EAB
琚	FBAE	FB69	E790A9	5EAD
琮	FBAF	FB6A	E790AE	5EAE
琤	FBB0	FB6B	E791A2	5EBC
璉	FBB1	FB6C	E79289	5EBD
璟	FBB2	FB6D	E7929F	5EC0
瓶	FBB3	FB6E	E79481	5ED1
峻	FBB4	FB6F	E795AF	5EE7
皂	FBB5	FB70	E79A82	5F69
皛	FBB6	FB71	E79A9C	5F70
皞	FBB7	FB72	E79A9E	5F71
皦	FBB8	FB73	E79A9B	5F72
皫	FBB9	FB74	E79AA6	5F73
益	FBBA	FB75	EFA897	5F7A
皖	FBBB	FB76	E79D86	5F8E
劦	FBBC	FB77	E58AAF	5FAA
砭	FBBD	FB78	E7A0A1	5FAE
劓	FBBE	FB79	E7A18E	5FB2
砷	FBBF	FB7A	E7A1A4	5FB3
礪	FBC0	FB7B	E7A1BA	5FB6
礪	FBC1	FB7C	E7A4B0	5FD1
礼	FBC2	FB7D	EFA898	5FD2
神	FBC3	FB7E	EFA899	5FD5
祥	FBC4	FB80	EFA89A	5FD9
禔	FBC5	FB81	E7A694	5FDC
福	FBC6	FB82	EFA89B	5FDD
禔	FBC7	FB83	E7A69B	5FDF
竝	FBC8	FB84	E7AB91	604F
竝	FBC9	FB85	E7ABA7	6058
靖	FBCA	FB86	EFA89C	6059
靖	FBCB	FB87	E7ABAB	605A
簍	FBCC	FB88	E7AE9E	6082
精	FBCD	FB89	EFA89D	60AD
紮	FBCE	FB8A	E7B588	60C4
紮	FBCF	FB8B	E7B59C	60C6
粹	FBD0	FB8C	E7B6B7	60D4
綠	FBD1	FB8D	E7B6A0	60DA
緒	FBD2	FB8E	E7B796	60E1
繪	FBD3	FB8F	E7B992	60FD

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
罇	FBD4	FB90	E7BD87	6157
羨	FBD5	FB91	E7BEA1	616E
羽	FBD6	FB92	EFA89E	6177
茁	FBD7	FB93	E88C81	61F8
芋	FBD8	FB94	E88DA2	6248
葦	FBD9	FB95	E88DBF	625B
菇	FBDA	FB96	E88F87	6267
葦	FBDB	FB97	E88FB6	6274
菓	FBDC	FB98	E89188	627E
蒴	FBDD	FB99	E892B4	628A
蕓	FBDE	FB9A	E89593	629E
蕙	FBD F	FB9B	E89599	62A1
董	FBE0	FB9C	E895AB	62A8
臈	FBE1	FB9D	EFA89F	62B9
薰	FBE2	FB9E	E896B0	62BB
穉	FBE3	FB9F	EFA8A0	62CE
姓	FBE4	FBA0	EFA8A1	62E2
螞	FBE5	FBA1	E8A087	635E
裴	FBE6	FBA2	E8A3B5	6390
訥	FBE7	FBA3	E8A892	63C5
諄	FBE8	FBA4	E8A8B7	63CB
詹	FBE9	FBA5	E8A9B9	63D4
誦	FBEA	FBA6	E8AAA7	63DF
聞	FBEB	FBA7	E8AABE	63E1
謔	FBEC	FBA8	E8AB9F	63ED
諸	FBED	FBA9	EFA8A2	63EE
謚	FBEE	FBAA	E8ABB6	63EF
諛	FB EF	FBAB	E8AD93	6445
諛	FBF0	FBAC	E8ADB F	6450
賄	FBF1	FBAD	E8B3B0	647C
賴	FBF2	FBAE	E8B3B4	647D
贊	FBF3	FBAF	E8B492	6485
赶	FBF4	FBB0	E8B5B6	648D
赳	FBF5	FBB1	EFA8A3	648E
軌	FBF6	FBB2	E8BB8F	64C9
返	FBF7	FBB3	EFA8A4	64F1
逸	FBF8	FBB4	EFA8A5	6549
遑	FBF9	FBB5	E981A7	6553
郎	FBFA	FBB6	E9839E	6564
都	FBFB	FBB7	EFA8A6	6566
鄉	FBFC	FBB8	E98495	6567
鄧	FBFD	FBB9	E984A7	656B
釃	FBFE	FBBA	E9879A	6583
釃	FCA1	FBBB	E98797	6585
釃	FCA2	FBBC	E9879E	6586
釃	FCA3	FBBD	E987AD	658A
釃	FCA4	FBBE	E987AE	658C
釃	FCA5	FBBF	E987A4	658D



文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
鈔	FCA6	FBC0	E987A5	658F
鈷	FCA7	FBC1	E98886	6590
鈹	FCA8	FBC2	E98890	6593
鈰	FCA9	FBC3	E9888A	6595
鈹	FCAA	FBC4	E988BA	659B
鉀	FCAB	FBC5	E98980	659E
鈳	FCAC	FBC6	E988BC	659F
銑	FCAD	FBC7	E9898E	65A1
釵	FCAE	FBC8	E98999	65A3
鉤	FCAF	FBC9	E98991	65A5
鉸	FCB0	FBCA	E988B9	65A6
鉨	FCB1	FBCB	E989A7	65A8
銑	FCB2	FBCB	E98AA7	65AB
銑	FCB3	FBCD	E989B7	65AC
鉸	FCB4	FBCD	E989B8	65AD
銑	FCB5	FBCF	E98BA7	65B4
銑	FCB6	FBD0	E98B97	65B5
銑	FCB7	FBD1	E98B99	65B6
銑	FCB8	FBD2	E98B90	65B7
銑	FCB9	FBD3	EFA8A7	65B8
銑	FCBA	FBD4	E98B95	65B9
銑	FCBB	FBD5	E98BA0	65BC
銑	FCBC	FBD6	E98B93	65BD
銑	FCBD	FBD7	E98CA5	65C1
銑	FCBE	FBD8	E98CA1	65C3
銑	FCBF	FBD9	E98BBB	65C5
銑	FCC0	FBDA	EFA8A8	65C6
銑	FCC1	FBDB	E98C9E	65C8
銑	FCC2	FBDC	E98BBF	65C9
銑	FCC3	FBDD	E98C9D	65CC
銑	FCC4	FBDE	E98C82	65CE
銑	FCC5	FBDF	E98DB0	65D0
銑	FCC6	FBE0	E98D97	65D5
銑	FCC7	FBE1	E98EA4	65D8
銑	FCC8	FBE2	E98F86	65DD
銑	FCC9	FBE3	E98F9E	65E4
銑	FCCA	FBE4	E98FB8	65E8
銑	FCCB	FBE5	E990B1	65F0
銑	FCCC	FBE6	E99185	65F4
銑	FCCD	FBE7	E99188	65F6
閒	FCCE	FBE8	E99692	664A
隆	FCCF	FBE9	EFA79C	6674
隴	FCD0	FBEA	EFA8A9	6678
隴	FCD1	FBEB	E99A9D	6679
隴	FCD2	FBEC	E99AAF	667F
霽	FCD3	FBED	E99CB3	6697
霽	FCD4	FBEE	E99CBB	6699
霽	FCD5	FBF0	E99D83	669E

文字	EUC-JP	SHIFT-JIS	UTF-8	IBM 漢字
靄	FCD6	FBF0	E99D8D	66A2
靄	FCD7	FBF1	E99D8F	66A3
靄	FCD8	FBF2	E99D91	66A4
靄	FCD9	FBF3	E99D95	66A5
顗	FCDA	FBF4	E9A197	66CB
顗	FCDB	FBF5	E9A1A5	66CC
飯	FCDC	FBF6	EFA8AA	66DD
飼	FCDD	FBF7	EFA8AB	66DF
餒	FCDE	FBF8	E9A4A7	66E5
館	FCDF	FBF9	EFA8AC	66E6
辭	FCE0	FBFA	E9A69E	66F9
麟	FCE1	FBFB	E9A98E	6759
高	FCE2	FBFC	E9AB99	676B
謁	FCE3	FC40	E9AB9C	676C
紛	FCE4	FC41	E9ADB5	678F
鯪	FCE5	FC42	E9ADB2	6791
鯪	FCE6	FC43	E9AE8F	6793
鯪	FCE7	FC44	E9AEB1	679B
鯪	FCE8	FC45	E9AEBB	679F
鯪	FCE9	FC46	E9B080	67B1
鵬	FCEA	FC47	E9B5B0	67E2
鵠	FCEB	FC48	E9B5AB	67E4
鵠	FCEC	FC49	EFA8AD	67F4
鵠	FCED	FC4A	E9B899	67FE
黒	FCEE	FC4B	E9BB91	6856

### 8.1.5. u-DIEX 固有の EBCDIC セット

EBCDIC セットで選択できる「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」は、u-DIEX 固有の EBCDIC テーブルになります。変換テーブルについては下記を参照ください。

#### (1) 送信時のIBMカナ文字拡張(カスタマイズ)

送信時のEBCDIC⇒ASCII変換で使用する変換テーブルは以下になります。

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	20	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E
1	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E
2	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E
3	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E	2E
4	20	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	2E	2E	3C	28	2B	7C
5	26	AA	AB	AC	AD	AE	AF	2E	B0	2E	21	5C	2A	29	3B	2E
6	2D	2F	61	62	63	64	65	66	67	68	2E	2C	25	5F	3E	3F
7	5B	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	60	3A	23	40	27	3D	22
8	5D	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	71	BB	BC	BD	BE
9	BF	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	72	2E	CA	CB	CC
A	7E	2E	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	73	D6	D7	D8	D9
B	5E	2E	2E	74	75	76	77	78	79	7A	DA	DB	DC	DD	DE	DF
C	7B	41	42	43	44	45	46	47	48	49	2E	2E	2E	2E	2E	2E
D	7D	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	2E	2E	2E	2E	2E	2E
E	24	2E	53	54	55	56	57	58	59	5A	2E	2E	2E	2E	2E	2E
F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	2E	2E	2E	2E	2E	2E

#### (2) 受信時のIBMカナ文字拡張(カスタマイズ)

受信時のASCII⇒EBCDIC変換で使用する変換テーブルは以下になります。

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	1D	1E	1F
2	40	5A	7F	7B	E0	6C	50	7D	4D	5D	5C	4E	6B	60	4B	61
3	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	7A	5E	4C	7E	6E	6F
4	7C	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	D1	D2	D3	D4	D5	D6
5	D7	D8	D9	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	70	5B	80	B0	6D
6	79	62	63	64	65	66	67	68	69	71	72	73	74	75	76	77
7	78	8B	9B	AB	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	C0	4F	D0	A0	40
8	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
9	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
A	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	51	52	53	54	55	56
B	58	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8C	8D	8E	8F	90
C	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9D	9E	9F	A2	A3	A4
D	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AC	AD	AE	AF	BA	BB	BC	BD	BE	BF
E	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
F	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

## 8.2. 文字入力規則一覧

u-DIEX HULFT インターフェースの入力画面において、入力規則は下記のとおりです。

No	項目	桁数 (バイト)	半角					全角
			数字	英数	カナ	スペース	記号	
1	会社コード	5	○	○	×	○	×	×
2	ユーザ ID	10	○	○	×	×	○(入力不可: % < > " & ¥ \ / : , ?   @ = # ; +)	×
3	フォルダ名	255	○	○	×	○	○(入力不可: * % < > " & ¥ \ / : , ?   )	○(入力不可: . ~ // © ® ー % _)
4	ファイル名	255	○	○	×	○	○(入力不可: * % < > " & ¥ \ / : , ?   )	○(入力不可: . ~ // © ® ー % _)
5	What's New(日)	128	○	○	×	○	○(入力不可: * %)	○(入力不可: . ~ // © ® ー % _)
6	What's New(英)	64	○	○	×	○	○(入力不可: * %)	×
7	暗号キー	8~20	○	○	×	×	×	×

※会社コード、ユーザ ID への入力時、半角記号として「\*」アスタリスク 1 文字のみの入力は認める。

上記以外は、u-DIEX 各サービスの禁則文字に準じています。

## 8.3. 用語説明

用語(名称)	対象サービス	説明(補足)
EDI-ID	【汎用】	サービスを利用する上で、ユーザを識別する為に付加される ID。 プロセス ID の”@”より前の文字列を指します。 (例: プロセス ID = O999T01@UDCOM ⇒ EDI-ID = O999T01)
ユーザ ID	【情報公開】	サービスを利用する上で、ユーザを識別する為に付加される ID。 ユーザの”@”より前の文字列を指します。 (例: ユーザ = process01@B8489 ⇒ ユーザ ID = process01)
MSG 識別子 (メッセージ識別子)	【汎用】	データ授受に利用するファイルを識別する為に付加される ID。 (半角大英数字 8 桁以内) HULFT の集配信管理情報に登録するファイル ID と同値となります。
データ種別	【情報公開】	データ授受に利用するファイルを識別する為に付加される ID。 (半角大英数字 8 桁以内) HULFT の集配信管理情報に登録するファイル ID と同値となります。
ファイル形式	【共通】	送受信するファイルの規格。
TNS 標準形式	【汎用】	TNS 準拠のフォーマット。 1 レコード 250 バイト固定長。 宛先取引先コード、発信元取引先コードは各 5 桁。 ファイルコードは 3 桁。
TNS 標準形式(送/受信情報ファイル)	【汎用】	宛先、発信元指定をヘッダレコード内でなく送/受信情報ファイルで行う形式。
TNS 拡張形式	【汎用】	新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマット。 1 レコード 1000 バイト。 宛先取引先コード+宛先サブアドレス、発信元取引先コード+発信元サブアドレスで各 8 桁。 ファイルコードは 3 桁+ファイル詳細コード 5 桁。
TNS 拡張形式(送/受信情報ファイル)	【汎用】	宛先、発信元指定をヘッダレコード内でなく送/受信情報ファイルで行う形式。
自由形式(送信情報ファイル)	【共通】	ファイル形式の一種。 文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 送信に必要な情報(ファイル名・宛先)を、別ファイルに用意し、データファイルと HULFT 結合して送る必要がある形式です。
自由形式(受信情報ファイル)	【共通】	ファイル形式の一種。 文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 受信に必要な情報(ファイル名・宛先)を、別ファイルに用意し、データファイルと HULFT 結合して受信する形式です。
自由形式(送信情報レコード)	【共通】	ファイル形式の一種。 データの文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 送信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII。文字コードに EBCDIC を指定した場合は、レコード長を「40～999999」の間で指定。 送信に必要な情報(ファイル名、宛先)を、データファイルの 1 行目に記述することで、送信情報ファイルを用意することなく、そのまま送信することが出来る形式です。
自由形式(受信情報レコード)	【共通】	ファイル形式の一種。 データの文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 受信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII。文字コードに EBCDIC を指定した場合は、レコード長を「48～999999」の間で指定。 受信時に必要な情報(発信元、データの種別等)をデータファイルの 1 行目に記述することで、受信情報ファイルなしで受信することが出来る形式です。
自由形式(HULFT 標準)	【共通】	ファイル形式の一種。 データの文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 ユーザデータのみを送受信する形式。 送信は HULFT I/F に送信元・相手先情報の事前登録が必要で、送信元・相手先 1 つに限定。1 ファイル個別送信のみ可能。受信は一括・個別から選択可能。
固定長形式	【汎用】	ファイル形式の一種。 ご利用のホストがメインフレーム・AS400 の場合にのみご利用が可能で、受信ファイル毎に必要な情報(発信元、データの種別等)が区切りレコードとして付与されます。 文字コードは EBCDIC。レコード長は「30～999999」の間で指定。
取引先コード	【汎用】	EDI-ID が所属する会社を識別する為に付加されるコード。 (半角英数 5 桁)

用語(名称)	対象サービス	説明(補足)
拠点コード	【汎用】	EDI-ID が所属する会社の中で、部署(拠点)を識別する為に付加されるコード。 (半角英数 3 桁) 同意語 : 「取引先サブアドレス」「サブアドレス」
会社コード	【情報公開】	ユーザ ID が所属する会社を識別する為に付与されるコード。 (半角英数 5 桁) ATSC(オールトヨタセキュリティセンター)の会社コードと同値になります。
発信元	【共通】	授受するデータファイルを送信する側。 同意語 : 「送信元」
宛先	【共通】	授受するデータファイルを受信する側。 同意語 : 「送信先」「相手先」「相手」
代表 EDI-ID フラグ	【汎用】	通常、同一取引先コード(サブアドレスは含まない)に対して複数の EDI-ID が紐付く為、その中で代表とする EDI-ID に「代表 EDI-ID フラグ」を設定します。 (代表 EDI-ID フラグは 1 つの EDI-ID に対してのみ設定) TNS 標準形式のファイルを送信する場合、「代表 EDI-ID フラグ」を設定した EDI-ID が宛先/発信元になります。
転送単位「一括」	【共通】	複数ファイル受信時の受信方法。 「一括」は、複数ファイルを 1 ファイルにまとめて受信します。
転送単位「個別(受信継続あり)」	【共通】	複数ファイル受信時の受信方法。 複数ファイルを 1 ファイルずつ受信します。 途中でエラーとなっても、転送処理を続行します。その後受信可能なものは受信されます。
転送単位「個別(受信継続なし)」	【共通】	複数ファイル受信時の受信方法。 「複数ファイルを 1 ファイルずつ受信します。 エラー後の転送処理を中止します。次回受信時まで残りのファイルが u-DIEX センタに滞留します。」
管理名	【共通】	ファイル送受信に必要な諸情報を、管理する為に付加される名称。 【汎用】 通常は「EDI-ID」と同値になりますが、お客様のご利用形態によって「EDI-ID_取引先コード」、「EDI-ID_ホスト名」など表記が異なる場合があります。 【情報公開】 通常は「ユーザ ID@会社コード」と同値になりますが、お客様のご利用形態によって「ユーザ ID@会社コード_ホスト名」など表記が異なる場合があります。
ホスト名	【共通】	HULFT が導入されているサーバの名称。 【汎用】 他のユーザとの重複を避けるため、原則として、「B」+取引先コードと設定していただきます。 【情報公開】 他のユーザとの重複を避けるため、原則として、「会社コード」を設定していただきます。